

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587051301	科目番号 / Course code	05870513
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15361_005		
授業科目名 / Course title	b1脳の成り立ちと働き / Brain Development and Functioning		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有賀 純 / ARUGA Jun, 松永 隼人 / Matsunaga Hayato, 畑山 実 / Hatayama Minoru, 藤田 和歌 子 / Fujita Wakako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	有賀 純 / ARUGA Jun		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	有賀 純 / ARUGA Jun, 松永 隼人 / Matsunaga Hayato, 畑山 実 / Hatayama Minoru, 藤田 和歌 子 / Fujita Wakako		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aruga_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	大学院医歯薬学総合研究科 医科薬理学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7043		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水 16:30 ~ 17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ヒトに限らず多くの動物では社会行動が見られる。脳の働き、発達、疾患について理解を深め、現 在の脳科学が、社会行動のしくみをどのように解明しようとしているのかを学ぶ。自ら講義を行う ことを体験し、発表スキルを高めるとともにより良い講義のあり方について考える。		
授業到達目標/Course goals	1.脳科学と社会性行動の成り立ちについて、意欲的に学習に取り組むことができること(学ぶ力) 。 2.講義を通じ、得られた知識を自ら咀嚼し、疑問に感じたこと、自分の意見等をまとめることが できること(考える力)。 3.グループワークに積極的に参加することができること(関わる力)。 4.講義中での議論の場あるいはプレゼンテーションにおいて、自分の意見を積極的に発言するこ とができること(表現する力)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席点(予習課題) 20% 講義評価 20% 講義における質疑応答への参加 20% 体験講義 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	パワーポイントの使い方を勉強しておくこと。体験講義担当者は渡された資料だけでなく、自らの 興味に応じて講義内容を拡張してもよい。発表日の5日前にはパワーポイント講義資料を教官に提出 して、改訂のアドバイスを受ける。参加者は講義当日にLACSから、その日の講義の評価を入力す る。(4h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	1. 神経科学-脳の探求- ベアー他(著) 西村出版 2. 神経科学テキスト 脳と行動 カールソン(著) 丸善		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	有賀 純/市中病院内科臨床/実務経験に基づき、薬物の作用について本授業科目に必要な脳の働き、発達、疾患について理解を深め、現在の脳科学が、社会行動のしくみをどのように解明しようとしているのかを学び、議論できるように指導する。/ 中川 慎介/病院薬剤部・保険薬局/実務経験に基づき、薬物の作用について本授業科目に必要な脳の働き、発達、疾患について理解を深め、現在の脳科学が、社会行動のしくみをどのように解明しようとしているのかを学び、議論できるように指導する。/ 松永 隼人/医科薬理の医師として実務経験を有している。/実務経験に基づき、薬物の作用について本授業科目に必要な脳の働き、発達、疾患について理解を深め、現在の脳科学が、社会行動のしくみをどのように解明しようとしているのかを学び、議論できるように指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	神経生物学入門：脳と行動
第2回	ニューロンとグリア
第3回	シナプス伝達
第4回	神経系の構造
第5回	神経系の発生と発達と進化
第6回	脳と感覚系 1
第7回	脳と感覚系 2
第8回	脳と運動
第9回	脳と情動
第10回	脳と言語・社会性
第11回	脳と記憶・学習
第12回	脳と幹細胞・再生医療
第13回	脳と疾患
第14回	脳と血管・創薬
第15回	脳と治療薬

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587061901	科目番号 / Course code	05870619
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15601_005		
授業科目名 / Course title	b1地域文化と保健医療COC / Health Care in Regional Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	前田 隆浩 / Maeda Takahiro, 永田 康浩 / Nagata Yasuhiro, 山梨 啓友 / Yamanashi Hirotomo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	前田 隆浩 / Maeda Takahiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	前田 隆浩 / Maeda Takahiro, 永田 康浩 / Nagata Yasuhiro, 山梨 啓友 / Yamanashi Hirotomo		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tmaeda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	長崎大学病院外来棟12階総合診療科医局		
担当教員TEL/Tel	095-819-7591		
担当教員オフィスアワー/Office hours	16:30-17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人は様々なコミュニケーションをとりながら社会生活を営んでいるが、その構造や様式・形態は地域社会の人口構成や文化的背景に大きな影響を受ける。地域社会や地域医療を取り巻く環境が大きく変化中、地域特性や社会的背景を踏まえながら、地域の保健医療を切り口に人の社会的コミュニケーションの多様性とその意義について学ぶ。特に長崎県は全国一離島が多く、医療・介護等に関連する社会的資源が限られている中、二次医療圏内の保健・医療・福祉・介護の専門職連携や医療圏を超えた医療連携によって、組織的な医療・介護サービスが提供されている。その現状を理解した上で、職種や地域を越えた多様なコミュニケーションの重要性を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	地域医療・ケアの現状と課題を理解した上で、コミュニケーションの地域特性と重要性について、意欲的に学習することができる(学ぶ力)。 講義を通じ、得られた知識を自ら咀嚼し、疑問に感じたこと、自分の意見等をまとめることができる(考える力)。 グループワークに積極的に参加することができる(関わる力)。 講義内での議論、プレゼンテーションにおいて、自分の意見を積極的に発言することができる(発言する力)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席40、グループ学習40、プレゼンテーション20		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	パワーポイントの扱いに慣れておくこと。(2h) 積極的にニュース等で医療関係の時事問題に触れておくこと。(2h)		
キーワード/Keywords	地域医療、社会科学、地域包括ケアシステム、ノーマライゼーション、離島・へき地医療、認知症、医療経済、国際保健		

教科書・教材・参考書/Materials	地域医療テキスト 自治医科大学監修 医学書院 地域医療学入門 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集 診断と治療社
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	保健・医療・福祉・介護分野のコミュニケーションには多様な対象と方法があり、対象の特性とコミュニケーションの場・状況等を考慮しながら、場合によってはコミュニケーションの方法等を使い分けていく必要がある。こうしたコミュニケーションに携わっている職種も多岐にわたるが、最終的には対象者を中心とした「健康」の達成につなげることが求められる。一方、コミュニケーションの方法やサポートするテクノロジーは急速に進化しており、本授業を受ける学生には、保健・医療・福祉・介護分野のコミュニケーションの本質的な目的を理解した上で、コミュニケーションの発展を見据えた学びと議論を期待する。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	本授業の4名の担当教員(永田康浩、松坂雄亮、山梨啓友、前田隆浩)は、これまで長年にわたって地域医療(離島での医療を含む)に携わってきた経験を有しており、下記の通り専門的に活動している。 永田康浩:長崎大学大学院医歯薬学総合研究科の地域医療学分野と地域包括ケア教育センターの責任者を務め、地域包括ケアシステムの構築と多職種協働を推進している。 松坂雄亮:精神科専門医として地域の精神疾患に対して診療活動にあたる一方、認知症や精神障がい者等に対してノーマライゼーションを見据えた活動を進めている。 山梨啓友:総合診療の専門家として幅広い診療に従事する一方、国境なき医師団などによる国際保健活動にも従事しており、異文化とのコミュニケーションに関しては豊富な経験を有している。 前田隆浩:総合診療の専門家として幅広い診療に従事する一方、離島・へき地における教育・研究に長年従事しており、コミュニケーションに関わる先進的技術を地域社会に実装する取組を展開している。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
11月29日	地域包括ケアシステムと多職種連携、地域社会とのコミュニケーション
12月6日	地域包括ケアシステムと多職種連携、地域社会とのコミュニケーション
12月13日	国際保健とグローバリゼーション、異文化とのコミュニケーション
12月20日	国際保健とグローバリゼーション、異文化とのコミュニケーション
1月17日	地域医療理解の初歩、地域医療と離島・へき地医療
1月24日	心理学的コミュニケーションの基礎(1)
1月31日	心理学的コミュニケーションの基礎(2)、プロダクト作成に向けたグループワーク
2月7日	発表会とまとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587062101	科目番号 / Course code	05870621
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB15611005		
授業科目名 / Course title	b1脳神経の病気 / Neurological Diseases		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻野 彰 / Tujino Akira, 立石 洋平 / Tateishi Youhei, 宮崎 禎一郎 / Miyazaki Teiichiro, 吉 村 俊祐 / Yoshimura Shiyunsuke, 金本 正 / Kanamoto Tadashi, 長岡 篤志, 島 智秋		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻野 彰 / Tujino Akira		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻野 彰 / Tujino Akira, 立石 洋平 / Tateishi Youhei, 宮崎 禎一郎 / Miyazaki Teiichiro, 吉 村 俊祐 / Yoshimura Shiyunsuke, 金本 正 / Kanamoto Tadashi, 長岡 篤志, 島 智秋		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akrtjn nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	長崎大学病院 脳神経内科		
担当教員TEL/Tel	095-819-7494		
担当教員オフィスアワー/Office hours	16:30 ~ 17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	脳神経の病気には、脳梗塞や脳出血、認知症、パーキンソン病、てんかんなど、よく耳にする病気 から、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、筋ジストロフィー症など聞いたことのないような難 しい病気まで多くの病気がある。脳神経の様々な病気について理解し、ハンディキャップのある人 に対するコミュニケーションの多様性と重要性を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	1. 脳神経の病気について、意欲的に学習に取り組むことができること(学ぶ力)。 2. 講義を通じ、得られた知識を自ら咀嚼し、疑問に感じたこと、自分の意見等をまとめることが できること(考える力)。 3. グループワークに積極的に参加することができること(関わる力)。 4. 講義中での議論の場あるいはプレゼンテーションにおいて、自分の意見を積極的に発言するこ とができること(表現する力)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席40、グループ学習40、プレゼンテーション20		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	パワーポイントの扱いに慣れておくこと。 予習・復習(各2h)		
キーワード/Keywords	脳卒中、認知症、てんかん、パーキンソン病、神経感染症、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、 運動障害、感覚障害、記憶障害、言語障害、意識障害		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書 病気がみえる<vol.7> 脳・神経 医療情報科学研究所 神経内科ハンドブック 第5版: 鑑別診断と治療 医学書院		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	辻野 彰/医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識, 技能を講義, 実習等により教授する。/ 白石 裕一/脳神経内科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識, 技能を講義, 実習等により教授する。/ 立石 洋平/脳神経内科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識, 技能を講義, 実習等により教授する。/ 吉村 俊祐/脳神経内科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識, 技能を講義, 実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回 (12/1, 3)	脳・神経の仕組みと機能
2回 (12/1, 4)	脳卒中
3回 (12/8, 3)	運動機能とその障害
4回 (12/8, 4)	認知症
5回 (12/15, 3)	感覚機能とその障害
6回 (12/15, 4)	てんかん
7回 (1/5, 3)	記憶とその障害
8回 (1/5, 4)	パーキンソン病
9回 (1/12, 3)	言語機能とその障害
10回 (1/12, 4)	神経感染症
11回 (1/19, 3)	意識障害
12回 (1/19, 4)	多発性硬化症
13回 (1/26, 3)	脳・神経の病気のまとめ
14回 (1/26, 4)	筋萎縮性側索硬化症
15回 (2/2, 3)	レポート作成と提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587062301	科目番号 / Course code	05870623
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15621_005		
授業科目名 / Course title	b2エピジェネティクスC0C / Epigenetics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	米田 光宏 / Yoneda Mitsuhiro, 伊藤 敬 / Itou Takashi, 中川 武弥 / Nakagawa Takeya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	米田 光宏 / Yoneda Mitsuhiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	米田 光宏 / Yoneda Mitsuhiro, 伊藤 敬 / Itou Takashi, 中川 武弥 / Nakagawa Takeya		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	伊藤敬 tito nagasaki-u.ac.jp 中川武弥 tnakagawa nagasaki-u.ac.jp 米田光宏 yonedam nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部基礎棟 6階 http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/biochem/access.html		
担当教員TEL/Tel	TEL:095-819-7037, 7038		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日午前中		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>エピジェネティクス 伊藤 敬・中川 武弥・米田 光宏 エピジェネティクス機構にはDNAのメチル化やヒストン修飾が関わっていることが明らかにされています。これらの変化は、組織特異的な遺伝子発現に重要な役割を担っていると考えられています。発生分化に伴う転写制御機構の理解や疾患に伴うエピジェネティクス異常に関して学習します。</p> <p>発がん・がん治療とエピジェネティクス 益谷美都子・山本一男・増本 博司ががんの発生に伴い、様々なDNAのメチル化やヒストン修飾の異常が起きることが、がん細胞や動物のモデル、また臨床的な研究から判り、がん治療の分子標的としての研究も進んでいます。これらの視点からエピジェネティクスについて学習します。</p> <p>エピジェネティクスと免疫制御、がん免疫治療 池田裕明 エピジェネティクスは、細胞のがん化や免疫細胞の機能発現にも重要な役割をはたしていることが考えられます。本科目では、これらのエピジェネティクス制御を学ぶと共に近年のがん免疫治療の発展を学習します。</p>		
授業到達目標/Course goals	ジェネティクス・エピジェネティクスに関して説明できる。遺伝子転写に関して説明できる。がん治療に関して説明できる。がん免疫に関して説明できる。遺伝子治療に関して説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み(20点)・内容理解確認小テスト(40点)・成果発表(40点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習することは特にないが、事前学習としては前回（まで）の授業の復習をしたうえで授業にのぞむこと。（1時間） 復習としては授業で配布したレジュメを再読し、小テストの解説なども思い出して、理解を確実にするように努めること。（3時間）
キーワード/Keywords	エピジェネティクス、ゲノム、遺伝子転写、発がん、がん治療、エピゲノム、がん、免疫、遺伝子治療、細胞療法
教科書・教材・参考書/Materials	遺伝子発現制御機構 クロマチン、転写制御、エピジェネティクス 東京化学同人
受講要件（履修条件）/Prerequisites	ジェネティクス・エピジェネティクスに関してインターネットを使い調べておくこと
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/biochem/
学生へのメッセージ/Message for students	生物の発生や癌化に興味のある学生さんを歓迎します
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	伊藤 敬/外科による実務経験を有する/各職種での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 米田 光宏/内科による実務経験を有する/各職種での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回/10月4日月曜日3校時	細胞核内のゲノム構造について
2回/10月4日月曜日4校時	エピジェネティクスの概要
3回/10月11日月曜日3校時	エピジェネティクスを基礎から理解するために：遺伝物質探求の歴史から遺伝子とは何か理解する 1
4回/10月11日月曜日4校時	エピジェネティクスを基礎から理解するために：遺伝物質探求の歴史から遺伝子とは何か理解する 2
5回/10月18日月曜日3校時	エピジェネティクスを基礎から理解するために：遺伝子の機能研究の歴史から遺伝子転写とエピジェネティクスの関係を理解する 1
6回/10月18日月曜日4校時	エピジェネティクスを基礎から理解するために：遺伝子の機能研究の歴史から遺伝子転写とエピジェネティクスの関係を理解する 2
7回/10月25日月曜日3校時	エピジェネティクスを基礎から理解するために：最新の技術によるエピジェネティクス研究 1
8回/10月25日月曜日4校時	エピジェネティクスを基礎から理解するために：最新の技術によるエピジェネティクス研究 2
9回/11月1日月曜日3校時	エピジェネティクスとエピゲノム
10回/11月1日月曜日4校時	エピジェネティック制御、エピゲノムと疾患（1）
11回/11月8日月曜日3校時	エピゲノムと疾患（2）
12回/11月8日月曜日4校時	がんのエピゲノム（1）
13回/11月15日月曜日3校時	がんのエピゲノム（2）
14回/11月15日月曜日4校時	エピジェネティクスと診断や治療、成果発表（1）
15回/11月22日月曜日3校時	成果発表（2）、まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587062501	科目番号 / Course code	05870625
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15631_005		
授業科目名 / Course title	b2発がん・がん治療とエピジェネティクス / Epigenetics in Carcinogenesis and Cancer		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	益谷 美都子 / Masutani Mitsuko, 小野寺 貴恵, 山本 一男 / Yamamoto Kazuo, 今道 祥二, 増本 博司 / Masumoto Hiroshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	益谷 美都子 / Masutani Mitsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	益谷 美都子 / Masutani Mitsuko, 小野寺 貴恵, 山本 一男 / Yamamoto Kazuo, 今道 祥二, 増本 博司 / Masumoto Hiroshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	益谷 美都子 mmasutan@nagasaki-u.ac.jp 山本 一男 kyamamoto@nagasaki-u.ac.jp 増本 博司 himasumo@nagasaki-u.ac.jp 小野寺貴恵 今道祥二 (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医歯薬学総合研究科分子標的医学分野 (益谷 美都子、小野寺貴恵、今道祥二)、医学部共同利用研究センター (山本 一男)、医学部共同利用研究センター (増本 博司)		
担当教員TEL/Tel	益谷 美都子、小野寺貴恵、今道祥二 095-819-8502 山本 一男 095-819-7188 増本 博司 095-819-7089		
担当教員オフィスアワー/Office hours	13:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	がんの発生に伴い、様々なDNAのメチル化やヒストン修飾の異常が起きることが、がん細胞や動物のモデル、また臨床的な研究から判りつつあり、がん治療の分子標的としての研究も進んでいます。これらの視点からエピジェネティクスについて学習します。		
授業到達目標/Course goals	1. エピジェネティクスとは何かを説明できるようになる(1, 2, 8,10) 2. 発がん・がん治療とエピジェネティクスの全体像説明できるようになる(1, 2, 8) 3. がんの治療、創薬研究とエピジェネティクスの関わりを説明できるようになる(1, 2, 8) 4. 発がん・がん治療とエピジェネティクスに関する考察と討論ができるようになる(2, 4, 5, 10)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 事前学習課題、事後学習課題、発問への回答、小テスト、プレゼンテーション、レポート F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認課題・小テスト(5点×14回=70点) +プレゼンテーション課題(15点)+レポート課題(15点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	第1-2回では発がん・がん治療とエピジェネティクスの全体像を理解し、第2-12回はエピジェネティクスの基礎的な知識を学ぶとともに、発がんのエピジェネティクスを理解し、第13-14回はがんの治療とエピジェネティクスの関わりを理解する。事前学習：事前配布した専門用語や関係領域の予備知識に関する事前学習課題についてLACSにアップした資料、配布資料、関連内容について自身で収集した資料等で予習し、講義時に提出する。インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト（公的機関のサイトが望ましい）を利用すること（目安 1時間）。事後学習：講義で学習した内容に関する事後学習課題について第15 - 16回を除いて次の講義日に提出する。また、理解できなかった箇所は、配布プリントや自身で収集した資料を使って明らかにする（目安 1時間）。講義内で小テストを行うこともあります。プレゼンテーション・レポート課題：各自の課題について約2週間をかけてプレゼンテーションの準備とレポート作成を行い、第15 - 16回でプレゼンテーションを行い、レポートを提出する（目安 28時間）。
キーワード/Keywords	発がん、がん治療、エピジェネティクス、エピゲノム
教科書・教材・参考書/Materials	プリント配付
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	前提知識は特に問いませんが、人の発生、免疫、癌化に関心がある方を歓迎します。教室内における参加型学習も一部取り入れますので、受け身の学習態度ではなく積極的な学習態度で臨んでほしいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
2021年4月13日 第3校時	発がん・がん治療とエピジェネティクスの概論
2021年4月13日 第4校時	発がんのエピジェネティクス(構造生物学)
2021年4月20日 第3校時	モデル生物を使ったDNA変異導入機構の解説
2021年4月20日 第4校時	モデル生物を使ったDNA変異導入機構の解説
2021年4月27日 第3校時	モデル生物を使ったDNA損傷修復機構の解説
2021年4月27日 第4校時	発がんのエピジェネティクス
2021年5月11日 第3校時	発がんのエピジェネティクス
2021年5月11日 第4校時	発がんのエピジェネティクス
2021年5月18日 第3校時	細胞増殖と代謝から見る発がんのジェネティクスI
2021年5月18日 第4校時	細胞増殖と代謝から見る発がんのジェネティクスII
2021年5月25日 第3校時	細胞増殖と代謝から見る発がんのジェネティクスIII
2021年5月25日 第4校時	発がんのエピジェネティクス
2021年6月1日 第3校時	がん治療のエピジェネティクス
2021年6月1日 第4校時	がん治療・予防のエピジェネティクス
2021年6月8日 第3校時	プレゼンテーション・レポート提出
2021年6月8日 第4校時	プレゼンテーション・レポート提出

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587062701	科目番号 / Course code	05870627
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15641_005		
授業科目名 / Course title	b2エピジェネティクスと免疫制御、がん免疫治療 / Epigenetic Regulation of Immune Reaction and Cancer Immunotherapy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池田 裕明, 村岡 大輔, 安井 潔 / Yasui Kiyoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池田 裕明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池田 裕明, 村岡 大輔, 安井 潔 / Yasui Kiyoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hikeda ngasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	Oncology		
担当教員TEL/Tel	095-819-7079		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Epigenetics play important role in biology including cancer biology and cancer immunity. We will study how epigenetic influence the cancer biology. We also study recent progress on the cancer immunity.		
授業到達目標/Course goals	Become to be able to accumulate the knowledge of epigenetic of cancer biology and cancer immunity. Become to be able to use these knowledge and express the student's own idea in a logical and critical ways.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Paper test(after every lecture: 30%,; after the course:60%) results and attendance(10%) will be evaluated		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	preparation before every lecture (2h) reviews after every lecture (2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	reference:The biology of cancer (Robert A. Weinberg)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	池田 裕明/内科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識,技能を講義,実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st(Tuesday: 4th, 5th)	Cancer Immunity
2nd(Tuesday: 4th, 5th)	Cancer Immunity
3rd(Tuesday: 4th, 5th)	Cancer Epigenetics
4th(Tuesday: 4th, 5th)	Cancer Epigenetics
5th(Tuesday: 4th, 5th)	Carcinogenesis
6th(Tuesday: 4th, 5th)	Carcinogenesis
7th(Tuesday: 4th, 5th)	Cancer Progression
8th(Tuesday: 4th, 5th)	Cancer Progression
9th(Tuesday: 4th, 5th)	CancerTherapeutics
10th(Tuesday: 4th, 5th)	CancerTherapeutics
11th(Tuesday: 4th, 5th)	Cancer Immunity
12th(Tuesday: 4th, 5th)	Cancer Immunity
13th(Tuesday: 4th, 5th)	Cancer Epigenetics
14th(Tuesday: 4th, 5th)	Cancer Epigenetics
15th(Tuesday: 4th, 5th)	Summary

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587062701	科目番号 / Course code	05870627
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15641_005		
授業科目名 / Course title	b2エピジェネティクスと免疫制御、がん免疫治療 / Epigenetic Regulation of Immune Reaction and Cancer Immunotherapy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池田 裕明, 村岡 大輔, 安井 潔 / Yasui Kiyoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池田 裕明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池田 裕明, 村岡 大輔, 安井 潔 / Yasui Kiyoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hikeda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部基礎研究棟5F 腫瘍医学教授室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7079		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	エピジェネティクスは、様々な生命現象に深く関与していますが、細胞のがん化や免疫細胞の機能発現にも重要な役割をはたしていることが考えられます。またがん免疫療法は新しいがんの治療方法、治療薬として近年大きく発展しつつある重要な領域です。本科目では、がんのエピジェネティクス制御を学ぶと共にがんと免疫の関係性や近年のがん免疫療法の発展を学習します。		
授業到達目標/Course goals	エピジェネティクスとがんの関係、がんと免疫の関係、がん免疫療法の発展について知識を整理し、必要に応じて表現できるようになる。また、知識をもとに論理的、批判的な思考ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中に小テスト(30%)を行うとともに、期末テスト(60%)を行い、出席を加味(10%)して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として、参考資料またはLACSに掲載された講義資料を事前に予習すること。(2h) 事後学習として、講義内容について復習すること(2h)		
キーワード/Keywords	がん、免疫、遺伝子治療、細胞療法、エピジェネティクス		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書：ワインバーグ がんの生物学 (南江堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	池田 裕明、村岡大輔、安井潔/腫瘍学研究、生物学についての研究経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	がんと免疫
第2回	がんと免疫
第3回	がんとエピジェネティクス
第4回	がんとエピジェネティクス
第5回	がんの発生
第6回	がんの発生
第7回	がんの進展
第8回	がんの進展
第9回	がんの治療
第10回	がんの治療
第11回	がんと免疫
第12回	がんと免疫
第13回	がんとエピジェネティクス
第14回	がんとエピジェネティクス
第15回	エピジェネティクス生命まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587006501	科目番号 / Course code	05870065
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11521_005		
授業科目名 / Course title	b3仕事と健康 / Work and Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松浦 江美 / Matsura Emi, 三浦 沙織, 山田 絵理佳		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	松浦 江美 / Matsura Emi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	松浦 江美 / Matsura Emi, 三浦 沙織, 山田 絵理佳		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	emimatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部保健学科2階 長崎市坂本1-7-1		
担当教員TEL/Tel	095-819-7924 (教員室直通)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	1. 授業終了後 2. メールによる質問は以下のメールアドレスに連絡してください。 emimatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	仕事は人間に報酬や達成感などの喜びをもたらすが健康問題にも関連している。仕事の場や労働の中に潜む健康問題、仕事を継続する上での望ましい健康術について、長崎の人々が働いている職場などを取り入れながら学習する。		
授業到達目標/Course goals	1. 仕事の場や労働の中に潜む健康問題について述べることができる。 2. 仕事を継続する上での生活場面での健康問題について考えることができる。 3. 仕事を継続する上での自分自身の健康について考えることができる。 4. 仕事を継続する上での望ましい健康術について考えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への貢献度、レポート課題等を基に総合的に評価する。 具体的には、レポート課題40点、グループワーク30点、授業への貢献30点の合計100点のうち60点以上を合格とする。 また、講義への出席が3分の2に満たない学生は評価の資格はない。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】事前学習課題などはLACSへUPしますので、必ず取り組んでから講義・演習へ参加してください。また、各回にキーワードを提示しますので、キーワードに関する内容を各自、文献、Webなどで調べておくこと(2h)。 【復習】LACSにアップされる講義資料、講義の振り返り、事前課題の追加・修正を行うこと(2h)。		
キーワード/Keywords	仕事、青壮年期、労働環境、生活習慣病、ストレス、健康管理、労働衛生、長崎		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配付する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考（URL）/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	賃金が発生する仕事に就いた経験がない人が多いと思います。新聞やテレビ、インターネットなどで、仕事と健康に関係ある記事をチェックしたり、周囲で仕事をしている人たちの話を聞いたりすることが、授業の理解を深めるために有用です。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	<ul style="list-style-type: none"> ・松浦 江美/看護師としての実務経験を有している。/各職種での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ ・三浦沙織/看護師としての実務経験を有している。実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。 ・山田絵理佳/看護師としての実務経験を有している。実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。 	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回 (4/13 3校時)	第1回 授業ガイダンス、青壮年期の特徴、仕事とは(松浦)	A
第2回 (4/13 4校時)	第2回 仕事・労働環境の中に潜む健康問題とは(三浦)	A
第3回 (4/20 3校時)	第3回 仕事を継続する上での生活場面での健康問題(1) (三浦)	A
第4回 (4/20 4校時)	第4回 仕事を継続する上での生活場面での健康問題(2) (松浦)	A B
第5回 (4/27 3校時)	第5回 自分の身体について考える：演習 (松浦・三浦・山田) 手洗い、血管年齢、アルコール体質検査、ストレスチェックなど	C
第6回 (4/27 4校時)	第6回 自分の身体について考える：演習 (松浦・三浦・山田) 手洗い、血管年齢、アルコール体質検査、ストレスチェックなど	A C D
第7回 (5/11 3校時)	第7回 グループワーク1：仕事と健康について(三浦・松浦)	B D
第8回 (5/11 4校時)	第8回 グループワーク2：仕事と健康について(三浦)	B D
第9回 (5/18 3校時)	第9回 ストレスマネジメントの実際(松浦)	A B C
第10回 (5/18 4校時)	第10回 グループワーク3：仕事と健康について(三浦)	A B C
第11回 (5/25 3校時)	第11回 職場における健康管理(山田)	A
第12回 (5/25 4校時)	第12回 グループワーク4：仕事と健康について(三浦・松浦)	A B C
第13回 (6/1 3校時)	第13回 グループワーク発表1：仕事と健康問題について(松浦・三浦・山田)	B D
第14回 (6/1 4校時)	第14回 グループワーク発表2：仕事と健康問題について(松浦・三浦・山田)	B D
第15回 (6/8 3校時)	第15回 まとめ：将来してみたい仕事(興味がある仕事)の労働環境と健康問題、健康術について考える。(松浦)	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587052501	科目番号 / Course code	05870525
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15391_005		
授業科目名 / Course title	b3育児リテラシー入門COC / Introduction to Parenting Literacy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 宮崎 あすか, 上野 美穂		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 宮崎 あすか, 上野 美穂		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miyuki-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	坂本キャンパス 医学部保健学科4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7950		
担当教員オフィスアワー/Office hours	miyuki-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	妊娠・出産・乳幼児の発育・発達と育児に必要な技術等について学ぶ。長崎で育児する親子(または親)と交流することで育児の現状および課題を理解し、自らの課題として解決方法を考えることができる。		
授業到達目標/Course goals	妊娠・出産・育児での男女の役割について説明できる 育児技術(抱き方・寝かせ方、おむつ交換等)をおこなうことができる。 胎児・乳幼児の発育・発達と養護について説明できる。 長崎の育児問題を整理し、課題および解決方法について発表できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業へ臨む態度 30点(15回×2点) 予習復習課題について20点 小テスト20点 フィールドワークの課題10点、 課題レポート10点、プレゼンテーション発表点10点 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 各回の講義内容について文献、インターネット等を通じて予習する(2h)。 事後学習: レジメ等を参考にして授業内容についてノートにまとめる(2h)。		
キーワード/Keywords	妊娠・出産、育児、胎児・乳幼児の発育・発達、親子のコミュニケーション、育児技術、長崎の育児課題		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書なし 必要に応じて資料を配布する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	とくになし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	将来親になることを想定し、妊娠、出産、育児を身近なこととして意識して欲しい。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	永橋 美幸/助産師/妊娠中からの親子のコミュニケーションなどについて講義を行う。/ 宮崎あすか/助産師/妊婦体験および新生児期の育児技術に必要な専門知識と方法について指導する 上野 美穂/認定看護師（小児救急看護）/実務経験に基づき、小児の救急処置について本授業科目に必要な基本的知識を講義する。/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回 (9/27)	授業ガイダンス、マザーリングマザー、妊娠中からの親子のコミュニケーション（永橋）	A
第2回 (9/27)	新生児の能力と養護、乳幼児の心身の発達・発育（マザリーズ）（永橋）	A
第3回 (10/4)	技術演習：妊婦体験、新生児の抱き方、おむつ交換（宮崎、TA）	A B C
第4回 (10/4)	技術演習：新生児の沐浴（宮崎、TA）	A B C
第5回 (10/18)	出産（宮崎）	A
第6回 (10/18)	乳幼児と遊び（宮崎）	A B
第7回 (10/25)	乳幼児の病気（上野）	A B
第8回 (10/25)	乳幼児の事故（上野）	A B
第9回 (11/1)	乳幼児の救命講習：（場所 北消防署）（永橋）	A B C D
第10回 (11/1)	乳幼児の救命講習：（場所 北消防署）（永橋）	A B C D
第11回 (11/8)	長崎で育児する親子との交流（フィールドリサーチ）（永橋）	A B D
第12回 (11/8)	長崎で育児する親子との交流（フィールドリサーチ）（永橋）	A B D
第13回 (11/15)	長崎での育児の現状および課題と解決方法について検討（グループワーク）（永橋）	A B D
第14回 (11/15)	長崎での育児の現状および課題と解決方法について検討（グループワーク）（永橋）	A B D
第15回 (11/22)	長崎での育児の課題と解決方法について（プレゼンテーション）（永橋 宮崎 上野）	B D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587066301	科目番号 / Course code	05870663
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16381_005		
授業科目名 / Course title	b3健康増進と運動 / Health Promotion and Exercise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田中 貴子 / Tanaka Takako, 富永 ちはる, 平瀬 達哉 / Hirase Tatsuya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	田中 貴子 / Tanaka Takako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	田中 貴子 / Tanaka Takako, 富永 ちはる, 平瀬 達哉 / Hirase Tatsuya		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2年次生 歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tanakataka_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部保健学科3F 田中研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7919		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 9:30~12:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生自ら、青年期にある大学生にとっての健康とは何かを学び、健康・体力増進のための体力トレーニング、スポーツ、食事、メンタルヘルス等について理解する。また、健康に関わる問題点を抽出し、その解決方法を身につける。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体活動と食事のセルフチェックができるようになる。(DP-1・3) 2. 家庭医学知識のレベルを高める。(DP-1・3) 3. 青年期における健康づくりの意義と問題点について理解できるようになる。(DP-7) 4. 精神的な健康について理解できるようになる。(DP-7) 5. 健康における運動、スポーツの意義について理解できるようになる。(DP-7) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業へ臨む態度(20%),グループワーク・討論での積極性(20%),発表およびレポート内容(60%)を総合して評価する。100点のうち,60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習は、特に指定しないが、授業内容の理解と発表の為に事前に講義内容の十分な学修と知識の習得を行い、グループごとの意見のまとめを共同して準備すること。またディスカッションには積極的に参加すること。(毎回2時間) 復習 講義の内容について復習するとともに、講義に関連する事項について自主学習をし、プレゼンテーションにおける指摘事項等について十分な復習を行い、理解を確実にするよう努めること。(毎回2時間)		
キーワード/Keywords	健康, 家庭医学, 体力, スポーツ, メンタルヘルス, ヘルスポロモーション		

教科書・教材・参考書/Materials	特に指定しない。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特に指定しない。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	健康科学と医学の知識を高めるとともに、自身の健康増進や体力増進の実践方法を学んでください。また、グループワークを行いますので、友達を増やす機会になればと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y 第1~4回,13~15回: 田中貴子/理学療法士として長崎市内の病院に勤務した経験をもとに青壮年の健康について教授する。
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	第5~8回: 富永ちはる/カウンセラーとして長崎長崎大学保健・医療推進センターにて実務経験をもとに青年期のメンタルヘルスについて教授する。/ 第9~12回: 平瀬達哉/理学療法士としての長崎県内での病院での経験を元に青壮年の体力について教授する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 青年期の健康を考える: 身体機能について学ぶ
第2回	青年期の健康を考える; 家庭医学知識を高める
第3回	青年期の食生活を考える
第4回	青年期の食生活を考える
第5回	青年期のメンタルヘルスについて学ぶ
第6回	青年期のメンタルヘルスについて学ぶ
第7回	青年期のメンタルヘルスについて学ぶ
第8回	青年期のメンタルヘルスについて学ぶ
第9回	高齢期における心身の変化から青年期の健康・体力増進を考える
第10回	高齢期における心身の変化から青年期の健康・体力増進を考える
第11回	高齢期における心身の変化から青年期の健康・体力増進を考える
第12回	高齢期における心身の変化から青年期の健康・体力増進を考える
第13回	青年期の体力・体カトレーニングについて学ぶ
第14回	青年期の体力・体カトレーニングについて学ぶ
第15回	青年期の健康を考える; 現在の問題点を探る・対策を考える

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587006901	科目番号 / Course code	05870069
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11531_005		
授業科目名 / Course title	b4老いと健康COC / Aging and Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井口 茂 / Inokuti Shigeru, 横尾 誠一 / Seiichi Yokoo, 森内 剛史		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	井口 茂 / Inokuti Shigeru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	井口 茂 / Inokuti Shigeru, 横尾 誠一 / Seiichi Yokoo, 森内 剛史		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shigeru nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健学科3階 井口教員室		
担当教員TEL/Tel	井口 茂 095-819-7962 横尾誠一 095-819-7982 森内剛史 095-819-7996		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 18:00-19:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高齢者の加齢に伴う身体・心理的变化、環境への適応能力など生理的及び社会的変化を学び、社会的変化を高齢化が進む長崎の取り組みを織り交ぜながら学び、高齢者に対するケアのあり方について議論していく。長崎県の状況や様々な対応・対策を学修することで高齢者問題を学生自らの問題として理解していく。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の変化を理解し、説明することができる。() ・高齢者の社会的背景を理解し、説明することができる。(、 、 B) ・高齢者に対するケアの現状を理解できるようになる。(、 、 C) ・高齢者とコミュニケーションを取ることができる。(、 、 D) ・長崎県の高齢者問題を整理し、フィールドワークに基づく課題についてプレゼンテーションすることができる。(、 、 A) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	フィールドワークがある場合：グループワーク・課題発表 (4回×10点=40点) + フィールドワーク レポート (40点)、フィールドワークへの取り組み (10点) + 授業への取り組み (10点) = 100点の うち60点以上を合格とする。 フィールドワークがない場合：グループワークへの取り組み (30点) + 課題レポート (60点) + 授 業への取り組み (10点) = 100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習：各講義の資料をweb上に掲載するので、あらかじめ目を通して講義の内容及び流れを把握して おくこと。(1h) 復習：講義のノート及びweb上の資料により復習し、疑問点などをまとめること。(1h)		
キーワード/Keywords	高齢者、健康、ケア、介護保険、住民活動、長崎県		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書・教材・参考書：特になし・必要に応じて資料を配付する	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	復習時間として週1時間以上を要する	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考（URL）/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	高齢者の問題・課題は、介護問題だけでなく社会に関わる多くの要因が絡んでいます。自分が目指す分野における関係性についても考えてください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	井口 茂 / 10年以上高齢者の理学療法及び認知症の地域包括のケアを行っている / 現代社会の問題である高齢者社会の取り組みと高齢者の特徴を明らかにし、作業療法学・理学療法学・看護学の視点から問題点を指導する。 /	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
1回：9/28 4限目	高齢者が抱える健康及び生活課題（担当：井口）	A
2回：9/28 5限目	知っておこう！介護保険制度（担当：井口）	A
3回：10/5 4限目	高齢者の特徴的な病気と看護（担当：横尾）	A
4回：10/5 5限目	高齢者の寝たきりと廃用症候群：高齢者体験（担当：横尾）	C
5回：10/12 4限目	高齢者と家族（老老介護）（担当：横尾）	A
6回：10/12 5限目	高齢者と家族（地域支援）（担当：横尾）	A
7回：10/19 4限目	認知症とは（担当：森内）	A
8回：10/19 5限目	認知症を予防する（担当：森内）	A
9回：10/26 4限目	フィールドワークオリエンテーション・準備（担当：井口） または 介護予防の取り組み：介護に至る原因（講義：井口）	C
10回：10/26 5限目	高齢者に対する質問事項作成・レクリエーションの内容について（担当：井口） または 介護予防の取り組み：自助・互助の取り組み（講義：井口）	C
11回：11/2 限目	フィールドワーク1-1 または 高齢者の寝たきりと廃用症候群：高齢者体験	C
12回：11/2 5限目	フィールドワーク1-2 または 高齢者の寝たきりと廃用症候群：高齢者体験	C
13回：11/9 4限目	フィールドワーク2-1 または 事例検討	C
14回：11/9 5限目	フィールドワーク2-2 または 事例検討	C
15回：11/16 4限目	グループワーク・ディスカッション（担当：井口） または まとめ：健康で老いるために（講義：井口）	B

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587007701	科目番号 / Course code	05870077
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11551_005		
授業科目名 / Course title	b4障害体験と支援 / Disability Experience and Support		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	東 登志夫 / Higashi Toshio, 中尾 理恵子 / Nakao Rieko, 平瀬 達哉 / Hirase Tatsuya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	東 登志夫 / Higashi Toshio		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	東 登志夫 / Higashi Toshio, 中尾 理恵子 / Nakao Rieko, 平瀬 達哉 / Hirase Tatsuya		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	higashi-t nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健学科5階		
担当教員TEL/Tel	095-849-7994		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 9:00-12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	各種障害の疑似体験等を通して障害を理解し、その支援の必要性を体感するとともに、具体的な支援の方法(作業療法, 理学療法, 保健)について学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な障害を挙げることができる ・障害を持った方が抱えている生活障害を理解する ・障害者を支援する各種制度の概要を理解する ・各種障害を支援する専門職の役割について学ぶ 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーションでの発表内容(20%), 各体験終了後のレポート(80%)にて総合的に評価。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 各回のテーマについて, Web, 文献などで調べておくこと(2時間) 事後学習: 各回の授業内容や体験内容, 討議内容等の概要を自分なりに整理し理解を深めること(2時間)		
キーワード/Keywords	障害, 高齢者, 支援, 作業療法, 理学療法, 斜面		
教科書・教材・参考書/Materials	配付資料		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	本講義では、高齢者、視覚障害、片麻痺及び体車椅子の体験等を実際に体験し、障害を持つ方々への支援のあり方を一緒に考えます。興味がある方、是非受講してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中尾 理恵子/長崎市での行政保健師勤務経験/公衆衛生行政に関する解説と地域の実状に合わせた取り組みを教授する/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション, グループ分け 東
第2回	各種障害の理解 東
第3回	障害体験(車いす) 東 平瀬
第4回	障害体験(車いす) グループ討議 東 平瀬
第5回	障害体験(片麻痺, 視覚障害) 東
第6回	障害体験(片麻痺, 視覚障害) グループ討議 東
第7回	保健師による訪問指導 中尾
第8回	保健師による相談業務 中尾
第9回	高齢者・各種障害者の支援のあり方 中尾
第10回	高齢者・各種障害者の支援のあり方 中尾
第11回	理学療法士による支援 平瀬
第12回	理学療法士による支援 平瀬
第13回	障害者支援の考え方 東
第14回	障害者支援の考え方 東

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587052301	科目番号 / Course code	05870523
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15381_005		
授業科目名 / Course title	b4共生へのチャレンジ / Rehabilitation for Physically Challenged		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村田 潤 / Murata Jiyun, 森内 剛史		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	村田 潤 / Murata Jiyun		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	村田 潤 / Murata Jiyun, 森内 剛史		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	村田潤: jmura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 森内剛史: moriuchi-t_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	村田潤 (医学部保健学科2F) 森内剛史 (医学部保健学科5F)		
担当教員TEL/Tel	村田潤: 819-7923 森内剛史: 819-7996		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日: 12:00 ~ 13:00 それ以外の時間を希望する場合はメールにて問い合わせてください		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	疾病・事故・加齢等に伴う運動機能の障害やそれ等からおこる生活障害等により生じるハンディキャップについて学ぶ。また、リハビリテーションの観点から身体機能の障害改善のための主体的活動への働きかけや身体が多様な障害から生活障害を惹き起さないための多面的な検討を紹介し、障がい者の生活権保障から社会生活におけるノーマライゼーションを模索することの理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1, 障がい者・高齢者等の生活弱者の生活権の存在を理解することができる (, ,)。 2, 障がい者・高齢者等の生活弱者への認識を深めて自律的生活遂行における困難な部分において支援を受ける権利の保障についてからノーマライゼーションを模索する視点を身につけることができる (,)。 3, 障がい者・高齢者等の生活弱者に対する支援の企画を理解し, 提案できるようにする (,)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業の貢献度・出席60%, レポート・プレゼンテーション20%, 筆記テスト20%を総合的に評価する。評価点の60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【準備学習】翌週扱うテーマについて、本やネットなどを使って、事前に調べる(2h) 【復習】授業の中での演習やグループディスカッションを通じて学んだことなどを振り返り、最終レポートの作成に向け自分の考えを整理する(2h)
キーワード/Keywords	リハビリテーション, ノーマライゼーション, 作業療法, 障がい者の生活
教科書・教材・参考書/Materials	随時, 資料を配布する.
受講要件(履修条件)/Prerequisites	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし, やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は, 個別に学習の指導を行う。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	学生自身の主体的な学習によって授業は成り立ちます。積極性をもって授業に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	村田 潤/作業療法士としての臨床経験/臨床経験を有する理学療法士の有資格者(担当教員)が臨床においてメディカルスタッフに必要とされる解剖学(骨学)の基礎知識について実際の症例の映像等も用いながら概説する。/ 森内 剛史/急性期, 回復期病棟での実務経験/身体障害領域における作業療法について実例を挙げて, 説明する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	授業ガイダンス: 本授業で取り扱う内容の概要について説明します。 ハンディキャップ概論: 傷害された機能の再獲得のためのリハビリテーションの概要の説明, および機能障害を代替する方法について討論を実施します。 グループディスカッション: 3から4人のグループを編成します。障がい者支援方法についてグループ毎に自由テーマを設定し, 調査方法について討論を行います。
第3-4回	フィールドワーク調査: 各テーマに沿って, グループ毎に調査を実施します。
第5-6回	プレゼンテーション: 調査した内容について, 各グループ20-30分程度の発表を実施します。
第7-8回	身体障がい者リハビリテーション概論: 障がい者・高齢者等の生活弱者の生活権の存在を理解するための講義を行います。
第9-10回	障害体験学習: 障がい者や虚弱高齢者の生活を体験的に学習します。
第11-12回	福祉用具について調査するとともに, 様々な生活障害に対応する自助具を各グループで考案します。
第13-14回	プレゼンテーション: 考案した自助具について, 各グループ20-30分程度の発表を実施します。
第15回	まとめ: これまでに体験した内容を整理・概観します。また関連する内容の質問に対してレポートを作成します。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587010503	科目番号 / Course code	05870105
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12711_005		
授業科目名 / Course title	b5国際社会と日本経済COC / International Societies and Japanese Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	工藤 健 / Kudo Takeshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	工藤 健 / Kudo Takeshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	工藤 健 / Kudo Takeshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tkudo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 (片淵キャンパス) 本館5階521研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日授業終了後(教室か控え室で受付), 月曜日16:10-18:30 (WebExでオンライン受付), E-mailおよびLACS科目掲示板で質問を適宜受付。 *担当教員の他の科目時間割により変更される場合もある		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近代以降, 国際貿易をめぐる国内外の対立が繰り返されてきている。この授業では, 経済学の視点 からこの問題に焦点を当てて, 分析と議論を通じてこの問題の背景と本質を理解する。この科目は , 「全学モジュールII科目」の「多様性と共生: 現代経済と企業活動c」に配当されている。		
授業到達目標/Course goals	この講義を通じて受講者は, 以下の目標に到達することが期待される。(括弧内の数字は「全学モ ジュールの目標および授業編成の視点」(*)との対応関係を示す。) (1)経済分析に基づいて国際貿易や国際金融, 経済発展のしくみを説明することができる。 [1,3,4,5,10,B] (2)市場経済における政府の役割を理解し, 貿易政策や通貨政策の影響を分析できる。 [1,3,4,10,B,C] (3)授業のテーマと現実の経済問題や政策などを関連づけて議論し, その内容を発表できる。 [1,2,4,5,7,8,9,10,B,C,D] (*)「全学モジュールの目標および授業編成の視点」については, 『全学モジュール科目案内』を参		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	到達目標(1)(2)に対応してWeb上(LACS)で確認テストを実施する。 到達目標(3)に対応する成果物として授業中の演習・議論・発表など評価する。 確認テスト450点(30点×15回), 授業中の演習・議論・発表など450点(30点×15回), 授業への 積極的な参加状況(LACS掲示板での議論, 質疑応答を含む)100点の合計1000点のうち, 600点以上 を合格とする。 *不合格者(成績Dの学生)に対する「再試験」は実施しない。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	LACS掲載の資料（講義ビデオなど）などを用いて分析手法を学び、LACSの確認テストで理解度を確 認する（週5時間程度）。必要に応じて復習課題に取り組んだり、LACS上の掲示板で質疑応答や議論 を行う（週3時間程度）。標準的な受講生について、週8時間程度の授業外学習（予習・復習など） を要する。
キーワード/Keywords	国際貿易，比較優位，貿易政策，余剰分析，国際金融取引，貯蓄投資ギャップ，為替レート，経済 発展，貧困削減
教科書・教材・参考書/Materials	特定の教科書を使用せず、LACSに資料を掲載する。また、必要に応じて授業中に教材や参考文献リ ストを配布する。 【参考書】 浦田秀次郎・小川英治・澤田康幸『はじめて学ぶ国際経済』，有斐閣，2011年。（ISBN: 978- 4641124219）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下 さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の円滑化のため、毎回の授業に積極的に参加すること。 ・授業中にデータ分析やウェブ接続のできるパソコン等を準備すること。 ・第1回の授業で、授業方法や内容の詳細について説明するので、必ず出席すること。 ・第1回の授業を欠席した履修希望者は、必ず担当教員に連絡すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教 育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使 用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	*授業内容の<>内は浦田・小川・澤田(2011)の対応する章や節を示している。 **各回の授業内容は変更される場合もあり得る。
01 (11/30)	ガイダンスとイントロダクション
02 (11/30)	国際社会と長崎のあゆみ
03 (12/07)	なぜ貿易が行われるのか(1) <第1章(1.1-1.3)>
04 (12/07)	なぜ貿易が行われるのか(2) <第1章(1.3-1.4)>
05 (12/14)	なぜ政府は貿易に介入するのか(1) <第2章(2.1-2.2)>
06 (12/14)	なぜ政府は貿易に介入するのか(2) <第2章(2.3-2.4)>
07 (01/04)	どのように国際的に資金が流れるのか(1) <第5章(5.1-5.3)>
08 (01/04)	どのように国際的に資金が流れるのか(2) <第5章(5.4-5.5)>
09 (01/11)	為替レートはどのように決まるのか(1) <第6章(6.1-6.3)>
10 (01/11)	為替レートはどのように決まるのか(2) <第6章(6.4)および応用>
11 (01/18)	どのようにして為替レートを安定化させるのか(1) <第7章(7.1, 7.2)>
12 (01/18)	どのようにして為替レートを安定化させるのか(2) <第7章(7.3)>
13 (01/25)	なぜ豊かな国と貧しい国が存在するのか(1) <第9章(9.1, 9.2)>
14 (01/25)	なぜ豊かな国と貧しい国が存在するのか(2) <第9章(9.3)>
15 (02/01)	どのようにして貧困を削減すればよいのか <第10章>
16 (02/01)	どのようにして開発援助を行えばよいのか <第11章>

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587011702	科目番号 / Course code	05870117
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12741_005		
授業科目名 / Course title	b5社会制度と経済活動 / Social System and Economic Activity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	徐 陽 / Yang Xu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jxuyang nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 本館508		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義に関する質問等は本講義開講時間後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	企業の組織形態、構造、戦略に関する様々なトピックを取り上げ、これらを考察することによって、現代経済と企業活動に関する理解を深める。会社法に関する基本的知識を提供する。授業はリアルタイムオンライン等により行います。		
授業到達目標/Course goals	会社法上の各種ルールの趣旨を理解し、企業の経済活動や時事問題を会社法の視点から考察できるようになることを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	知識の理解を確認するための期末試験(50点)+課題に対する取組み(プレゼンテーションを含む)(30点)+予習や小テスト(20点)=100点のうち60点以上を合格とするなお、欠席が5回を超える者については、成績評価の対象としない。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業内容の理解と発表の為に、事前に講義内容の十分な学修と知識の習得を行うこと。知らない用語等基本的事項は調べておくこと。(2h) またディスカッションには積極的に参加すること。 講義内容およびプレゼンテーションにおける指摘事項等について十分な復習をすること。また事後には授業での説明・議論を踏まえたレポートを提出することを課す。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	西山芳喜編『アクチュアル企業法(第2版)』、法律文化社。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	本講義の受講にあたって、パソコン等のLACSへの接続及び文字入力可能な端末（スマホを除く）を持参することが必要。
学生へのメッセージ/Message for students	初回の講義において教科書・参考書について説明する。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	企業と各種法規制
第3回	会社の概念と会社法
第4回	会社の種類と分類
第5回	株式会社の基本概念
第6回	会社の設立
第7回	株主と株式（1）
第8回	株主と株式（2）
第9回	中間まとめ（定期試験を含む）
第10回	コーポレートガバナンス総論
第11回	会社の機関（1）
第12回	会社の機関（2）
第13回	会社の資金調達
第14回	組織再編
第15回	企業結合
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587012102	科目番号 / Course code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Course title	b5経営情報と会計情報 / Management and Accounting Information		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小野 哲 / Ono Tetu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	onotetsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 (片淵キャンパス) 本館5階532研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6360		
担当教員オフィスアワー/Office hours	片淵キャンパス常勤のため授業の前か終了後。もしくはE-mail (onotetsu@nagasaki-u.ac.jp)にて受け。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ビジネスにおいては、お金の流れや会社の状態を把握することが重要です。そのために不可欠な会計の知識として、この授業ではまず財務3表(損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書)の基本的な中身について学びます。つぎに経営指標などの内容を理解したうえで、学生が任意に会社を選択し、財務諸表分析によって選択した会社の経営内容を診断します。		
授業到達目標/Course goals	この授業を通じて受講者は、以下の目標に到達することが期待されます(カッコ内の数字は「全学モジュールの目標および授業編成の視点との対応関係を示しています」)。 (1) 財務3表の基本的な内容を把握できる(2、5、8、10、B)。 (2) ベーシックな経営指標など会計を用いた技法を理解できる(2、5、8、10、B)。 (3) 実際の企業データを使って、企業のベーシックな財務諸表分析ができる(2、4、5、7、8、10、12、B、D)。 なお「全学モジュール目標および授業編成の視点」については、『全学モジュール科目案内』を参照してください。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小テスト30点(6点×5回)+レポート課題70点=合計100点のうち60点以上を合格とします。なおレポート提出のためには、最低2/3以上の出席が必要となります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<予習> テキストの該当範囲について事前に読んでおくこと(2h)。 <復習> 授業内容および小テストを含む配布資料をもとに復習すること(2h)。		
キーワード/Keywords	財務3表、経営指標、財務諸表分析(経営分析)		
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】 林 總『会社の数字が面白いほどわかる「財務3表」入門』三笠書房(知的生き方文庫)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特にありませんが、会社の経営に興味のある学生向きの内容です。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948	
備考（URL）/Remarks（URL）	財務3表は有価証券報告書等の開示種類に関する電子開示システム（EDINET： https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/ ）で入手することができます。使い方はトップページの「種類検索」をクリックし、次画面の「提出者/発行者/ファンド」の欄に会社名を入力	
学生へのメッセージ/Message for students	実際の会社のデータを用いたレポート作成を課しますから、上記のEDINETや会社のHPを任意に選択し「株主のみなさんへ」とか「IR資料室」などのバナーをクリックし、その内容を見ておいてください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
1回(9/28)	授業ガイダンス	F
2回(9/28)	会計の基本－売上高、費用、利益、現金の流れの学習－	F
3回－4回(10/5)	財務3表－損益計算書入門－ 第1回小テスト	F
5回－6回(10/12)	財務3表－貸借対照表入門－ 第2回小テスト	F
7回－8回(10/19)	財務3表－貸借対照表入門、キャッシュ・フロー計算書入門－ 第3回小テスト	F
9回－10回(10/26)	会計不正－利益操作について－ 経営指標についての学習－総資産利益率、自己資本利益率－	F
11回－12回(11/2)	経営指標についての学習－自己資本比率、流動比率、当座比率、固定比率、固定長期適合率、売上高増加率－ 第4回小テスト	F
13回－14回(11/9)	ヤマダ電機の分析例 課題レポートの説明 第5回小テスト	F
15回(11/16)	課題レポートのプレゼンテーション及び提出	A B C D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587011303	科目番号 / Course code	05870113
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12731_005		
授業科目名 / Course title	b6企業行動と戦略COC / Organizational Decision Making and Strategy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 史早 / TAKAHASHI Fumisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 史早 / TAKAHASHI Fumisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 史早 / TAKAHASHI Fumisa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahashi_f nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階504		
担当教員TEL/Tel	takahashi_f nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	片淵キャンパス常勤のため授業の前か終了後、もしくはE-mailにて適宜受け		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	マーケティングとは、顧客の潜在欲求を捉えながら製品の個別市場を創造していく企業活動です。本講義ではマーケティングの基本概念であるSTPとマーケティング・ミックスを中心に学びます。マーケティング・ミックスは、Product (製品), Price (価格), Place (流通・立地), Promotion (プロモーション)の4項目で構成されるマーケティングの基本活動です。本講義では、企業事例や演習、グループディスカッションを通じて、マーケティングに関する理解を深めま		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング・ミックスについて適切に理解し、応用する力を身につける (DP1,2) ・事例分析や演習を通して、各企業が抱えるマーケティング戦略の課題を把握することができる (DP4) ・グループディスカッションを通じ、深く考え、自分の意見を相手に明確に伝えることができる (DP3) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末レポート (60%) , 講義への参画度 (40%)。講義への参画度の評価は、各回に提出するコメントシートへの記入内容を評価点とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 毎回の講義内容を事前にLACSで確認し、自分なりの考えを持つように努めて下さい (2h)。 事後学習: 講義で学んだことを自分なりにまとめ、自分が普段使っている製品の広告や販路、価格などについてよく観察してください (2h)。		
キーワード/Keywords	STP, マーケティング・ミックス, 顧客満足		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。 参考書： グローバルタスクフォース（2005）『コトラー教授 マーケティング・マネジメント入門 ・ 』 総合法令出版。 石井 淳蔵, 廣田 章光 (2009) 『1からのマーケティング第3版』碩学舎
受講要件（履修条件）/Prerequisites	論理的に考えることを意識し、積極的な姿勢で受講してください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	参考となる書籍は適時アナウンスする。 オンラインでの実施の場合、内容変更の可能性あり。
学生へのメッセージ/Message for students	企業のマーケティング活動は消費者の行動と密接に関係しています。自身も消費者の一人であることを念頭に、講義で学んだ内容を日々の中で活用してください。また、グループ討論を通じて他者の視点に触れ、視野を広げてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	高橋史早 / 海外の政府関係者に対する研修経験を活かし、学生の視野を広げるとともに、それを身に付けるために自らが考え行動することを促す。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	ガイダンス
2	マーケティングの基本戦略 ・マーケティング的思考
3	マーケティング基本戦略 ・マーケティングプロセス
4	STP ・セグメンテーション
5	STP ・ターゲティング
6	STP ・ポジショニング
7	製品ライフサイクル
8	マーケティングミックス
9	マーケティングミックス ・製品
10	マーケティングミックス ・価格
11	マーケティングミックス ・プロモーション
12	マーケティングミックス ・プロモーション
13	マーケティングミックス ・チャネル
14	マーケティング戦略事例
15	授業の総括

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587011703	科目番号 / Course code	05870117
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12741_005		
授業科目名 / Course title	b6社会制度と経済活動 / Social System and Economic Activity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2年 医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mshikimi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部・本館612		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後10分。その他の時間については、メールで事前予約のこと。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初級レベルの金融論を講義します。金融に関する基礎知識を習得することを目指します。		
授業到達目標/Course goals			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題レポート (小テスト含む) 約40%、期末試験約60%とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教科書をよく読み、予習・復習をしてください (各2H)。演習問題は必ず自分で解いてください。		
キーワード/Keywords	貨幣、金融機関、金融システム、中央銀行、取引費用、不確実性、情報の非対称性、金融取引、リスク		
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】 晝間文彦 『基礎コース 金融論』 第4版、2018年。 【参考書】 細野薫・他 『グラフィック金融論』 第2版、2019年。 前田康男・鹿野嘉昭・酒井良清著 『金融論をつかむ』 有斐閣、2006年。 岩田規久男 『金融入門』 東洋経済新報社、2008年。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	新型コロナの感染拡大状況によっては、講義内容や講義のしかたに変更がありうる。よって、初回の講義には、必ず出席し、確認すること。
学生へのメッセージ/Message for students	授業の進捗状況により、シラバス内容や授業の進め方、教科書の使用範囲などを調整変更することがあります。学習方法としては、教科書をよく読むことを勧めます。新聞等で報道される金融に関するニュースに関心を持ってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	ガイダンス 本講義で学ぶことを鳥瞰します。
2回	金融の基本的機能
3回	貨幣の機能と資金循環
4回	金融機関の機能と役割 (1) 金融機関の存在理由
5回	金融機関の機能と役割 (2) 情報の非対称性と逆選択
6回	金融機関の機能と役割 (3) 情報の非対称性とモラルハザード
7回	金融市場
8回	外国為替市場と為替レート
9回	利子率、債券の種類と利回り
10回	株価の決定
11回	貨幣の需要と供給
12回	中央銀行の役割
13回	金融政策の波及経路と最近の金融政策運営
14回	決済システムと信用秩序の維持
15回	まとめと復習
16回	授業の総括 (期末試験含む)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587069701	科目番号 / Course code	05870697
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b6リスクと保険需要 / Risk and Insurance		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大角 道子 / Ogaku Michiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ohgaku nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	経済学部本館5階512研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	経済学的な視点からの保険論の基礎概念を講義します。特に、モラルハザード、逆選択や保険会社といった現実の保険市場に深刻な影響を及ぼす問題に触れ、その対応策を紹介します。		
授業到達目標 / Course goals			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	講義中に行うクイズの得点で評価します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	前回のノートにわからないところを残さないように復習すること。(事前事後各2h)		
キーワード / Keywords	リスク、不確実性、情報の非対称性、モラルハザード、逆選択		
教科書・教材・参考書 / Materials	【参考書】 Zweifel, Peter and Roland Eisen, Insurance Economics, New York: Springer-Verlag, 2012.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	毎回長崎大WiFiにつながるPC必携のこと。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ミクロ経済学や経済数学の本で、自分に読みやすいものを手元に置いて学習すると、より授業の内容の理解が深まります。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクションおよび確率の基本概念
第2回	不確実性下の意思決定
第3回	リスクへの態度
第4回	状態空間分析
第5回	パレート効率的な保険契約
第6回	保険市場の逆選択(1)
第7回	保険市場の逆選択(2)
第8回	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587053301	科目番号 / Course code	05870533
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15421_005		
授業科目名 / Course title	b7音楽と社会 / Music and Community		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 治 / Nishida Osamu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館516室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	昼休み (事前にメールにてアポイントを取ること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、音および音楽を聴くこと、奏でることの意義について考える。私たちは、普段、おそらく「音楽とは何か」「人はなぜ音楽をするのか」などと考えたりはしない。あたり前のようにそばにあるものであろう。本講義では、立ち止まって身近にある音、音楽についてともに考えていこうとするものである。実技も含むが、音楽の得意不得意は一切問わない。音楽に苦手意識のある方の受講を歓迎する。		
授業到達目標/Course goals	音および音楽の表現力・影響力について体験的に理解し、それについてことばで語ったり書いたりすることができる。 自らの体験や考えを分かりやすく相手に伝えることができる。 自らと音楽の関係、音楽を通した他者とのかかわり、社会における音楽の役割について考えを述べる ことができる。 持続可能な開発について音楽を切り口として考えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート・提出物 70% 出席・講義への参加度 30% 授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	復習課題：講義内容の振り返り 2h 予習課題：課題文献の要約 2h		
キーワード/Keywords	参与型音楽 ワークショップ		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	できるだけ欠席をせず講義に参加すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	木部崎 幸子/篠笛演奏家として音楽活動の実務経験を有している。/篠笛演奏家として音楽活動の実務経験を活かし、現代社会におけるアーティストという職業について、これまでの経験をもとに話をさせていただくことで、音楽と社会の関わりの一側面について明らかにする。また、もう一つは、グローバルゼーションの中で、伝統音楽の今とこれからがどうなっていくのか、いくべきなのかについての授業を実施する。/ 西田 治/音楽ワークショップの開催経験を持つ。人と音楽のかかわりについて、ワークショップの実施経験を踏まえて講義を実施する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 音で遊ぶ
第2回	グループで作る
第3回	音と音楽の間
第4回	音風景と音楽
第5回	体で聴き奏でる
第6回	音による対話
第7回	中間まとめ 振り返り
第8回	私の音楽観
第9回	長崎の音風景を聞く （特別講師：木部崎 幸子）
第10回	長崎の音風景を聞く 2 （特別講師：木部崎 幸子）
第11回	長崎の音風景を聞く 3 （特別講師：木部崎 幸子）
第12回	パーソナルソング概要
第13回	私のパーソナルソング
第14回	共に奏でることの意味 社会における音楽の役割
第15回	再び私の音楽観について

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587053501	科目番号 / Course code	05870535
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15431_005		
授業科目名 / Course title	b7文字と社会 / Written Characters and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko, 中村 文子 / Fumiko Nakamura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko, 中村 文子 / Fumiko Nakamura		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	keiko-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部514研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2302		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水 5		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	日本語表現のうち、文字言語によるものの特徴を多角的に吟味し、言語力を深める。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 自分自身の「文字と社会」力を客観的に認識することができる。 2) 日常文書の特徴を理解し、実際に書くことができる。 3) 文字言語による日本語表現の特徴を俯瞰することができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	5回の欠席で失格。10回以上出席の場合に、下記で評価する。60点以上で合格とする。 プレゼンテーション、質疑応答 [10%] OB訪問報告書 [30%] 第2單元に関する提出物 [30%] 試験 [30%]		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	図書館での調査、グループでの協議、個人レポートなど、事前事後の学習の成果を紙媒体で提出することとします。量ではなく、質を求めます。(4h)		
キーワード / Keywords	日常生活、文字言語、コミュニケーション		
教科書・教材・参考書 / Materials	『美しい日本語表現』池田悠子著 双文社 『書字のススメ』石川九揚著 新潮社 『わかりあえないことから』平田オリザ著 講談社現代新書		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	個人で行うこととグループで行うことの両方ができること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	書くことは、訓練なしでは獲得できません。 意志を以て、書く力を獲得しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木慶子/高等学校国語科教員
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、受講基礎調査
第2回	自己紹介のための自己分析、 「興味のあることの変遷表」を作る
第3回	面接では、人間のここを観る 原田岳氏[株式会社富建 代表取締役社長]
第4回	今日の講話を、後輩に説明する文章を執筆する
第5回	自己分析と変遷表を使って、自己紹介の文章を執筆する。OB訪問に持参する
第6回	自己紹介OB訪問に備えて、口頭での自己紹介の演習
第7回	OB訪問(1)
第8回	OB訪問(2)
第9回	上質なお礼状を書くために.....石丸忠直氏[石丸文行堂 代表取締役社長] 万年筆を作ろう、自分の万年筆で書こう
第10回	訪問先のOBに、お礼状を書く(下書き)
第11回	OB訪問の報告会(ppで、各チーム5分程度)
第12回	報告会での質疑応答を含めた報告文章を執筆する
第13回	登場人物を紹介する文章を書く
第14回	読書した本の登場人物の紹介 ボードを使った口頭での相互交流
第15回	最終レポート「4人の人物像を書く」を郵送する 社会的システムの活用、郵送マナーの実行 * 4人.....原田氏、石丸氏、訪問したOB氏、読書した本 の中の人物
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587056501	科目番号 / Course code	05870565
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15501_005		
授業科目名 / Course title	b7芸術活動と社会COC / Art Projects and Social Engagement		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	北村 史 / Kitamura Fumito		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	北村 史 / Kitamura Fumito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	北村 史 / Kitamura Fumito		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kitamura@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @ を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&T Lab 爽創館2階オープンラボ1		
担当教員TEL/Tel	095-819-2455		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日16:00 ~ 17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近年、国内各地で大規模な芸術祭が開催されるようになった。それら多くの芸術祭に共通する特徴として、地域の資源を活用した作品作りや、地域社会・住民を巻き込んだプロジェクト型の取り組みがあり、コミュニティ形成の活動にもなっている。本授業では、このような活動を事例として取り上げ、芸術を発端としたコミュニケーションとコミュニティ形成の過程について学んでいく。授業の後半には、長崎県内の事例を紹介し、活動体験を踏まえて、「これからの長崎を創るワークショップ」ためのワークショップの企画に取り組む。		
授業到達目標/Course goals	a. 国内各地で開催されている芸術祭について比較して説明することができる (11, C) b. ワークショップ活動の教授学習過程としての特徴を説明できる (C) c. 長崎をテーマにしたワークショップ案を企画できる (5, 6, 8, 9, 10) ()内の数字は全学モジュール目標の番号と対応 (『全学モジュールテーマガイドブック』を参照)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	(小テスト・ミニツッペーパー等7点) × 7回 + 調べ学習個別課題10点 + 1回目のプレゼンテーション10点 + 2回目のプレゼンテーション20点 + 論述テスト11点 = 100点満点のうち、60点以上を合格とする。配点については微調整をする場合もある。そのような場合は、その都度知らせる。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の授業後に予習復習 (4h) のための課題を知らせます。課題には以下のものが含まれます。 資料を閲覧視聴した後の掲示板ディスカッション グループでの準備活動		
キーワード/Keywords	芸術活動、ソーシャル・エンゲイジド・アート、ワークショップ、コミュニティ		
教科書・教材・参考書/Materials	購入指定する教科書はなし。参考とする書籍等については、授業内で紹介する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	宮崎 友理子/長崎県美術館エドゥケーターとしての実務経験を有している。/長崎県美術館においてエドゥケーターとしての実務経験を活かし、長崎の文化を題材とした地域での活動についての授業を実施する。/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション アイスブレイク 受講生の芸術経験に関する調査	A
第2回	国内で開催されている「芸術祭」について（グループでの調べ活動と個別課題） 「表現の不自由展・その後」の中止について考える	A B
第3回	「表現の不自由展・その後」の中止について考える（論点整理） アーティストの反応について動画でふりかえる	A B
第4回	議論成果のグループプレゼンテーション（プレゼンテーション）	A B
第5回	近年の「芸術祭ブーム」における地域社会と文化 瀬戸内国際芸術祭を例とした事例研究	A
第6回	ソーシャリー・エンゲイジド・アート 体験を作品とするアート ワークショップという活動について	A
第7回	レジジョ・エミリア・アプローチ 教授学習過程としてのワークショップ ワークショップの活動事例	A
第8回	ワークショップ体験1	A C
第9回	長崎県内の芸術活動「長崎県美術館等の事例」（講義とミニッツペーパー）特別講師：宮崎 友理子 氏	A
第10回	ワークショップ体験2（体験学習とミニッツペーパー）特別講師：宮崎 友理子 氏	A C
第11回	ワークショップの計画1（グループワーク）	B D
第12回	ワークショップの計画2（グループワーク）	B D
第13回	ワークショッププランの発表（プレゼンテーションとピアアセスメント）	B
第14回	ワークショッププランの発表（プレゼンテーションとピアアセスメント）	B
第15回	プラン発表会のふりかえり（ディスカッション） 本授業のまとめ（論述テスト）	B

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587069301	科目番号 / Course code	05870693
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b8異文化理解：アメリカ文化について / Understanding American Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	Collins William / William Collins, Benom Carey / Carey Benom		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	Collins William / William Collins		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	Collins William / William Collins, Benom Carey / Carey Benom		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	william nagasaki-u.ac.jp careybenom nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	Center for Foreign Language Studies		
担当教員TEL/Tel	095-819-2083		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Monday 11-12:30, Wednesday 2:30 to 4:00, Thursday 11-12:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	This class will focus on Culture, Comparing Cultures and American Culture. We will examine what we mean by a country's culture, explore ways to compare different cultures and look at different types of stereotypes. We will also look at different ethnic groups in the United States, in particular the U.S. Civil Rights Movement, Musical Exchange such as Jazz, Blues, Rock and Hip-Hop. In addition we will explore California Culture.		
授業到達目標/Course goals	We will learn about Culture through methods such as readings, group discussions, presentation, group mind-maps, reading circles, video-listening activities and surveys. Through the class, students will gain a greater understanding of culture in general, of theoretical frameworks for comparing different cultures and knowledge of American culture. Students will also improve presentation skills and group discussions skills		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above Group Discussions and Group Mind-Maps F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Presentations 30% Class Assignments 30% Listening Activities 20% Exam 10%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Students will be required to do regular assignments to prepare for in-class activities, and to do regular online video-listening activities(4h)		
キーワード/Keywords	Intercultural Competence, Presentations, American Culture, Surveys, Reading Circles		
教科書・教材・参考書/Materials	Teacher will prepare readings, and online video materials		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
June 8, 3rd-4th period	Class One: "What is Culture?" reading; "cultural landmarks and cultural traits" group activity Culture Presentation Planning. American culture listening activity	A B C D
June 15, 3rd-4th period	Class Two: Culture Student Presentations; Cultural Stereotypes reading; Stereotype discussions; Stereotype small-group presentations	A B C D
June 22, 3rd-4th period	Class Three: Hofstede Cultural Dimensions Listening Activity; Reading and discussion activity. American Civil Rights Movement reading and listening activity; Cultural Dimensions Presentation Preparation	A B C D
June 29, 3rd-4th period	Class Four: Hofstede Cultural Dimensions Presentations; American Music reading and listening activity; Cultural Dimensions Class Survey activity	A B C D
July 7, 3rd,-4th period	Class Five: Language and culture. Gender, social class, race, and culture. Humor as culture.	A B C D
July 14, 3rd,-4th period	Class Six: Japan and the West. Japanese culture from Western eyes. How do Westerners understand and experience Japan? Western cultures from Japanese eyes. How do Japanese make sense of the West? Study of specific stereotypes and cultural clashes.	A B C D
July 21, 3rd,-4th period	Class Seven: American cultures. California culture and other U.S. cultures. 1960s culture: Hippies vs. Mainstream American culture.	A B C D
July 28, 3rd,-4th period	Class Eight: Modern American culture in the age of Trump. Cultural division. Blue vs. Red. Student presentations.	A B C D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587070301	科目番号 / Course code	05870703
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b8幕末の長崎における異文化交流COC / Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology- Nagasaki in the Last Years of the Tokugawa Shogunate-		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4, 5, 6	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部・歯学部・工学部・環境科学部の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	小笠原真司: ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	小笠原真司: 言語教育研究センター 1階		
担当教員TEL/Tel	小笠原真司: 095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	授業では、幕末から明治期に活躍した長崎にゆかりのある人物に焦点を当て、その業績を学ぶ。また、同時期に活躍したものの歴史上あまり知られていない人物(必ずしも長崎に限定しない)を文献等により調査を行い、その内容を数人のグループでプレゼンしてもらう。		
授業到達目標/Course goals	自分の関心ある人物について文献や資料を用いて調査できるようになる。 問題点について考察できるようになる。 プレゼンテーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小笠原(50%) : 1. 定期試験(20%) 2. プレゼン(他人の発表を聞く視点の評価も入ります)(20%) 3. プレゼン以外の授業時の活動(10%) 古村(50%) : 1. レポート(10%) 2. 授業時の活動とディスカッションの参加(20%) 3. プレゼンテーション(20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	指定されたテキストを読んできて授業に臨む(15時間)。 プレゼン対象の人物を決め、計画的に調査をしてプレゼンの用意をする(15時間)。		
キーワード/Keywords	異文化交流、幕末、明治、近代化、医学、工学、プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書/Materials	『龍馬と海国日本を夢見た男たち』(英光社)		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	指定テキストを必ず読んで授業に出席すること。欠席はマイナス3点、遅刻はマイナス1点。
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ / Message for students	プレゼンの資料収集などの活動が含まれるため、授業外で活動する時間を確保する必要があります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1.	オリエンテーション・グループを決める 勝海舟と長崎
2.	長崎海軍伝習所の創設
3.	崎海軍伝習所とトランクエンジン
4.	ポンペ博士と長崎大学医学部
5.	海国日本を夢見た男たち 幕末から明治に活躍した人々(1)
6.	プレゼンテーション準備
7.	海国日本を夢見た男たち 幕末から明治に活躍した人々(2)
8.	プレゼンテーション準備
9.	ハルデスと長崎三菱造船所
10.	プレゼンテーション1 グループ A B
11.	プレゼンテーション2 グループ C D
12.	プレゼンテーション3 グループ E F
13.	プレゼンテーション4 グループ G H
14.	プレゼンテーション5 グループ I J
15.	プレゼンテーション6 グループ K L
	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587508701	科目番号 / Course code	05875087
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15741_005		
授業科目名 / Course title	b8異文化理解の実際 / Understanding of Different Cultures		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe, 奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe, 奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (廣江) mkumagami nagasaki-u.ac.jp (隈上) (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部東棟1階		
担当教員TEL/Tel	(095)819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	各教員へメールにて連絡をし、アポイントを取る。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	異文化理解をするうえで、「衣」「食」といった自分にとって身近な話題から「宗教」や「政治」などの話題まで様々な方向から異文化について考えることができる。その中でも「言語」は、その国・地域の文化や風習と密接な関わりをもっている。この授業では、特に日本語、英語という言語を起点にし、日英の言語文化の共通点、相違点を比較検討しながら異文化について理解を深めることをねらいとしている。		
授業到達目標/Course goals	アクティブラーニングを取り入れた授業方法を取り、以下の4点を到達目標とする。 1) 学生自身が、自主的に学習目標を立ち上げ探究する力をつける。??? 2) 適切な学習計画を実行し、仲間と議論、熟考すること通し多様性を理解する能力を身につける。??? 3) 学習成果を相互的に評価し、相互啓発志向を高めることを目標とする。?? 4) 以上の3点を通して相互の信頼、尊敬及び扶助、表現の自由、他者の意見の受容を獲得する。??? 5) 長崎県内の課題を整理して問題点とその解決案を発表できる。?		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業態度(グループディスカッションでの積極的発言等) 40% レポート 60%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として課題及び授業トピックについての下調べ2時間、事後学習として関連文献等のチェック2時間		
キーワード/Keywords	異文化理解、語、文化、共生思想、長崎		
教科書・教材・参考書/Materials	特定の教科書は採用しない。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	各人が 1) プレゼンテーションをする 2) ディベートに参加する 3) レポートを書く 4) 授業外学習に週平均2時間程度を充てること、参考資料をきちんと読むこと。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕/高等学校英語教員としての実務経験/高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。/ 佐賀県立致遠館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校 隈上 麻衣/アメリカの日本人学校(補習校)での勤務経験/海外での日本語教育・初等教育経験がある教員が、多言語使用環境での教育に関する知識・経験を活かし、第二言語学習者の知識状態や発達過程について講義を行う。/ニューヨーク育英学園
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 授業の概要の説明
第2回	担当教員: 廣江 異文化理解の諸問題 1 1) 「異文化論」の始まり いつ頃から「異文化」という用語が使われ出したのか。その起源を辿りながら、異文化理解に必要な普遍的視点というべき視座を探る試みを行う。 2) ステレオタイプ論の氾濫? 人種・マスメディア? 日常に溢れるステレオタイプのものの捉え方の具体例を、グループで可能な限り出し合い、そのイメージがどうやって作られ浸透してきたのかを分析し議論する。
第3回	担当教員: 隈上 第二言語習得1「英語習得の何が難しいのか? < 1 >」 1) 第二言語習得研究概論: 第二言語としての英語習得研究の目的と歴史を概観する。 2) 長崎における英語習得: 長崎における英語学習環境をもとに、日本人による英語習得に関して何が難しいのか、理想的な学習環境とはいかなるものかなどディスカッションする。
第4回	担当教員: 隈上 第二言語習得2「英語習得の何が難しいのか? < 2 >」 1) 第二言語習得研究概論: 代表的な第二言語習得モデルを概観し、自身の外国語学習経験と照らし合わせ、それぞれのモデルに関する理解を深める。 2) グループごとにミニ調査を行い、得られた結果を用いてそれぞれのモデルの妥当性の検証を行う。
第5回	担当教員: 隈上 第二言語習得3「日本にいれば日本語がうまくなるのか? < 1 >」 1) 第二言語としての日本語習得: 注目されている研究トピックなど具体例をあげて、日本語習得研究の目的や歴史を概観する。 2) 日本語習得(1): アメリカでの日本語教育に関して、大学での授業や、日本人学校の取り組みを紹介する。
第6回	担当教員: 隈上 第二言語習得4「日本にいれば日本語がうまくなるのか? < 2 >」 1) 第二言語としての日本語習得: 注目されている研究トピックなど具体例をあげて、日本語習得研究の目的や歴史を概観する。 2) 日本語習得(2): 長崎での日本語習得の機会(大学の授業、地域の日本語講座など)について調べ、海外(例: アメリカ)との違いを理解する。

第7回	<p>担当教員：隈上</p> <p>第二言語習得5「多言語で生活するとは？ < 1 >」</p> <p>1)バイリンガリズム：ニューヨークの子どもの例をもとに、一言語環境と多言語環境の違いを理解する。</p> <p>2)長崎におけるバイリンガル環境：留学生の例など長崎における多言語環境をいくつか紹介し、多言語を使いこなすことの利点や異文化における言語能力の重要性についてディスカッションする。</p>
第8回	<p>担当教員：隈上</p> <p>第二言語習得6「多言語で生活するとは？ < 2 >」</p> <p>1)多言語共生：これまでの授業で学んだ第二言語習得における問題（習得阻害要因）を整理し、日本における理想的な多言語環境のあり方について議論を行う。</p> <p>2)議論でまとめた内容をグループごとに発表する。</p>
第9回	<p>担当教員：廣江</p> <p>3)反ステレオタイプ論</p> <p>異文化理解の諸問題 1</p> <p>Lippmann(1987)等を参考にしながらステレオタイプ論の検証を行い、固定化した観念やイメージをそれが発生した歴史的場面から問い直し、ステレオタイプを相対化する試みを行う。</p>
第10回	<p>担当教員：廣江</p> <p>異文化理解の諸問題2</p> <p>1)グローバル化に伴う日本的諸問題</p> <p>日本人の「国際感覚」、「概念的理解」、「共感」、「コミュニケーション・バッファー」といった用語をキーワードとして、グローバル化に伴う一般的日本人にありがちな陥穽について議論する。</p>
第11回	<p>担当教員：廣江</p> <p>異文化理解の諸問題2</p> <p>2)異文化理解における「共感」の位置付け</p> <p>Rogers(1984)やDamen(1987)を参考にしながら、異文化理解における「共感」を発展的に捉える試みを行う。</p>
第12回	<p>異文化理解2</p> <p>3)異文化間における文化的配慮とその意義</p> <p>異文化間における解釈等の違いから生じる摩擦を回避する智恵としてのバッファーを、具体的事例にあたりながら、考察する契機としたい。</p>
第13回	<p>担当教員：廣江</p> <p>異文化理解を超えて</p> <p>3)Lost in Translationの視聴</p>
第14回	<p>担当教員：廣江</p> <p>異文化理解を超えて</p> <p>4) Lost in Translation視聴</p> <p>2) Lost in Translation視聴後、グループ・ディスカッションを行い、発表を行う。</p>
第15回	<p>担当教員：廣江</p> <p>長崎県の異文化事情</p> <p>まとめ</p>

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587019701	科目番号 / Course code	05870197
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14711_005		
授業科目名 / Course title	b9生物から見た水産業 / Fisheries Management : Biological Perspective		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河端 雄毅 / Yuuki Kawabata, 天野 雅男 / Amano Masao, 河邊 玲 / Kawabe Ryo, 松下 吉樹 / Matsushita Yoshiki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	河端 雄毅 / Yuuki Kawabata		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	河端 雄毅 / Yuuki Kawabata, 天野 雅男 / Amano Masao, 河邊 玲 / Kawabe Ryo, 松下 吉樹 / Matsushita Yoshiki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuuki-k nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産学部		
担当教員TEL/Tel	095-819-2824		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	海洋は生物、鉱物、エネルギーなどの様々な資源の宝庫ですが、環境共生型の社会を実現するためには、これらの貴重な資源を有効に利用し、持続的に維持していく必要があります。漁業には、生物資源の特性を理解し、適切に管理し、効率的に漁獲をすることが求められる一方で、漁獲対象とならない希少種を保護する責任も求められています。本講義では、海洋生態系と漁業活動の基礎的な相互作用について、理解することを目的とします。		
授業到達目標/Course goals	海洋生物の視点から見た漁業について基礎から応用まで多面的に学習することにより、生態系を保全しつつ持続可能な漁業を実現するためには何をすべきかを考える能力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価の方法：授業への参加状況、レポート課題、発表による総合評価 成績評価基準：総合評価点が60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：各担当教員から講義開始前に資料が配布されるので内容を理解するための調べ学習を行うこととなる (5時間程度) 事後学習：各担当教員の最終回に内容に沿った課題が提示される。これに要する時間外学習の時間は5時間程度。		
キーワード/Keywords	水圏生物、水産資源、漁業管理、生活史・生態学的特性、海洋環境、行動		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書・教材：適宜、関連の論文等を講義資料として配付する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	第1回講義時に受講要領 (履修条件、成績評価等) を配布・説明する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	座学だけでなく、グループワーク、討論、成果発表などを含みます。積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（河端雄毅）
2, 3, 4回	漁業管理の在り方（2-4回）：河端雄毅 ・漁業資源としての水圏生物 ・様々な漁業管理策の紹介 ・漁業管理の成功例・失敗例
5, 6, 7回	気候変動と海洋生物資源の管理（5-7回）：河邊 玲 ・環境（気候）変動ってなに？：地球温暖化、エルニーニョ ・自然変動と人為的変動：気候変動で増えるイワシと減るイワシ、人が獲りすぎて減るタラ ・絶滅寸前の魚を復活させる：絶滅寸前の魚を復活させる：マツカワ（種苗放流）とニシン（自然回復）
8, 9, 10回	鯨類の利用と捕鯨問題（8-10回）：天野雅男 ・クジラの生物学と利用の歴史 ・クジラへの人為的影響 ・捕鯨をめぐる問題
11, 12, 13回	狩猟としての水産業（11-13回）：松下吉樹 ・対象生物の生態・行動と漁具・漁法 ・漁業活動が海洋生態系に与える影響
14, 15回	与えられたテーマの発表と総括（14, 15回）：全教員 レポート課題、発表を最終試験（評価と指導）として、科学技術が自然に及ぼす影響や効果を理解し考察する能力が養われているか、確認します。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587020101	科目番号 / Course code	05870201
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14721_005		
授業科目名 / Course title	b9人から見た水産業 / Fishing Industry from Human Beings' Perspective		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	亀田 和彦 / Kameda Kazuhiko, 山本 尚俊 / Yamamoto Naotoshi, 清水 健一 / Shimizu Kenichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	亀田 和彦 / Kameda Kazuhiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	亀田 和彦 / Kameda Kazuhiko, 山本 尚俊 / Yamamoto Naotoshi, 清水 健一 / Shimizu Kenichi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	亀田 : kameyan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 山本 : nao-yama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 清水 : kshimizu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産学部新々館2F(亀田)、同(山本)、水産学部本館3F(清水)		
担当教員TEL/Tel	亀田 (2807)、山本 (2802)、清水 (2805)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業後の在室時。事前の相談によっては時間帯の変更は可。また、研究室に来られた際に多忙であれば、その旨をお伝えします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちの社会が魚を利用する際には、漁船や漁具(ぎょぐ/魚を獲る道具)・漁法(ぎょほう/魚を獲る方法)という対象生物と水界の特性にじゅうぶん対応できる道具・能力・効率性の他に環境への配慮や安全性が欠かせません。また、漁獲という行為に注目すると、魚を流通させ経済的な価値を作る、という視点が欠かせません。こうしたことに注目しながら、主に、大きく時代をさかのぼることができる道具を作りそれを使いこなす能力(漁具や漁船の歴史)、魚を獲るという行為に関する経済学あるいはそれに関する人や社会の関わりに注目しながら話題や考えるべき問題を提供します。生物資源との共存・共生が根底にある授業ですので、高等学校での生物・物理・公民などと関わりがあります。		
授業到達目標/Course goals	上記の授業の概要とそれによって関心を持った事について、 ・その歴史や技術的な背景を知り(基盤的理解、環境の意義、多様性の意義。本学DPの「分野・領域を越えて活用できる汎用可能な技能を身につけている」を重視。()、 ・現状を理解し(現代的な話題を取り入れる。本学DPの地球環境と社会の多様性を理解している)を重視。()、 ・その将来を考えることができるようになる(自主的探求、批判的思考、日本語力。本学DPの「地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけている」を重視。()、 ことを到達目標としています。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験は行わず、次のことをもとにして成績を評価します。、各回の積極的な参加の様子とレポートから総合的に評価<亀田、山本>。アクティブラーニングに関する成果(30%)と課題レポート(70%)に取り組む姿勢<清水>。 3人の教員が担当するパートごとの成績を決めます。つぎに、これらをもとにしてこの授業としての成績を成績評価ガイドラインに沿って求めます。ですから、それぞれの担当パートごとに合格できる成績になるように努力してください。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	必要に応じて案内しますが、事前学習（予習に2h）は、授業内容に関する情報を集めること（知っておくことを増やす）のほかに、例えば指示されたレポートなど講義時間以外に対応する必要があることについて関連情報を集め正しくそれらを読み取る（理解し問題となることを見つける）ことなども、次回につながる勉強に該当します。事後学習（復習に2h）については、学習したことに関するレポートを指示されたらそれをやり遂げること、そうしたレポートの指示がない場合は、学修内容を整理して内容の理解ができているかどうかを確認することなどが該当します。	
キーワード/Keywords	漁具・漁法、人とその社会、水産業（漁業）、道具と技術、船と航海、漁船漁業、資源（水棲生物）と環境、食料問題、持続的生産	
教科書・教材・参考書/Materials	定めません。参考になる書籍などは必要に応じて授業中に紹介します。教材は必要に応じて印刷物を配ることがあります。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	次の4点を重視して授業に取り組んでください。a)講義に積極的に参加する意志がある（意志を持つ）こと。b)出された課題に真摯に取り組むこと。c)授業で得た「気づき」を実社会で応用できるようにしようと考えること。d)それを学修成果にあらわすこと。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考（URL）/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	漁業協同組合、漁業者、水産業、漁船、漁業の対象となる生物、資源管理型漁業などに関する情報に目を通したり書籍を読んでおくことが役に立ちます。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	亀田 和彦/a)貿易と学習塾経営が主業の事業所に勤務。b)経済活動と漁業制度の面から途上国の資源管理型漁業普及に関する短期専門家。/前者の経験を、“考え理解する手順”を教育に活用。後者の経験は漁業生産・水産加工流通・水産物の付加価値形成・水産制度の理解に活用。/ 山本 尚俊/大都市中央卸売市場仲卸組合での販促・広報業務、漁協系統組織及び家業(水産仲卸)での商品企画・販売実務経験、21世紀COEプログラムに基づくクロマグロ等の養殖産業化に関わる流通・経済調査研究経験等/養殖業・水産物の貿易と流通・水産制度を理解するための調査方法と状況分析方法を教えることに活用。/ 清水 健一/附属練習船での航海士経験/実務経験に基づき、索星、天気図の見方を実船での経験や図表も含めて本授業科目に必要な基本的知識を講義する。/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	この授業で学ぶことと学び方の説明 授業の方針、学び方や注目すべき事を知ることができます。 第5回までの「学生の思考を活性化させるための授業手法」については、授業中に伝えます。	A C
第2回	生物の進化からサカナとヒトを見る 資源共生を考えるきっかけを得ることができるようになります。	A C
第3回	遺跡から出土した「釣り針」から、生物資源と向き合う道具や技術を考える 手に入れたいサカナに合わせて道具を作り、その道具を適切に使う技術があったからこそ、「釣り針」に意味があります。このことから道具や技術を考えることができるようになります。	A B
第4回	世界の海で水産資源を探してきた経験 人類の側の都合で水産資源を探し求めた事例を知り、生物資源共生を考えることができるようになります。	A C
第5回	世界、日本、長崎県の海・漁業・船が作り上げてきたものを考える 海や船は有形・無形の文化を交流させるツールでもあり、水産資源との共生の最前線に立つツールでもあります。幅広い「つながり」の例から、多様性の大事さを考えられるようになります。	A C
第6回	水産資源の特徴と利用 第10回までの「学生の思考を活性化させるための授業手法」については、授業中に伝えます。 無主物である水産資源に関して、自発的に考えることができるようになります。	A B C

第7回	環境問題と我々の食 水産資源は、環境問題を知り「食料資源問題」を考える格好の素材であることを示すので、現代の重要課題を自ら考え掘り下げる学びにつながってください。	A B C
第8回	資源問題と我々の食 前回に続いて、水産資源を例に「資源とは何なのか」を食を通して考えることができるようになります。	A B C
第9回	技術革新とその功罪 人類都合の技術革新がもたらす「光と影」を考えることができますようになります。	A B C
第10回	資源・環境との共生・共存のもとでなりたつ我々の食 生物資源の側を考慮しない資源利用は必ず破綻すること、そのことが人類社会の終焉につながることを学修することができます。	A B C
第11回	船・造船の歴史と技術の発達 第15回までの「学生の思考を活性化させるための授業手法」については、授業中に伝えます。 船とは何か、造船の略史、造船、船舶構造などに関わる技術の歩み、を知ることができます。	A B C
第12回	航海・航海計器の歴史と技術の発達 航海することに注目して、その道具と技術の発展過程を知り考えることができるようになります。	A B C
第13回	漁船漁業発達の歴史 船舶のうち、水産資源を獲るための船に注目します。漁船漁業とは何か、単に航行技術の展開だけではなく生物特性を加味しなければ理解できないとの観点からの発展過程の評価を知り、これを自ら考えることができますようになります。	A B C
第14回	現代の漁船漁業と漁業資源 前回の授業で触れた略史の上に、現代の漁船漁業とこれによる漁業資源利用が成り立っています。これらの現代的意義あるいは現代的な問題は何か、を考えることができますようになります。	A B C
第15回	近未来の漁船漁業と資源管理の展望 人類と水産資源（水棲生物資源）とは、いつまでも共存し続けることが人類社会の発展に不可欠な条件です。こうしたことについて、近未来の展望を知り、考えることができますようになります。	A B C
第16回	これまでの授業の経験が積み上げられて成果を生み出していることを確認します。場合によっては、これまでの授業で消化できなかったことを重点的に取り扱うこともあります。	A B C

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587020901	科目番号 / Course code	05870209
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14741_005		
授業科目名 / Course title	b9海洋食料資源の応用COC / Applied Science of Marine Food Resources		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	市川 寿 / Ichikawa Hisashi, 橋 勝康 / Tachibana Katsuyasu, 濱田 友貴 / Hamada Yuki, 谷山 茂人 / Taniyama Shigeto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	市川 寿 / Ichikawa Hisashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	市川 寿 / Ichikawa Hisashi, 橋 勝康 / Tachibana Katsuyasu, 濱田 友貴 / Hamada Yuki, 谷山 茂人 / Taniyama Shigeto		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	橋 orange nagasaki-u.ac.jp、谷山 tshigeto nagasaki-u.ac.jp、市川 ichinon nagasaki-u.ac.jp、濱田 yuhamada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は、 を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	橋と谷山 (水産学部新館3階)、市川と濱田 (水産学部新館2階)		
担当教員TEL/Tel	橋 (2837)、谷山 (2842)、市川 (2845)、濱田 (2854)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	食糧事情やどのような食品をどのくらい私たちは摂取する必要があるのかを知った上で、水産食品 (マリンフード) の成分とそれらの変化、マリンフードの多彩さとそれらの製造方法、さらには衛生管理、安全確保に関わる諸問題を理解し、食にまつわる今日的な課題にどう対処したら良いかを考えることができる素養を身につける。まとめとして、長崎という地域に根ざすあるいは何らかの関わりを持つ食の問題を掘り起こし、自らの提言を付け加えて議論できる事を目指す。		
授業到達目標/Course goals	海洋食糧資源に関わる基本的な事項を、1) 相互に啓発しながら学び、2) 他者とのコミュニケーションを図って深め、3) 他者に正しく伝達する能力を獲得する。自主的に取り組む能力や思考方法を「考える力」として身につけ、学修事項を基にして意欲的にグローバルな社会貢献や地域貢献 (特に長崎) ができるようになる事を期待する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	グループディスカッションと課題発表 (50%) とレポート (50%) の成績を合計し、100点満点で評価する。60点以上の得点者に単位を認定する。レポートは、期限までに十分に余裕を持って提出する事。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	特段の事前学習が必要な場合は授業回毎に指示を行う。事後学習は、授業をきっかけとして関連事項を調べ、用いた書物や文献情報とともにまとめること。授業をきっかけとして、理解を深める更なる自己学習を総計で60時間行って頂くことを前提としています。		
キーワード/Keywords	食糧事情、食品機能、食品成分とその変化、安全性、海洋食糧資源、地域貢献 (長崎県)		

教科書・教材・参考書/Materials	参考書；食品化学-目で見る食品成分とその変化-(高野克己 他、三共出版、2005、4-7827-0509-3)、基礎から学ぶ食品科学(渡邊悦生 他、成山堂書店、2010、4-425-89001-9)、食品衛生学第三版(山中英明 他、恒星社厚生閣、2012、4-7699-1268-2)、水産食品学(須山三千三 他、恒星社厚生閣、1987、4-7699-0592-9)	
受講要件(履修条件)/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考(URL)/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	「まとめ課題」提出及び、最終段階での「長崎地域に何らかの関わりを持つ課題発表とディスカッション」参加は、試験にあたります。出席が必須ですので留意すること。	
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	我が国の食糧事情(長崎県の事情を含めて学修)	A
第2回	食品の安全と安心(長崎県の事例を通して学修)	A
第3回	水産食品の基礎的トピックス	A
第4回	水産食品の基礎的トピックス	A
第5回	食に求められるものの変遷	A
第6回	水産食品の基礎的トピックス	A
第7回	水産食品の基礎的トピックス	A
第8回	まとめ課題(食糧資源に関する課題の抽出と意見論述)	A D
第9回	水産食品の実践応用的トピックス	A
第10回	食品の表示と今後の課題	A
第11回	水産食品の実践応用的トピックス(長崎県の事例を通して学修)	A
第12回	水産食品の実践応用的トピックス(長崎県の事例を通して学修)	A
第13回	水産食品の実践応用的トピックス	A
第14回	課題発表とディスカッション(第1グループ)	A B D
第15回	課題発表とディスカッション(第2グループ)	A B D
第16回	課題発表とディスカッション	A B D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587020501	科目番号 / Course code	05870205
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14731_005		
授業科目名 / Course title	b10海洋の生物と科学COC / Marine Fishes and Applied Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 征矢野 清 / Soyano Kiyoshi, 萩原 篤志 / Atsushi Hagiwara		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 征矢野 清 / Soyano Kiyoshi, 萩原 篤志 / Atsushi Hagiwara		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	阪倉(授業担当者の代表) sakakura_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産増殖学研究室(総合教育研究棟4階)		
担当教員TEL/Tel	阪倉(2823)、征矢野(850-7701)、萩原(2830)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	海洋生物資源の生産・培養に関する原理や方法などについて、現代社会における実課題例を交えながら学ぶ。ここで挙げる実課題とは、世界的な課題のみならず、我が国有数の養殖場である長崎県の事例も取り上げる。このように、海洋と海洋生物の科学について基礎から応用まで多面的に学習することにより、幅広い教養と共に、環境と調和した持続可能な社会を実現するためには何をすべきかを考える能力を身につける。		
授業到達目標/Course goals	海の生物と人との関わりを理解する。養殖に関するグローバルな動向と長崎県の位置付けも併せて理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート, 期末試験(70%) 授業への参加状況(30%) 合計で60%以上を取れた者に単位を与える。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義内容を効率良く理解するため、そして講義中になされる教員の質問に解答することができるためにも、その回に取り上げられるトピックを予習しておくことが推奨される(2h程度)。この講義で扱う分野は多岐にわたるとともに、相互に関連している。各試験の直前に復習したのでは、正確な理解を身につけることは難しいため、毎回復習すること(2h程度)。		
キーワード/Keywords	多様性・プランクトン・魚類・繁殖・生態・養殖・長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	講義資料を適宜配布する。 また、それらの一部はLACS上で公開する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	「人の暮らしと海洋生物資源」モジュールを受講・単位修得していることが望ましい。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	身近のニュースなどで漁業や農業関係のものにも目を向けてみましょう。 生命現象の基礎科学が応用（養殖）にどのように結びつくのかという視点を持って欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス 本講義の概要 世界、日本および長崎県の養殖業について
第2回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第3回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第4回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第5回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第6回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第7回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第8回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第9回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第10回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第11回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第12回	魚類種苗生産の現状
第13回	魚類種苗生産の現状
第14回	魚類種苗生産の現状
第15回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587021301	科目番号 / Course code	05870213
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14751_005		
授業科目名 / Course title	b10海洋環境と保全 / Marine Environment and Conservation		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 利一 / Suzuki Toshikazu, SATUITO CYRIL GLENN PEREZ / Satuito Cyril Glenn Perez		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 利一 / Suzuki Toshikazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 利一 / Suzuki Toshikazu, SATUITO CYRIL GLENN PEREZ / Satuito Cyril Glenn Perez		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	鈴木 (授業担当者の代表) tsuzuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	サタイト・鈴木 (水産学部本館1・2階)		
担当教員TEL/Tel	サタイト (095-819-2853)、鈴木 (095-819-2821)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の直後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本授業では、(1) 付着生物と (2) 浮游生物の2つの視点から海洋環境と保全について講義を行う予定である。</p> <p>(1) では、付着生物の生態と海洋における人間活動への影響や関わりについて学び、付着生物による被害と対策の歴史、また、防汚対策技術の現状および問題点について海洋保全の観点から詳しく説明する。(2) では、浮游生物の生態と海洋環境を中心に講義し、水柱中の食物連鎖や低次生産の生物過程の理解を通して、海洋保全の考え方や実例を出来るだけ数多く解説する。</p>		
授業到達目標/Course goals	受講生が沿岸環境に親しみをもち、保全の意義を自ら考えることができる (1) (2) (11)。また、人の暮らしと海洋生物資源について、海洋環境と保全の視点から説明が出来る (5) (8) (10)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み (20%) と、小テスト (80%) で評価する。合計で60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回、授業時間と同じ時間の予習(2h)、および、授業時間と同じ時間の復習(2h)を必要とします。小テストが頻繁にありますので、予習復習を欠かさず行ってください。具体的な内容は、シラバスや授業を参考にすること。		
キーワード/Keywords	付着生物、浮游生物、沿岸環境		
教科書・教材・参考書/Materials	資料が必要な場合は、適宜配布します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	積極的に授業に参加し、自分自身でよく考え、内容を理解するように。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木 利一 / 国立極地研究所での研究員経験 / 様々な海域での調査経験を有する教員が植物プランクトンの海洋食物連鎖における役割と重要性について解説する
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	付着生物とは何か? (サトイト)
第2回	海水とその利用: 付着生物の生息環境と人間との関わり (サトイト)
第3回	付着生物の繁殖と幼生の拡散: 付着生物はどのように子孫を残すのか? (サトイト)
第4回	幼生の付着: 幼生はどのように付着場所を決めるのか? (サトイト)
第5回	汚損生物: 人間にとって厄介な付着生物 (サトイト)
第6回	防汚対策と環境?: どんな防汚対策技術があるのか? (サトイト)
第7回	防汚対策と環境?: 防汚対策技術が環境に与える影響を考える。(小テスト) (サトイト)
第8回	浮游生物 (プランクトン) とは何か? どのようなものがあるか? 小テスト (鈴木)
第9回	植物プランクトンと海洋環境 (光、栄養塩)、小テスト (鈴木)
第10回	植物プランクトンと海洋環境 (栄養塩)、小テスト (鈴木)
第11回	植物プランクトンと海洋環境 (季節変動)、小テスト (鈴木)
第12回	赤潮の発生メカニズムと対策、小テスト (鈴木)
第13回	青潮・富栄養化・貧酸素水塊とプランクトン生態との関係、小テスト (鈴木)
第14回	動物プランクトンの代謝・摂餌と個体サイズ、小テスト (鈴木)
第15回	海洋水柱中の食物連鎖構造と海洋環境、小テスト (鈴木)
第16回	なし

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587054301	科目番号 / Course code	05870543
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15441_005		
授業科目名 / Course title	b10環境関連法とアセスメント / Environmental Assessment and Related Domestic Laws		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	近藤 能子 / Yoshiko Kondo, 山下 敬彦 / Yamashita Takahiko, 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 久保 隆 / Kubo Takashi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	近藤 能子 / Yoshiko Kondo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	近藤 能子 / Yoshiko Kondo, 山下 敬彦 / Yamashita Takahiko, 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 久保 隆 / Kubo Takashi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	近藤 (yoshikondo nagasaki-u.ac.jp) * 科目担当教員 山下 (yamac nagasaki-u.ac.jp) 竹下 (juniper nagasaki-u.ac.jp) 久保 (kubo-t nagasaki-u.ac.jp) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	科目担当教員 (水産学部本館3階A86)		
担当教員TEL/Tel	科目担当教員 (095-819-2840)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	科目担当教員 (研究室にて随時 (平日10時-17時))		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	環境問題に関する考え方、国際環境法や国内の環境基本法の理念について学び、現在の海洋環境問題を捉えていく。水質汚濁や護岸工事等の公共事業から自然環境を保全・修復していくことを目的とした環境アセスメントの手法やその評価について、また、海洋生態系の劣化を抑制していく技術革新について考えていきます。		
授業到達目標/Course goals	海洋などの水圏環境で起きている環境問題について列挙し、その問題の本質や、利害関係、矛盾点、解決への施策について、知識を元に議論することができ、また、第3者にわかりやすく説明することが出来るようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業に取り組む姿勢 (出席や、ディベート等での点数、小テスト等への回答) で60%、授業で課されるレポート (アンケート等を含む) で40%の点数をつけます。60%以上で合格とし、期末試験はありません。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業で取り扱ったテーマ、理論、用語について復習すること(2-4h)。		
キーワード/Keywords	海洋環境、環境関連法、アセスメント		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	「人の暮らしと海洋生物資源」モジュールIを受講・単位修得していることが望ましいです。全回出席が原則ですが、やむを得ず欠席する場合は、理由と共に教員に事前連絡をするようにしてください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	(近藤) オリエンテーション。授業への参加者の人数にも依りますが、参加する学生のバックグラウンドを共有して、今後の授業作りに役立てていきます。海洋における土木工事や発電所建設等に伴う海洋環境アセスメントの実態、アセスメント会社の仕事内容、水産学部における海洋調査の内容、民間業者等による海洋環境の復元事業などについて、紹介していきます。
第2回	予備日
第3回	(近藤) 有明海の諫早干拓堤防の開門問題について、生物・化学的な調査、司法判断等の多方面からのレクチャを行います。
第4回	(近藤) 有明海の諫早干拓堤防の開門問題についてのレクチャの続きに加え、その是非や、今後のあるべき展開について議論/レポートしてもらいます。
第5回	(近藤) 福島第一原発事故の海洋化学・水産科学的側面についてのレクチャを行います。
第6回	(近藤) 福島第一原発事故の海洋化学・水産科学的側面についてのレクチャの続きとこれからの海洋環境・生態系保全について議論/レポートをしてもらいます。
第7回	(山下) 国際環境法の歴史と特徴：環境に対する基本的な考え方（環境倫理等）について考え、それらを簡潔にまとめてもらいます。また、二国間の紛争解決のための条約から、国際共同体全体の利益を管理する仕組みへと移行した歴史と、現代の国際環境法の特質等を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第8回	(山下) 人間環境宣言：環境問題についての世界で初めての大規模な政府間会合である国際連合人間環境会議における「人間環境宣言」の主旨を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第9回	(山下) 第一世代の国際環境法：第一世代の代表的な国際環境法であるラムサール条約、ユネスコ世界遺産条約及びワシントン条約の主旨を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第10回	(竹下) 第二世代の国際環境法（その1）：第二世代の代表的な国際環境法のうち、パーゼル条約の主旨を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第11回	(山下) 第二世代の国際環境法（その2）：第二世代の代表的な国際環境法のうち、気候変動枠組条約の主旨を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第12回	(久保) 第二世代の国際環境法（その3）：第二世代の代表的な国際環境法のうち、生物多様性条約の主旨を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第13回	(久保) ソフト・ロー：ソフト・ロー的な法的拘束力のない文書の役割とそれらの文書のうち、環境と開発に関するリオ宣言、持続可能な開発に関するヨハネスブルグ宣言の主旨を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第14回	(久保) 日本の環境と環境政策：日本における環境問題とそれらへの対策の考え方や歴史、さらに国際環境法との関係等を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第15回	(竹下) 環境基本法（その1）：日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の目的や基本理念等を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第16回	(竹下) 環境基本法（その2）：環境の保全に関する基本的施策の主旨を理解し、簡潔にまとめてもらいます。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587060702	科目番号 / Course code	05870607
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15551_005		
授業科目名 / Course title	b11世界のことばの多様性 / The World's Linguistic Diversity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	TOET RUDY		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	TOET RUDY		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	TOET RUDY		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	rudytoet nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5階ライティングセンター・留学相談室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の直後またはメールにて質問を受け付ける。メールによりアポイントメントを取ることもできる。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	音声学・音韻論(発音)、形態論・統語論(文法)等の各観点から、世界の各言語に見られる様々な表現の仕方について考察する。日本語や英語の比較的身近な言語から聞いたことすらない言語まで幅広く見ていき、ヒトを特徴づける「ことば」というものの多様性に驚きながら、その表面の下にある人間の普遍性を示唆する側面も探る。また、他言語に見られる特徴が、日本共通語・標準語には見られないが、長崎方言(九州方言)には見られるなどのようなケースを通じて、世界のことばの多様性のみならず日本のことばの多様性についても理解を深め、地元のことばを考える機会ともする。学生の英語などの外国語学習に対する刺激になることも狙いの一つである。		
授業到達目標/Course goals	1. 世界の各言語のどの側面がどのように異なり得るか、そしてどのような普遍的な側面があるかを理解し、説明できるようになる((1)(7)(10))。 2. 自分の使うことば・地元のことばの特徴を把握し、世界のことばの多様性の中に位置づけることができるようになる((1)(7)(10))。 3. 英語などの外国語学習において取り組むべき要素を新たに見付け、その方法を考えることができるようになる((1)(2)(9))。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 授業で得た知識を活用して、外国語学習において取り組むべき要素を主体的に確認する活動 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み 30点 内容理解確認小テスト(平均点数) 20点 提出課題(平均点数) 20点 定期試験 30点 合計100点の内60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】毎回指定される資料を予め読んでおくこと。(1コマ当たり2時間) 【復習】授業の内容に対する学生の理解を確認するために定期的に実施する小テストのための復習と、数回提出を求める異なる言語のある特徴を比較する小レポートの執筆。(1コマ当たり2時間)
キーワード/Keywords	世界の各言語の音声学・音韻論・形態論・統語論、長崎県・九州地方の方言
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。授業で適宜に資料を配布する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1~2回	オリエンテーションに加えて世界の各言語について概説する。
第3~4回	音声学の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第5~6回	音韻論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第7~8回	形態論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第9~10回	統語論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第11~12回	「言語行為」(speech acts)の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第13~14回	時制(テンス)と相(アスペクト)の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第15回	第14回まで扱った内容をまとめる。
第16回	定期試験を実施する。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587067501	科目番号 / Course code	05870675
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16431_005		
授業科目名 / Course title	b11陶磁器から見た文化の多様性COC / Diversity of the Culture from View Point of Ceramics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	野上 建紀 / Takenori Nogami		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nogami-takenori@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	総合教育研究棟11階 野上研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2919		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時 (メールにて要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	考古学の資料の中でも陶磁器は、最も多く出土するものの一つである。壊れやすく、再利用が難しいことから、廃棄されやすく、かつ土中や水中にあっても消失することなく残るからである。また、世界各地で生産され、それぞれの地域や時代を映す「鏡」となることから最も重要な資料の一つでもある。陶磁器を観察すれば各地域の文化や相互の影響関係も理解することができるのである。長崎県産をはじめとした日本の陶磁器も世界各地の需要に応えた時期があり、それは長崎から運ばれていた。陶磁器を通して、その背後にある文化交流を読み解き、日本と世界の関わりを理解できるようになることが授業の目的である。		
授業到達目標 / Course goals	1. 世界に輸出された長崎県をはじめとした日本の陶磁器について説明することができるようになる。 2. 長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器が世界に与えた影響を説明することができるようになる。 3. 世界情勢で長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器の輸出が発展した過程を説明することができるようになる。 4. 日本 (特に長崎) と海外との関わりを示す考古資料を説明することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポート・小課題の提出状況 50~70点 (合計点を50~70点満点で換算)、最終試験 (あるいは最終レポート) 30~50点の計100点		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【予習】授業の最後に次回の内容について説明しますので、関連する資料を確認するようにしてください。(2h) 【復習】授業で配布された資料を整理し、授業の内容について理解を深めるようにしてください。(2h)		
キーワード / Keywords	陶磁器、文化交流、水中考古学		
教科書・教材・参考書 / Materials	『陶磁考古学入門』(2021年 勁草書房)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	授業内容に関連する長崎市内の施設・遺跡の見学を授業の予復習とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	質問や相談は気軽に研究室へ（事前にメールをください。）
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	野上 建紀 / 有田町歴史民俗資料館での勤務経験（25年間） / 埋蔵文化財を中心とした文化財保護行政と資料館の学芸業務の経験を生かして、考古学と社会の関わりについても説明する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1/2回	考古学入門
第3/4回	水中考古学入門
第5/6回	陶磁考古学
第7/8回	沈没船研究
第9/10回	海外輸出された伊万里（1）
第11/12回	海外輸出された伊万里（2）
第13/14回	青のテーマ、海のシルクロード
第15回	質疑応答、最終試験またはレポート

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587069501	科目番号 / Course code	05870695
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b11法と人権の多様性 / Legal Pluralism and Human Rights		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河村 有教		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	河村 有教		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	河村 有教		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawamura_nagasaki-u.ac.jp (@)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟(多文化社会学研究科・多文化社会学部)11階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2953(研究室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日(事前に連絡してアポイントを取ってください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業は、理系の学生を対象として社会科学(刑事法学)の基礎知識を提供するものである。本授業においては、日本の刑事法(刑法、刑事訴訟法、少年法)や日本の刑事裁判例を切り口として、法と人権について学習する。諸外国における「法」の多様性、「人権」の多様性、法解釈の多様性についてや諸外国や国際社会からみた「法」や「人権」についての日本の特徴についてもあわせて学習する。法律の学習に関心のある理系の学生を対象とする法学への入門(入り口)として、基礎的なことから解説する。		
授業到達目標/Course goals	既存の制度を批判的に論じ、よりよい制度となるように、未来社会を構想し得る力を涵養する。法学の多元的なアプローチ(分析手法)を学習した上で、それをを用いて、さらには、グローバルな視点とローカルな視点から、日本国内および国際社会で生じている様々な人権問題の解決に向けて提言する基礎的能力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末試験を実施する(60%)。授業への出席及びコメントシートの提出(40%)。オンライン授業になった場合には、レポート等の課題を課し、レポートの提出を求めることもある。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業内で教科書等を読むことはしないため、教科書については、主に事前の予習、事後の復習の教材に役立てください。授業のテーマに関わりそうな図書や雑誌、新聞記事等の資料を読み、「法と人権」の問題について考えること。(予習2時間・復習2時間)		
キーワード / Keywords	法, 人権, 人身の自由, 国際人権規約(自由権規約), 刑法, 刑事訴訟法, 少年法		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書等については、初回の授業で教科書・参考書等の説明を確認したうえで購入してください。試験で六法の持ち込みを可としています。不正行為防止の点から試験では、PCやi phone等を利用した六法検索は認められません。『デイリー六法』（三省堂）の購入をお勧めしています（『ポケット六法』（有斐閣）も可です）。法律改正や新しく立法される法律があるので、六法については最新版を購入のこと。 【教科書】河村有教ほか編『刑事法判例読解の視点』（晃洋書房、2021年）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp"
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	法学、法律学に関心のある学生さんを歓迎します。楽しく学習しましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	日本における「法」とは何か
第2回	不文法としての「判例」－「憲法上の権利」を生きたものにする
第3回	法の多様性 「国家法一元制」と「多元的法体制」
第4回	「人権」の多様性 香港の「個人尊重」と中国の「国家安全」との対立
第5回	法解釈の多様性（1）罪刑法定主義と類推解釈の禁止
第6回	法解釈の多様性（2）ストーカー行為規制法における「見張り」
第7回	法解釈の多様性（3）強盗罪における「暴行・脅迫」
第8回	人権の保障（1）薬物かどうかの故意の認定
第9回	人権の保障（2）過失犯の成否
第10回	人権の保障（3）捜査機関による任意の活動の規制 ビデオ撮影の裁判例を中心に
第11回	人権の保障（4）長期間の身柄拘束・保釈の問題
第12回	人権の保障（5）有罪を認定するための「証拠」
第13回	人権の保障（6）少年法と刑事訴訟法の違い
第14回	人権の保障（7）少年法における少年の保護処分について
第15回	日本の特徴とは何か？ 「法」の多様性、「人権」の多様性、日本の刑事法における「法」の解釈の多様性について、これまで学習したことを振り返り、「法」、「人権」、「法解釈」の日本の特徴について考える。
第16回	期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587046501	科目番号 / Course code	05870465
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14341_005		
授業科目名 / Course title	b12アジアにおける人の移動と日本 / Migration in Asia and Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	南 誠 / Minami Makoto		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lsk-minami nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟10F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2926		
担当教員オフィスアワー/Office hours	必ず事前にメールで連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人の移動が活発に行われる今日のグローバル社会を生きる誰もが、人の移動によって生じる諸問題に直面する。この授業ではアジアという地域に焦点を定めて、人の移動にかかわる諸現象(移動の歴史、移動をもたらす諸要因や、人の移動による文化交流と新たな社会空間の生成など)を講義することで、アジアと日本の多文化状況や、異なる言語と文化を持つ人々との共生と協働について理解を深めます。		
授業到達目標/Course goals	アジアにおける人の移動や、日本との関係に関する理解を深めつつ、人の移動によって惹起した具体的な諸現象や、日本国内で生活する外国住民の歴史と現状、および、日本の「多文化」化社会の実態を自分の言葉で説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	最終レポート(50%)、授業および討論への参加度(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習(2h) 事後学習(2h)		
キーワード/Keywords	グローバルイゼーション、国際移民、エスニシティ、ディアスポラ、社会的包摂と排除、多文化共生、境界文化、歴史記憶、東アジア共同体		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はとくに指定しない。授業のなかで適宜に課題文献を紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	人の移動を考えることは、異文化交流のための知識を養うことでもあります。しかしそれ以上に、日本に住む外国住民の問題を他人事ではなく、自分も生活する日本の多文化化社会の課題として考えるようになることが大事です。本講義の聴講を通して、是非ともそうした感性を培ってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロ
第2回	映画で考える人の移動
第3回	グローバル化時代における人の移動とアジア
第4回	国民国家と国際移民
第5回	人の移動へのアプローチ
第6回	日本と長崎をめぐる人の移動
第7回	日本人の海外移動と景観?@
第8回	日本人の海外移動と景観?A
第9回	アジアにおける人の移動と歴史記憶
第10回	アジアにおける人の移動と言語・文化
第11回	多みんぞくニホンのかたち
第12回	境界文化のポリティクス
第13回	地域社会と移民コミュニティ
第14回	他者との共生
第15回	総括
第16回	試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587063902	科目番号 / Course code	05870639
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15691_005		
授業科目名 / Course title	b12文化人類学でみる世界と日本 / Anthropology for Cross-Cultural Understanding		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hosoda_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールでアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グローバル化の時代、さまざまな国、文化、宗教の人たちとともに働き、暮らす方法を模索しているのは日本だけではない。この授業では、多様な文化的背景を持つ人たちが共存する東南アジアの国々について学ぶ。前半では多文化社会としての東南アジアの魅力や将来について取り上げ、後半では東南アジアと日本との関わりについて議論する。授業の一環としてグループワークやゲストトークも取り入れる。		
授業到達目標/Course goals	(1) 現在の東南アジアに関する知識を習得する。(2) 多文化が共存する社会の政策や現実について具体的に述べる事ができる。(3) 東南アジアの魅力について自分で調べ、発信できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加(毎回の授業中の積極的な態度や課題への取り組み、コメントカードの内容)50点、授業中に行う小テストやグループ発表の成果30点、最終試験(あるいは最終レポート)20点の計100点で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: LACSにある資料を読み、自分の考えをまとめ、質問を準備すること。小テストや最終試験等の準備。(2h) 復習: 分からなかった単語や事象を授業後に自分で調べるようにすること。(2h)		
キーワード/Keywords	東南アジア、多文化共生、アジアとの交流史		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はない。毎回、予習のための教材を指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	1. グループワーク活動に積極的に参加できることが受講の条件です。よって毎回の出席も必須です。2. まわりの人たちの学習のさまたげにならないよう、私語や携帯電話、スマートフォンなどの使用はひかえてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	イントロダクション、東南アジアの多様性：自然・経済・文化
第3-4回	東南アジア社会の成り立ち：地域の歴史から問い直す
第5-6回	多民族国家の誕生と現在：多宗教の共存を中心に
第7-8回	経済発展と移民労働：受け入れ国と送り出し国の両側から
第9-10回	東南アジアと日本
第11-12回	世界のなかの東南アジア
第13-14回	グループ発表
第15回	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587064102	科目番号 / Course code	05870641
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15701_005		
授業科目名 / Course title	b12国際関係論COC / Introduction to International Relations		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	NURGALIYEVA LYAILYA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	NURGALIYEVA LYAILYA		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	NURGALIYEVA LYAILYA		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lyailya.nurgaliyeva@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5F助教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2938		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業後或いは事前にメールで連絡		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	複雑な国際関係を基礎的な概念と理論で把握し、現代の主要な国際問題(たとえば、平和、環境、難民、寛容など)を検討する。その背景にある歴史、文化、思想、経済の変化は国際関係の学際的な枠組みを作り上げる。安全保障、経済と社会のグローバル化、人権の擁護などを事例にして、国際関係の理解を目指す。		
授業到達目標/Course goals	この授業では、複雑な現代国際関係を理解することと国際関係に関する基本的な判断力を養うことを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況 = 15% 予習・復習への取り組み(課題提出) = 25% 最終レポート = 60% *期間中に行うディスカッションも評価の対象とする *ディスカッションに参加するためには講義への出席が最低条件となる		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: ディスカッションや最終試験等の準備。新聞やテレビなど、いきかうニュースを見ること。 事前資料がある場合は資料を読むこと。(2h) 復習: 分からなかった単語や事象を授業後に自分で調べるようにすること。(2h)		
キーワード/Keywords	平和と紛争、国際移民、国家、外交、グローバル化、人権、人間の安全保障、国家安全保障		
教科書・教材・参考書/Materials	プリントを配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	どなたでも受講可能です。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業中に行うディスカッションに積極的に参加することは非常に重要です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション: 国際関係論とは
第2回	国際関係と歴史
第3回	国際関係の理論 (リアリズム)
第4回	国際関係の理論 (リベラリズム)
第5回	ゲーム理論
第6回	国際関係の理論 (コンストラクティビズム)
第7回	環境問題-1
第8回	環境問題-2
第9回	貧困問題-1
第10回	貧困問題-2
第11回	国際連合-1
第12回	国際連合-2
第13回	国際紛争・国内紛争
第14回	紛争の解決
第15回	国際社会における日本の位置づけ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587002101	科目番号 / Course code	05870021
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11711_005		
授業科目名 / Course title	b13先端医療・再生医療 / Advanced Therapy - Regenerative Medicine		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川崎 五郎 / Kawasaki Gorou, 魚返 拓利, 住田 吉慶 / Sumita Yoshinori, 高木 幸則 / Takagi Yukinori, 井 隆司 / I Takashi, 坂元 裕		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	川崎 五郎 / Kawasaki Gorou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	川崎 五郎 / Kawasaki Gorou, 魚返 拓利, 住田 吉慶 / Sumita Yoshinori, 高木 幸則 / Takagi Yukinori, 井 隆司 / I Takashi, 坂元 裕		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gkawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医歯薬学総合研究科(長崎大学病院内)8階 口腔腫瘍治療学分野スタッフルーム2		
担当教員TEL/Tel	095-819-7698		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週火曜日午後13時半から16時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現在の医療における先端的な診断や治療法についてその概略を理解していただきますが、特に昨今話題となっている腫瘍の治療、再生医療、日常行われている診断と最近の話題に関する内容を中心に授業を行います。		
授業到達目標/Course goals	現在、高齢化社会において再生医療がどのように役に立つのか、新しい診断機器や方法によって何がわかるようになるのかが理解できる。そして今後どのようにしていけばさらに社会に対して貢献していけるのか考察できるようになる。さらに、自分が将来専門とする分野との連携が模索できるようになる。以上を目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席回数、小テストの評価、レポート等にて評価します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	口腔腫瘍、再生医療、診断		
教科書・教材・参考書/Materials	担当教員が配布する資料を使用します。参考書としては「細胞の分子生物学」		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	住田 吉慶 / 再生医療の基礎と臨床 / 佐々木 美穂 / 長崎大学病院における画像診断業務を継続中 / 歯科放射線に必要な基礎および臨床に関する講義と実習指導 / 原田沙織 / 大学病院における診療経験、歯科医学研究の実務 / 研究倫理についての講義
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、医学の概略
第2回	口腔がんの基礎と臨床
第3回	画像診断
第4回	再生医療

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587002901	科目番号 / Course code	05870029
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11731_005		
授業科目名 / Course title	b13口と疾患 / Oral Diseases		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsuro, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsuro, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	Engineering・Environmental		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ayoshi nagasaki-u.ac.jp (Yoshimura) (Replace with before sending an e-mail) yanagi nagasaki-u.ac.jp (Yanagiguchi) torisu nagasaki-u.ac.jp (Torisu)		
担当教員研究室/Office	Room for associate and senior assistant professor of Periodontology (Yoshimura) Room for associate and senior assistant professor of Cariology (Yanagiguchi) Room for teachers of Prosthodontics (Torisu)		
担当教員TEL/Tel	095-819-7681(Yoshimura), 819-7693(Torisu), 819-7678(Yanagiguchi)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Monday-Friday 9:00-17:00 E-mail message is preferable.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	You will understand the causes, symptoms, treatment methods and preventive methods of the main disease in mouth such as a temporo-mandibular joint disorder, a chewing disorder, caries, periodontal diseases. Furthermore, using knowledge necessary to maintain the health in the mouth, you will find the methods to keep your mouth healthy.		
授業到達目標/Course goals	You will be able to explain main causes and symptoms of the principle mouth diseases (5, 7, 8)。 You will be able to explain rough treatment methods of the principle mouth diseases (3)。 You will be able to explain rough preventive methods of the principle mouth diseases (10, 11)。 You will be able to think about the methods to increase health in your mouth by yourself (1, 2, 6)。 You will be able to think about the methods to increase health in your mouth by		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation			
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	It takes approximately 90 minutes for preparation and review every time.		
キーワード/Keywords	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder, dental caries, periodontal diseases		
教科書・教材・参考書/Materials	You do not have to purchase textbooks. Some reference books will be introduced in the		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	Reports (25%), oral examination(25%), presentation(25%), paper examination(25%)
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	Review the knowledges that you learned in module 1.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	Atsutoshi Yoshimura/Experience as a dentist/ Tetsuro Torisu/Experience as a dentist/ Gajiro Yanagiguchi/Experience as a dentist/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st 4/13(Tue) 3	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder (1) Torisu
2nd 4/13(Tue) 4	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder (2) Torisu
3rd 4/20(Tue) 3	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder (3) Torisu
4th 4/20(Tue) 4	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder (4) Torisu
5th 4/27(Tue) 3	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder (5) Torisu
6th 4/27(Tue) 4	Causes and symptoms of the caries (1) Yanagiguchi
7th 5/11(Tue) 3	Causes and symptoms of the caries (2) Yanagiguchi
8th 5/11(Tue) 4	Treatment and the prevention of the caries (1) Yanagiguchi
9th 5/18(Tue) 3	Treatment and the prevention of the caries (2) Yanagiguchi
10th 5/18(Tue) 4	Treatment and the prevention of the caries (3) Yanagiguchi
11th 5/25(Tue) 3	Periodontal diseases (1) Yoshimura
12th 5/25(Tue) 4	Periodontal diseases (2) Yoshimura
13th 6/1(Tue) 3	Periodontal diseases (3) Yoshimura
14th 6/1(Tue) 4	Periodontal diseases (4) Yoshimura
15th 6/8(Tue) 3	Periodontal diseases (5) Yoshimura

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587002901	科目番号 / Course code	05870029
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11731_005		
授業科目名 / Course title	b13口と疾患 / Oral Diseases		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsuro, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsuro, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ayoshi nagasaki-u.ac.jp(吉村) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) yanagi nagasaki-u.ac.jp(柳口) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) torisu nagasaki-u.ac.jp(鳥巢) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	歯周歯内治療学教授室(吉村), 歯科補綴学教員室(鳥巢), 歯周歯内治療学准教授・講師室(柳口)		
担当教員TEL/Tel	819-7681(吉村), 819-7693(鳥巢), 819-7682(柳口)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金曜日 9:00-17:00 Eメールにより質問を受け付けます。上記Eメール・アドレスに連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	顎関節障害、咀嚼障害、齲蝕、歯周病などの口の中の主な疾患の原因と症状、治療法、予防法につ いて理解する。さらに、口の中の健康を維持するために必要な知識を用いて、口の中の健康を増進 するために活かす態度を見につける。		
授業到達目標/Course goals	主な口の疾患の原因と症状について説明できる(5、7、8)。 主な口の疾患の治療法について説明できる(3)。 主な口の疾患の予防法について説明できる(10、11)。 口の中の健康を増進するための方法について、自ら考えることができる(1、2、6)。 口の中の健康を増進するための方法について、他者と協働で考えることができる(4、11、12)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポートなどの提出物(25%)、口頭試問(25%)、発表態度(25%)、試験(25%)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回90分程度の授業外学習を要する。		
キーワード/Keywords	顎関節障害・咀嚼障害・齲蝕・歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特に使用しない。参考書は、授業を進めて行く中で、適宜紹介する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	開講された講義の3分の2以上に出席している者。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	モジュールIで学習した内容は、復習しておくこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	吉村 篤利/歯科医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 鳥巢 哲朗/大学病院および関連病院における有床義歯を主体とした歯科補綴治療および技工作業/臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供/ 柳口 嘉治郎/現役歯科医師が病院歯科における実務経験/歯周治療に必要な基本的知識、技術をスライドや動画を用いて解説する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/13(火) 3校時	顎関節障害・咀嚼障害(1)(鳥巢哲朗)
第2回 4/13(火) 4校時	顎関節障害・咀嚼障害(2)(鳥巢哲朗)
第3回 4/20(火) 3校時	顎関節障害・咀嚼障害(3)(鳥巢哲朗)
第4回 4/20(火) 4校時	顎関節障害・咀嚼障害(4)(鳥巢哲朗)
第5回 4/27(火) 3校時	顎関節障害・咀嚼障害(5)(鳥巢哲朗)
第6回 4/27(火) 4校時	齲蝕の原因と症状(1)(柳口嘉治郎)
第7回 5/11(火) 3校時	齲蝕の原因と症状(2)(柳口嘉治郎)
第8回 5/11(火) 4校時	齲蝕の治療と予防(1)(柳口嘉治郎)
第9回 5/18(火) 3校時	齲蝕の治療と予防(2)(柳口嘉治郎)
第10回 5/18(火) 4校時	齲蝕の治療と予防(3)(柳口嘉治郎)
第11回 5/25(火) 3校時	歯周病の症状と治療(1)(吉村篤利)
第12回 5/25(火) 4校時	歯周病の症状と治療(2)(吉村篤利)
第13回 6/1(火) 3校時	歯周病の症状と治療(3)(吉村篤利)
第14回 6/1(火) 4校時	歯周病の症状と治療(4)(吉村篤利)
第15回 6/8(火) 3校時	歯周病の症状と治療(5)(吉村篤利)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587057101	科目番号 / Course code	05870571
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15531_005		
授業科目名 / Course title	b13口腔から始まる健康COC / General Health Based on Oral Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 鮎瀬 卓郎 / Ayuse Takao, 山田 志津香 / Yamada Shiduka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 鮎瀬 卓郎 / Ayuse Takao, 山田 志津香 / Yamada Shiduka		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmurata nagasaki-u.ac.jp (Change to @)		
担当教員研究室/Office	Nagasaki University Hospital 8F room839		
担当教員TEL/Tel	095-819-7690		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Murata: Wednesday 17:00 - 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Students study oral function, change by the aging in the alveolar bone collagen and so		
授業到達目標/Course goals	Students can explain importance and methods of maintenance and improvement of oral		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Report, Contribution toward class		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Study method of presentation.		
キーワード/Keywords	Super aging society, Oral function, QOL, Sleep, respiratory function, collagen, Nagasaki		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	Students must attend the classes of more than 2/3 and submit reports.		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	Please do not hesitate to ask the questions.		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y / N) / Instructor(s) with practical experience	Y		

<p>実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course</p>	<p>村田 比呂司/長崎大学病院における歯科補綴診療業務を継続中/実務経験に基づき、口腔機能の回復、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療、加齢に伴う歯槽骨のコラーゲンの質の変化とその機序を知り、生涯健康な歯や骨を維持するための知識を講義する。/ 鮎瀬 卓郎/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。/ 山田 志津香/現役歯科医師が病院歯科における実務経験/歯内治療に必要な基本的知識、技術をスライドや動画を用いて解説する。/</p>
--	---

授業計画詳細 / Course Schedule

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Explanation of theme and method of investigation concerning oral function. Investigation by each group. (Murata)
2	Investigation by each group. (Murata)
3	Investigation by each group. (Murata)
4	Investigation by each group. (Murata)
5	Presentation by each group. Lecture concerning oral function. (Murata)
6	(Ayuse)
7	(Ayuse)
8	(Ayuse)
9	(Ayuse)
10	(Ayuse)
11	Lecture of Collagen biochemistry and Explanation about group work.(Yamada)
12	Investigation by each group. (Yamada)
13	Investigation by each group. (Yamada)
14	Investigation by each group. (Yamada)
15	Presentation by each group and Lecture of Change by the aging in the hard tissue collagen.(Yamada)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587057101	科目番号 / Course code	05870571
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15531_005		
授業科目名 / Course title	b13口腔から始まる健康COC / General Health Based on Oral Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 鮎瀬 卓郎 / Ayuse Takao, 山田 志津香 / Yamada Shiduka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 鮎瀬 卓郎 / Ayuse Takao, 山田 志津香 / Yamada Shiduka		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	村田 : hmurata nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	病院本館 8階839室		
担当教員TEL/Tel	(内線:坂本地区) 村田:7690; 鮎瀬:7713; 山田7678		
担当教員オフィスアワー/Office hours	村田:水17:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	口腔機能の回復、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療について学ぶ。また加齢に伴う歯槽骨のコラーゲンの質の変化とその機序を知り、生涯健康な歯や骨を維持するための知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	口腔の健康を維持そして増進するための重要性と方策を説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポートおよび授業への貢献度により評価します。授業外学習に充てるべき時間: 週平均 2時間位 、【成績評価項目】授業内の課題および授業参加度60%、レポート40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	プレゼンテーションの手法を事前に学習してほしい。(2h) 事後学習(2h)		
キーワード/Keywords	超高齢社会・口腔機能・QOL・睡眠・呼吸機能・コラーゲン・長崎		
教科書・教材・参考書/Materials	特にないが、興味のある方は「長生きする入れ歯 - 科学的根拠に基づく知識と治療法 (ブルーバックス、早川巖)、およびコラーゲンの話 - 健康と美をまもる高分子 (中公新書、大崎茂芳) を参考にしてください。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	全授業の2/3以上の出席、およびレポートを提出しないと成立しません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	疑問点および聞きたいことがあれば、遠慮なく質問してください。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	村田 比呂司/長崎大学病院における歯科補綴診療業務を継続中/実務経験に基づき、口腔機能の回復、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療、加齢に伴う歯槽骨のコラーゲンの質の変化とその機序を知り、生涯健康な歯や骨を維持するための知識を講義する。/ 鮎瀬 卓郎/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。/ 山田 志津香/現役歯科医師が病院歯科における実務経験/歯内治療に必要な基本的知識、技術をスライドや動画を用いて解説する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	口腔機能関するテーマと調査方法等について説明、各グループで調査(村田)
2	各グループで調査(村田)
3	各グループで調査(村田)
4	各グループで調査(村田)
5	発表会、講義・解説(村田)
6	睡眠に関する基礎的な生理機能(鮎瀬)
7	睡眠時無呼吸症候群の病態の理解(鮎瀬)
8	睡眠中の口腔の生理的機能の変化(鮎瀬)
9	睡眠障害が関連する歯科的疾患の病態と最新の治療法(鮎瀬)
10	睡眠障害が関連する歯科的疾患の病態と最新の治療法(鮎瀬)
11	コラーゲンの基礎(講義)、課題発表と調査方法等についての説明(山田)
12	各グループで調査(山田)
13	各グループで調査(山田)
14	各グループで調査(山田)
15	発表会、コラーゲンの加齢による変化(講義)(山田)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587002501	科目番号 / Course code	05870025
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11721_005		
授業科目名 / Course title	b14食の科学 / Science for Food Intake		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川下 由美子 / Kawashita Yumiko, 久松 徳子 / Hisamatsu Noriko, 五月女 さき子 / Sotome Sakiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	川下 由美子 / Kawashita Yumiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	川下 由美子 / Kawashita Yumiko, 久松 徳子 / Hisamatsu Noriko, 五月女 さき子 / Sotome Sakiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yumiko-t nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する時は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	歯学部 口腔保健学		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日17-18時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちを含むすべての生物は、食べるという行為によって有機物を体内に取り込み、エネルギーを産み出し、身体を構成する組織に変換していくことで、生命が誕生したときから命を引き継いできました。つまり食べるということは生きていく事そのものなのです。その入り口である「口腔と歯」は生きる事の入力口ともいえます。食に関連した人体の構造、機能とその異常を示す疾患について、また栄養学的、予防医学的な観点から教養を深めることが出来ればと思います。		
授業到達目標/Course goals	食に関連した人体の構造、機能とその異常、疾患について予防医学的な観点から説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション課題(10点×3)+レポート課題(20点)+授業への取り組み(50点)=100点満点のうち60点以上を合格とする。 この基準を変更する場合には、第1回目で説明する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業の理解と発表のために、講義内容の学修と知識の習得を行うこと。(2h) また、ディスカッションには積極的に参加すること。講義内容およびプレゼンテーションにおける指摘事項等について復習をすること。(2h)		
キーワード/Keywords	口腔、咽頭、摂食嚥下、食事、栄養、健康、肥満、ダイエット、生活習慣病、予防医学		
教科書・教材・参考書/Materials	特にありませんが資料配布を行いません。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/index_j.html
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	齋藤俊行 (第1回、第2回) / 長崎大学病院における予防歯科学についての臨床経験に基づき、食と科学について解説する。 五月女さき子 (第3回～第6回) / 長崎大学病院における予防歯科学と全身疾患を持つ歯科診療についての臨床経験に基づき、食と科学について解説する。 久松徳子 (第7回～第10回) / 長崎大学病院における摂食・嚥下リハビリテーションの臨床経験に基づき、食と科学について解説する。 川下由美子 (第11回～第15回) / 長崎大学病院における予防歯科学と全身疾患を持つ歯科診療についての臨床経験に基づき、食と科学について解説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	齋藤 俊行：食と肥満
第2回	齋藤 俊行：口腔と生活習慣病
第3回	五月女 さき子：フッ化物
第4回	五月女 さき子：フッ化物
第5回	五月女 さき子：特定保健用食品
第6回	五月女 さき子：特定保健用食品
第7回	久松 徳子：嚥下って何？
第8回	久松 徳子：嚥下が悪くなると何が問題？
第9回	久松 徳子：嚥下機能はどうしたら保てる？悪くなったらどうしたらいい？
第10回	久松 徳子：嚥下食って何？
第11回	川下 由美子：砂糖とう蝕
第12回	川下 由美子：砂糖とう蝕
第13回	川下 由美子：学生によるプレゼンテーション
第14回	川下 由美子：学生によるプレゼンテーション
第15回	川下 由美子：まとめ
第16回	予備

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587003701	科目番号 / Course code	05870037
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11751_005		
授業科目名 / Course title	b14審美 / Esthetics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro, 江越 貴文 / Egoshi Takafumi, 右藤 友督, 平 曜輔 / Taira Yousuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro, 江越 貴文 / Egoshi Takafumi, 右藤 友督, 平 曜輔 / Taira Yousuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	odatsu_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	大学病院8階 医歯薬総合研究科口腔インプラント学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-7688		
担当教員オフィスアワー/Office hours	odatsu@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	美とは何か、美学について美の歴史、美の表現についての理解を深め、実際の美に関わる医療について習得する。		
授業到達目標/Course goals	グループワークにおいて、メンバー他者と協力しながら、物事を進展・達成することができる。 () また、プレゼンテーションなどにおいて、自分の考えを相手にわかりやすく伝えることができる。()		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーションやレポートの提出(80%)、授業への取組み(20%)で評価します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	プレゼンテーションの準備(2h)、レポートの作成を求めます。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	未定		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	プレゼンテーションやレポートの提出があるため、欠席しないようお願いします。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	平 曜輔 / 大学病院および兼業先歯科医院における実務経験 / 臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。 / 右藤 友督 / 長崎大学病院における診療実務経験 / 大学病院における冠橋補綴治療の経験を元に、冠橋義歯学に関する講義、実習を実施する。 / 江越 貴文 / 長崎大学病院における診療実務経験 / 大学病院における冠橋補綴治療の経験を元に、冠橋義歯学に関する講義、実習を実施する。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	審美材料 1 (尾立)
第2回	審美材料 2 (尾立)
第3回	審美材料 3 (尾立)
第4回	審美材料 4 (尾立)
第5回	審美修復 1 (平)
第6回	審美修復 2 (平)
第7回	審美修復 3 (平)
第8回	審美修復 4 (平)
第9回	審美修復 5 (右藤)
第10回	審美修復 6 (右藤)
第11回	審美修復 7 (右藤)
第12回	審美修復 8 (右藤)
第13回	美について 1 (江越)
第14回	美について 2 (江越)
第15回	美について 3 (江越)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587052701	科目番号 / Course code	05870527
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15401_005		
授業科目名 / Course title	b14ライフステージに合わせた口腔健康管理COC / Management of Oral Health at Different Life Stages		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田上 直美 / Tanoue Naomi, 藤原 卓 / Fujiwara Taku, 佛坂 斉社 / Hotokezaka Hitoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	田上 直美 / Tanoue Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	田上 直美 / Tanoue Naomi, 藤原 卓 / Fujiwara Taku, 佛坂 斉社 / Hotokezaka Hitoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	t-naomi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	長崎大学病院外来棟 8階		
担当教員TEL / Tel	095-819-7717		
担当教員オフィスアワー / Office hours	9:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	成長発育と加齢を含む生涯のライフステージにおける口腔の健康について知識を得る。口腔の形態発達、機能発達についての初歩的な知識を身につけ、口腔健康を促進維持するためには何が必要であるか、考察する。口腔の健康と心身の健康との因果関係まで理解を深める。		
授業到達目標 / Course goals	出生後から成長発育完了までの口腔形態発達および機能発達について理解できるようになる。各ライフステージにおける口腔健康管理方法について理解でき実践できる。口腔の健康と全身(心身)との関係について理解できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	発表、質疑応答、レポート		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習 レジュメは、事前に配布されます。それらに目を通して調べることが必要です。(2h) 事後学習 レジュメを再読して、理解を確実にするよう努めてください。(2h)		
キーワード / Keywords	口腔、体、生涯、小児、老人、健康		
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	お口の中は小宇宙です。それが年々様々に変化していく姿は単純な加齢変化ではありません。経年的な様々の変化を知ること私たちの健康を知ることにつながります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	藤原 卓/長崎大学病院小児歯科での歯科臨床経験/実務経験に基づき、小児歯科学について本授業科目に必要な基本的知識を講義する。/ 佛坂 齊社/現役歯科医師の大学病院における実務経験/矯正臨床に必要な基本的知識,技術をタイポドント実習によるシミュレーションや模型実習を指導する。/ 田上 直美/大学病院および関連病院における歯冠補綴を主体とした歯科治療および技工作業/実務経験に基づき、臨床および技工の経験を生かした実践的な情報や必要な基本的知識を講義する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1, 4/12 III, IV	乳幼児期、学童期、思春期およびそれ以降の口腔の健康について。各ライフステージにおける口腔の健康について、簡単な講義を行う。各人の口腔の美と健康に関連すると考えられるエピソードを中心に、講義内容との比較を行う。相違点、合致点など各人が総括し発表する。(藤原)
2, 4/19 III, IV	III, IV: 子供達の口腔の健康状態、甘味料とう蝕の関係 歯の外傷 等(藤原)
3, 4/26 III, IV	III: 子供達の口腔の健康状態、甘味料とう蝕の関係 歯の外傷 等(藤原) IV: 健康に生きるための歯科治療の意義と長崎における問題点について、講義を行う。(田上)
4, 5/10 III, IV	III: 前回の講義内容を踏まえたプレゼン作成(田上) IV: 前回の講義内容を踏まえたプレゼン作成(田上)
5, 5/17 III, IV	III: テーマについて各自発表を行う。(田上) IV: テーマについて各自発表を行う。(田上)
6, 5/24 III, IV	III: アイスブレイク(難解なクイズをグループでとく)したのち、口の中を観察する。(佛坂) IV: 歯と健康に関してグループで話し合い、テーマを抽出する。抽出したテーマに関してディベートを行う。(佛坂)
7, 5/31 III, IV	歯と健康に関してグループで話し合い、テーマを抽出する。抽出したテーマに関してディベートを行う。(佛坂)
8, 6/7 III	歯と健康に関しての認識を長崎県民の特徴を考えてグループディスカッションした後、ディベートを行う。(佛坂)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587028101	科目番号 / Course code	05870281
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12181_005		
授業科目名 / Course title	b15公害環境問題と社会COC / Environmental Issues and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部4階 環404 戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜16-17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	安全で安心できる環境を享受するため、公害・環境問題の歴史と現状、またそれらを考察する理論を学ぶ。全学モジュール科目「安全で安心できる社会」の選択科目		
授業到達目標/Course goals	代表的な公害・環境問題の概要を説明し、企業、行政、専門家、被害者と一般市民の役割、対立点、キーワードなどを説明できるようになることを目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験70%、毎回のミニレポート30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教科書を通読すること。LACSを毎日確認すること。		
キーワード/Keywords	水俣病、カネミ油症、原発、リスク社会、受益圏と受苦圏、住民運動と市民運動		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は、戸田清『核発電の便利神話』長崎文献社2017年、参考書は適宜紹介する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受講外でも環境問題に関心を持ち、新聞を読むこと(4時間程度)。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL)/Remarks (URL)	http://todakiyosi.web.fc2.com/		
学生へのメッセージ/Message for students	教科書を通読すること。環境科学部の環境社会学?と一部重複するが、両方受講しても得るところは多い。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	下田 順子/小学校教諭 カネミ油症の語り部活動/油症患者の代表としての被害者救済活動に関する実務経験を活かし、被害多発県としての実情を当事者の肉声で聞くことで、学生に医療従事者等の観点を考える機会を与える。/ 下田 順子/小学校教諭 カネミ油症の語り部活動/油症患者の代表としての被害者救済活動に関する実務経験を活かし、被害多発県としての実情を当事者の肉声で聞くことで、学生に医療従事者等の観点を考える機会を与える。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 9月27日	イントロダクション 水俣病 なぜ解決が長引くのか
2 9月27日	水俣病その2
3 10月4日	じん肺・アスベスト 長崎で労災多発
4 10月4日	農業問題 とくにネオニコチノイド系
5 10月18日	福島原発事故とトモダチ作戦被曝訴訟
6 10月18日	福島原発事故と甲状腺がん
7 10月25日	10万年の安全管理を要する高レベル放射性廃棄物
8 10月25日	リニア中央新幹線のメリットとデメリット
9 11月1日	カネミ油症 長引く解決 福岡・長崎で多発
10 11月1日	カネミ油症その2 下田順子さん講演 五島出身、諫早在住の認定患者です 日程は暫定
11 11月8日	遺伝子組み換え作物
12 11月8日	石木ダム計画をめぐる紛争 長崎県
13 11月15日	劣化ウラン弾 戦争と環境破壊
14 11月15日	ベトナム枯葉作戦と沖縄の枯葉剤
15 11月22日	自然における人類の位置 ヒト、チンパンジー、ボノボ
16 11月22日	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587029301	科目番号 / Course code	05870293
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12141_005		
授業科目名 / Course title	b15水環境の安全と安心 / Introduction to the Engineering for Safe Water Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田邊 秀二 / Tanabe Shuji, 多田 彰秀 / Akihide Tada, 板山 朋聡 / Itayama Tomoaki, 藤岡 貴 浩 / Fujioka Takahiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	田邊 秀二 / Tanabe Shuji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	田邊 秀二 / Tanabe Shuji, 多田 彰秀 / Akihide Tada, 板山 朋聡 / Itayama Tomoaki, 藤岡 貴 浩 / Fujioka Takahiro		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-tanabe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) atada nagasaki-u.ac.jp (" itayama nagasaki-u.ac.jp (" tfujioka nagasaki-u.ac.jp ("		
担当教員研究室/Office	工学研究科 (総合教育研究棟 7 F 7 0 9)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2659		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日18:00~19:00 (事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本は地球の温帯地域にあり、四季を通じて降雨があるため水には恵まれてきた。しかし、途上国 においては、安全な飲料水の確保は喫緊の問題であり、日本に限らず、先進国の水処理技術の導入 が急がれている。この講義では、工学研究科の水環境技術者育成に関わる教員により、水環境に関 する技術の現状、問題点を整理し、日本の持つ先進的なモニタリング技術、アセスメント、膜や生 物処理を使った最先端水処理技術などを理解することで、普段気づかない水環境の安全・安心につ いて考える。		
授業到達目標/Course goals	水環境に関する問題について解説できるようになる。水環境のモニタリング技術、廃棄物問題、水 処理技術についてその種類、原理、方法などを説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義毎にレポート課す。成績の評価は、講義への積極的参加(40%)、レポート課題の評価(60%) の総合点で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習については、講義前に2時間の学習をすること。内容は、各講義担当者が配付する資料や、 知らせる参考文献などを事前に読み、調査しておくこと。講義中に、次回講義までの宿題や調査を 依頼する場合がある。事後学習は、各教員の提示する内容(宿題や調査)についてレポートを作成 すること。事後学習は2時間以上を基本とする。 レポート提出は次の講義の前日夕方までが基本である。		
キーワード/Keywords	水、膜、廃棄物、水環境、分離、生物処理、シミュレーション、		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。必要があればプリントを配付し、参考書を紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	水環境に関する技術的内容を含みますので、理数系の科目を受講している方が、理解が早いと思います。説明は、文系の方にもわかるように配慮します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	夢田 彰秀/西松建設(株)での勤務経験/水工学分野の実務研究経験を活かして、水工水理学分野の諸問題と特徴的な技術を紹介するとともに、課題解決に必要なとなる修学事項を説明する。/ 板山 朋聡/三菱重工業(株)および/国立研究開発法人国立環境研究所での研究開発業務経験/環境工学分野の研究開発業務経験を活かして、水処理・排水処理に関する工学的な現象および実問題を取り上げ、理解に必要な理論と手法を説明する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：有明海や水俣湾における水環境の現状
第2回	水環境モニタリング技術について
第3回	水道と水源池
第4回	水源を守る
第5回	日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(1)
第6回	日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(2)
第7回	化学薬品、重金属などの危険物質の現状と対策について
第8回	世界の水環境問題と膜分離技術の貢献について
第9回	<水を造る>膜分離技術概論?現状と展望?
第10回	<水を再生する>膜分離技術概論?現状と展望?
第11回	水環境生態系の保全と修復
第12回	環境シミュレーションの方法と数値計算の原理
第13回	コンピュータによる数値計算の手続き
第14回	環境問題へのシミュレーションの応用例
第15回	水環境の安全・安心に関する総括と評価試験
第16回	評価結果に対する指導

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587063701	科目番号 / Course code	05870637
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15681_005		
授業科目名 / Course title	b15近年の災害リスクと技術 / Risk Reduction Methods and Techniques		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	安武 敦子 / Yasutake Atsuko, 源城 かほり / Genjyo Kahori, 吉武 裕 / Yoshitake Yutaka, 中 原 浩之 / Nakahara Hiroyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	安武 敦子 / Yasutake Atsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	安武 敦子 / Yasutake Atsuko, 源城 かほり / Genjyo Kahori, 吉武 裕 / Yoshitake Yutaka, 中 原 浩之 / Nakahara Hiroyuki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yasutake nagasaki-u.ac.jp (を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館5階 教官・ゼミ室503		
担当教員TEL/Tel	095-819-2600		
担当教員オフィスアワー/Office hours	基本的には講義終了後講義室, またはe-mailで受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人間の歴史は災害と向き合いながら紡がれている。災害に抗して培われた技術(ハード・ソフト) を理解し, 当事者となったときに的確に振る舞えることが求められる。 講義では, 将来いろいろな分野に進む学生を対象に, 災害と技術の実情を講義とビデオにより紹介 する。		
授業到達目標/Course goals	自らの意見を正確に表現できるようになる。 異なる意見を聞くことができるようになる。 情勢を踏まえた判断ができるようになる。 近年の災害状況が説明できるようになる。 この講義によって, 災害と技術の関係性の基礎的考察ができることを到達目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	提示されたテーマに対するレポートによって100%評価する。定期試験は実施しない。未提出の課 題やレポートがある場合は, 不合格とする。 課題レポートでは, 自分自身の多面的な考察, 意見, 感想を主に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	事前に新聞やwebなどで近年の災害について読んでおく(2h)。 復習レポートやテーマ別レポートを課す(2h)。		
キーワード/Keywords	自然災害, 安全工学, 人災, 技術, 耐震		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。必要に応じて, 参考文献を講義中に紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席を原則とする。なお, 高等学校までの物理学の受講の有無は問わない。 受講学生数は, 最大50名とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	学外(市内)での災害遺構などを見る回が2回ある予定である。交通費が必要。テーマの順序が入れ替わることがある。講義後のレポート作成に重点をおくことを求める。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	講義の概論, 講義の目的, 近年の災害リスク1
第3-4回	近年の災害リスク2
第5-6回	近年の災害リスク3
第7-8回	高層集合住宅の火災と暑さ、寒さに起因する事故
第9-10回	事故例とその原因及び安全確保の方策
第11-12回	2016熊本地震から学ぶ地震災害対策と今後の課題
第13-14回	災害救助法と災害後の行動
第15回	ユニバーサルデザインの進展

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/03		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587026902	科目番号 / Course code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Course title	b16医療現場の安全と安心 / Safety and Relief in the Health Care		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 栗原 慎太郎 / Kurihara Shintarou, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 栗原 慎太郎 / Kurihara Shintarou, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuji-i nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部保健学科4F		
担当教員TEL/Tel	095-819-7941		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 18:00~19:00 (まずはメールで問い合わせをしてもらう方が確実です)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医療、介護、福祉に関わるトピックスと現場における課題を取り上げ、人間の安心・安全とは何かを学修するとともに、自らの社会生活での危機管理に応用する。教員を含めて学生同士が互いに学び合い、相互理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1) 社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識を得ることができる。 2) 大学生として自主的な学習能力を習得し、知的活動への動機づけを高めることができる。 3) 科学的な思考能力や立案能力を取得することができる。 4) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力や情報収集、ディスカッション、プレゼンテーションを行うことができる。 5) 地球環境と社会の多様性を理解し、主体性をもって他者と協働できる。 6) 分野・領域を越えて、医療や介護現場における安心安全の内容とその背景を知識として習得し、諸問題への対応力や技能、さらには高い倫理観を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各講義後に提出する小テストあるいはレポート(80%) 講義への参加・貢献(20%) 授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格となります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習、復習、自主学習の方法については、科目を通して共通の取り決めはありません。各担当教員の指示に従ってください。(事前学習2h、事後学習2h)		
キーワード/Keywords	医療、高齢者、介護予防、感染症、リスクマネジメント、医療過誤、遺伝		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はなし。 各單元ごとに講義用資料を提供する。 随時、講義のテーマに関するURLや参考文献を提供する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全学モジュール1「安全で安心できる社会」を受講した学生		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	1．講義・演習の資料、教材、動画等を自己学習以外の目的で使用することは、必ず、担当教員の許可を得ること。資料、教材、動画等には講義演習で使用した資料、物品等を個人用カメラで撮影した物も含む。 2．SNSに講義や演習に関連した以下の内容を投稿した場合は、投稿に関連した学生全員について、単位取得資格なしとするなどの対応をとることがある。 「人の尊厳を傷つける内容、個人情報と捉えられる内容、プライバシーの侵害にあたる内容、職業意識を脅かす内容、社会的信用の損失につながる内容など」
学生へのメッセージ/Message for students	各種メディアを利用して関連する事柄を調べることが、理解を深めるために有用です。特に理由がない限り、講義には出席してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	石松 祐二/医師として病院における実務経験が有り。/実務経験に基づき、感染や医療情報の管理などにおける現代の医療の問題点を考える。 佐々木 規子/認定遺伝カウンセラー、助産師/遺伝医療における専門職の役割と連携、遺伝カウンセリングについて学ぶ。 栗原慎太郎/感染対策および医療安全に関する業務を専従で実施してきている。/医療安全の基本的考え方や実践について学び、安心な医療・福祉が実践されるための仕組みなどを理解する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
4	石松祐二（医学部保健学科教授）：感染症、リスクマネジメント 本邦では経済状況と公衆衛生の向上により、多くの古典的伝染病は減少してきた。また、医療技術の目覚ましい進歩により、従来不可能だった手術や薬物治療が可能となった。一方で、高齢者の増加に伴って免疫力の低下した患者が増加し、従来病原細菌と認識されなかった細菌が臨床の場で大きな問題となっている。発達した交通網によって全世界的に感染症が蔓延する危険も併存する。更に、医療訴訟や個人情報管理などの問題も指摘されている。こうした医療現場を取り巻く諸問題を通して、医療現場の安心について理解を深める。
4	井口 茂（医学部保健学科教授）：高齢者、介護予防 わが国の高齢化は世界に類をみないスピードで進行している。加齢に伴う心身の低下は、生理的変化に基づくものであるが、それに加え様々な疾病の罹患、傷害の受傷により、その低下は著しいものとなる。とりわけ高齢者において介護状態となる原因は、加齢によるフレイル（虚弱）や骨折、変形性関節症等の運動器疾患が主である。本講義では、加齢変化のフレイルと転倒をとりあげ、その特徴と予防方法について教授し、高齢者における介護予防の方法について討議していく。
4	栗原 慎太郎（大学病院教授）：医療の不確実性（合併症と医療過誤） 医療技術は急速に発展しているものの、多様性が増すばかりで元来医療に伴う不確実性は減じているわけではない。むしろ医療の専門性の分化や高度化は医療の結果の不確実性を増す因子である。しかし、実際の診療現場では患者と医療者の間の理解に乖離があり、乖離を埋める努力はまだまだ十分ではない。本講では、医療現場における不確実性とマネジメントへの取り組みから医療の現実を俯瞰し、それを取り巻く医療者・患者・社会間の諸相を考察する。
4	佐々木規子（医学部保健学科准教授）：遺伝 遺伝医療は、近年急速に進歩しており、診断、治療、健康管理などにおいて幅広く応用されている。しかし一方で、未だ存在する遺伝に対する偏見や差別、遺伝情報の特殊性により遺伝の問題はより複雑化している。遺伝医療の現状を知るとともに、誰にでも起こり得る遺伝の問題について考える。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587027301	科目番号 / Course code	05870273
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12161_005		
授業科目名 / Course title	b16社会科学からみた安全・安心COC / Safety and Security Viewed from the Social Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村山 洋介 / Yosuke Murayama		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	村山 洋介 / Yosuke Murayama		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	村山 洋介 / Yosuke Murayama		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	murayama_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階		
担当教員TEL/Tel	632		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜10時~11時とするが、質問等は適宜受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会科学からみた安全・安心という観点から、法が果たす役割や機能について理解する。		
授業到達目標/Course goals	生活と法の関わりについて理解する、法的なもの考え方(法的思考方法)について理解する、これらを通じて、法が市民生活の安全・安心についてどのような機能と役割を果たしているかを理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への貢献、課題レポート等から総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前に授業レジュメを配布するので、予習・復習に活用すること。(事前学習2h、事後学習2h)		
キーワード/Keywords	社会規範、法、私法、公法、法的三段論法		
教科書・教材・参考書/Materials	指定しない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-mail) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	法とは何か - 法の役割と機能
2	法の分類 - 私法と公法、実体法と手続法
3	法の適用 - 法的三段論法
4	暮らしと法 - 契約から生じる法的責任
5	暮らしと法 - 不法行為と損害賠償
6	家族と法 - 夫婦、親子関係
7	家族と法 - 離婚、相続
8	消費者と法 - 消費者の保護
9	刑罰と法 - 犯罪と刑罰
10	刑罰と法 - 少年犯罪
11	交通事故と法 - 交通事故から生じる法的責任
12	経済と法 - 経済活動に関する法規制
13	基本的人権と法
14	選挙と法 - 我が国における選挙制度
15	授業内容の確認と総括

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587027701	科目番号 / Course code	05870277
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12171_005		
授業科目名 / Course title	b16工学から見た安全安心(エネルギーと資源) / Energy and Natural Resources from the Viewpoint of the Engineering		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	桃木 悟 / Momoki Satoru, 山口 朝彦 / Yamaguchi Tomohiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	桃木 悟 / Momoki Satoru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	桃木 悟 / Momoki Satoru, 山口 朝彦 / Yamaguchi Tomohiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部、歯学部、情報データ科学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	momoki nagasaki-u.ac.jp, "tomo nagasaki-u.ac.jp" (メールを送信する際は を@に変更して送 信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部 1号館 3階 基礎エネルギー工学G研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2528(桃木)/2531(山口)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜: 5校時 (事前にe-mailで、予約するのが望ましい。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本のエネルギーのあり方を考えるために、日本のエネルギー事情、資源(食料、化石燃料、レアメ タル、鉄など)の今後、国民生活とエネルギー需給、IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかたを、 安全の問題を踏まえてテーマとする。		
授業到達目標/Course goals	日本と世界のエネルギーと資源の基本問題が説明できること。自分なりの問題解決の第1歩を提 案できること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の講義出席を原則とし、定期試験(30%), 3回のレポート(70%)で総合評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>1,2回目：事前学習内容：現在のエネルギー問題について知っている事，知りたい事を整理する(4h)。</p> <p>1,2回目：事後学習内容 & 3,4回目：事前学習内容：授業で聞いた意見を考慮して改めて問題と見た事，授業の前までに感じていた事との違いについて整理する(8h)</p> <p>3,4回目：事後："物理"の観点でのエネルギーについて復習，エネルギーの定義を中心に(演習レポートの作成) (4h)</p> <p>5,6回目：事前：身近なエネルギーの"大きさ"や量について調べて整理する(4h)</p> <p>5,6回目：事後：エネルギーの量を意識した上で，エネルギー問題について思う事をまとめてレポートとする(5h)</p> <p>7,8回目：事前：国内，国外のエネルギー消費の現状について調べて整理(h)</p> <p>7,8回目：国内，国外のエネルギー消費の現状についてレポートを作成(4h)</p> <p>9～15回： 予習：LACSに掲載するIPCCに関する事前学習資料(2h) 復習：授業の復習(1h)、LACSに掲載する授業の理解を深めるための事後学習資料(1h)</p>	
キーワード/Keywords	環境問題，化石燃料，原子力，エネルギーの質，地球温暖化，食料増産	
教科書・教材・参考書/Materials	担当教員が，適時資料を配布するか，または，受講者各自にdownloadしてもらおうURLを知らせる。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>	
備考(URL)/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	<p>日本は，天然資源のほとんどを外国に依存しているにも関わらず，エネルギーの問題は，1973年および1979年のオイルショックの後にはあまり関心を集めてこなかった。しかし，地球温暖化の問題や東日本大震災後を経て，国民の全体の課題として広く関心を集めている。受講者は，常に新聞やテレビなどのメディアが発信するエネルギー関連の情報に常に注意を払い，疑問があったらすぐに自分で調べる態度を続けて欲しい。</p>	
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	概説, 準備, アンケート	A
第2回	エネルギーとは: そもそもエネルギーとは何なのか, どのくらい重要なのかについて, それを " 定量的 " に議論する最低限の素養を身につけるための講義を行う。	F
第3回	エネルギーの定量的な取り扱いに関する講義の続き。	F
第4回	エネルギーに関する歴史: 需要と供給について定量的に考え方を交えながら, エネルギー利用技術と社会の状況に関する歴史について講義する。	F
第5回	発電について 1: 発電の方法および効率に関する簡単な講義と, 国内技術の現状について説明する。電気の供給とそのために消費される一次エネルギーや, それに起因した地球環境問題について議論する。	F
第6回	発電について 2: 電気の供給とそのために消費される一次エネルギーや, それに起因した地球環境問題について議論する。	A
第7回	国内および世界のエネルギー事情(1): 資源エネルギー庁による最新版のエネルギー白書を参考にここ数年の日本国内のエネルギー事情に関し講義する。 また、長崎大学での海洋エネルギー利用技術研究の現状を紹介する。	F
第8回	国内および世界のエネルギー事情(2): 日本機械学会動力エネルギー技術部門や日本伝熱学会等、国内外のエネルギーに関連した分野の研究者や技術者の関連動向を踏まえて、最新の状況について講義する。	F

第9回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group I : 気候変動の概況と予測、およびその科学的根拠を講義する。	F
第10回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group II : 気候変動の影響を講義する。	F
第11回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group III : 気候変動の緩和策を議論する。	A B
第12回	IPCC第5次評価報告の概要 統合報告書: Working Group I-IIIの報告の 総括	A B
第13回	COP3における京都議定書の採択と、それ以降のCOPについて説明する	F
第14回	IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかた : IPCC評価報告書の社会への影響とさまざまな意見を議論する。	A B
第15回	持続的社会に向けての取り組み : 省エネルギー対策、再生可能エネルギーの開発、原子力の現状などを議 論する。	A B

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587012901	科目番号 / Course code	05870129
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14171_005		
授業科目名 / Course title	b17電気の物理とその応用 / Electrical Physics and Applications		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳井 武志 / Yanai Takeshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳井 武志 / Yanai Takeshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳井 武志 / Yanai Takeshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-yanai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に变更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部の2号館3F 308		
担当教員TEL/Tel	095-819-2554		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時対応します。事前にメールで連絡して下さい。12:00~12:50の時間帯はできる限り居室に いるようにしています。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、電気に関する様々な現象を理解することを目的とする。また、これらの現象の応用 について知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	1. 電気に関連する技術に関心を持つことができる。 2. 電気回路に関する簡単な問題を解くことができる。 3. 電気に関する簡単な装置を扱うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義中に行う課題 (50点) と定期試験 (50点) の合計により、授業到達目標を評価する。合計 60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義に関する資料を配布もしくは掲示するのでそれを読んで授業の準備をしておくこと(2h)。 毎回の復習課題として、演習問題もしくは演習問題に相当する課題を解く(2h)。		
キーワード/Keywords	キルヒホッフの法則, 抵抗, コンデンサ, コイル		
教科書・教材・参考書/Materials	今のところ使用する予定はないが、使用することにした際には別途連絡する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	電気に関する歴史，現在の身の回りの技術，簡単な計算，実験や演習による現象理解などを講義で扱う予定です。電気を身近に感じて下さい。聴講学生の興味・関心に合わせて若干講義内容を変更する可能性があります。また，実験に関しては，受講者数によっては実施できない場合もあり，その場合は，講義などの代替措置を取る予定です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	電気の歴史I
第2回	電気の歴史II
第3回	キルヒホッフの法則1
第4回	キルヒホッフの法則2
第5回	コンデンサの基本特性
第6回	コンデンサを含む直流回路
第7回	コイルの基本特性
第8回	コイルを含む直流回路
第9回	抵抗，コンデンサ，コイルに関する実験I
第10回	抵抗，コンデンサ，コイルに関する実験II
第11回	電気に関する実験I
第12回	電気に関する実験II
第13回	現在の電気電子技術I
第14回	現在の電気電子技術II
第15回	これからの電気電子技術

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587013701	科目番号 / Course code	05870137
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14191_005		
授業科目名 / Course title	b17身の回りの物質COC / Materials Around Us		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	兵頭 健生 / Hyodo Takeo		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hyodo_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟7F西側		
担当教員TEL/Tel	095-819-2644		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜6校時 (メールなどでアポイントをとること。ただし、E-mailによる質問などは、随時受け付ける。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	主に、セラミックスを中心とした材料の基礎および応用を体系的・能動的に理解することで、今後、学んでいく専門分野の知識と融合させ、学際的視点を育む講義である。その中で、長崎の地元企業 (陶磁器 (オールドセラミックス) 関連など) や大企業 (エネルギー産業, 重工業・電気電子産業), 医療関連企業などが生産あるいは利用している機械・装置などについて、具体的に触れる。もちろん、我々が日常社会で利用している機器類 (スマートフォン, パソコン, 電池など) やインフラ設備, ヘルスケア材料・疾病診断機器についても具体的に勉強する。		
授業到達目標/Course goals	私たちの身の回りに存在するセラミックスの機能や物性を理解できるようになる。 また、それらが身近にどのように応用されているかを、主体的に認識できるようになる。 長崎で生産・利用されているセラミックスを中心とした材料および関連の機械・装置を、主体的に説明できるようになる。 【対応する全学モジュールの目標】 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 10, 12		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・点数配分: 最終試験: 70点, 積極性 (特に, 調査研究およびディスカッション): 30点。 ・評価基準: 合計60点以上で合格。(ただし, 最終試験で60%以上を必要とする。)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】LACSで配布する資料をダウンロードし、その内容を確認するとともに、文献や資料に基づいて調査する。(2時間) 【復習】講義・資料の内容について十分に内容を理解する。さらに、それらの内容に基づいて発展的な調査を行う。自分の専門分野との関係についても認識する。(2時間)		
キーワード/Keywords	化学, セラミックス, 機能, 物性, 構造, 電気, 磁性, 誘電性, 光, 構造, 電池, 触媒, センサ, 長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	適時, 資料をLACSを通じて配布する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	高校レベルの物理・化学を理解していることが望ましい。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	セラミックスは、スマートフォンやパソコンなど多くの電気・電子機器の重要な箇所に内蔵されていて、それらがなければ現代社会は成り立ちません。このような、眼には見えないけれども身の回りで重要な役割を担っているセラミックスについて、勉強していく講義です。自分自身で能動的に勉学に励むことを勧めます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	・身の回りで利用されているセラミックス：概論 ・長崎県（および佐賀県を含む肥前地区）で培われてきたオールドセラミックス：陶磁器
第2回	・半導体セラミックスに電気が流れる仕組み
第3回	・セラミックスの絶縁性・導電性 ・セラミックスの特殊な導電挙動 ・上述した機能を利用した応用
第4回	・超伝導の原理 ・超伝導を応用した製品
第5回	・機能性を持った絶縁体「誘電体」の原理 ・強誘電体・焦電体・圧電体への応用
第6回	・半導体の電気特性を利用した発光素子?T：発光ダイオード（LED）の原理 ・LEDの応用
第7回	・半導体の電気特性を利用した発光素子?U：半導体レーザーの原理 ・半導体レーザーの応用
第8回	・半導体を利用したガス検出デバイス：ガスセンサ ・セラミックスを利用したその他のガスセンサ・湿度センサ
第9回	・セラミックスを利用した発電デバイス：熱電素子、1次・2次電池、燃料電池 ・それらを利用した応用製品
第10回	・化粧品、医療用・歯科用セラミックス、
第11回	・セラミックスの触媒・光触媒・抗菌作用、吸着作用
第12回	・台所で使えるセラミックス ・セラミックヒーター
第13回	・人工宝石 ・セメント・石膏など構造用セラミックス ・医療・歯科用セメント
第14回	・セラミックス繊維、カーボンファイバー ・光ファイバーなど光学材料 ・磁性材料 ・それらの応用製品
第15回	・めっき ・バイオセンサ ・その他

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587066501	科目番号 / Course code	05870665
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16391_005		
授業科目名 / Course title	b17数理科学とその応用 / Mathematical Sciences and its Applications		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原澤 隆一 / Harasawa Ryuichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原澤 隆一 / Harasawa Ryuichi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	原澤 隆一 / Harasawa Ryuichi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	harasawa cis.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教員・ゼミ室407(工学部1号館4階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2702		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	手と頭を使って数論の問題を考えることによって、論理的思考力を強化する。		
授業到達目標/Course goals	数論の基本概念の理解を通して、社会との関係を理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義への積極性・貢献度(プレゼンテーション, 質疑応答, グループディスカッション: 70%)とレポ ート課題の評価(30%)の合計で評価する。60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	プリントを配布します。予習の内容をもとに授業(輪講および演習問題)を進めます。事前または 事後のレポートを課すことがあります。 (予習) 授業内容の理解と発表の為に、事前に講義内容の十分な学修と知識の習得を行う(2h)。 (復習) 授業内容(プレゼン)や関連した演習問題を通じて復習する(2h)。		
キーワード/Keywords	素数, 合同式, 最大公約数, フェルマーの小定理, 暗号		
教科書・教材・参考書/Materials	J. H. シルヴァーマン著(鈴木治郎訳)「はじめての数論」(原著第3版), 丸善出版		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1,2回	オリエンテーション(講義の概要, 進め方, 班分け, プレゼン準備等)
3,4回	三平方の定理とピタゴラス数/ピタゴラス数と円周上の点
5,6回	整除と最大公約数 / 1次方程式と最大公約数
7,8回	素因数分解と算術の基本定理 / 合同式
9,10回	べき乗, フェルマーの小定理 / オイラーの公式 / オイラー関数と中国の剰余定理
11,12回	素数 / 素数を数える
13,14回	メルセンヌ素数 / 完全数
15回,16回	法 m のべき乗 / 法 m の k 乗根 / 解読不能な暗号

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587014101	科目番号 / Course code	05870141
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14201_005		
授業科目名 / Course title	b18生体分子の構造と機能 / Structure and Function of Biological Molecules		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	海野 英昭 / Unno Hideaki, 田中 修司 / Tanaka Shuji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	海野 英昭 / Unno Hideaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	海野 英昭 / Unno Hideaki, 田中 修司 / Tanaka Shuji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	unno nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館生体分子化学実験室2-1		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (できるだけ前もってメールで問い合わせること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生命を理解するためには生物を構成する様々な生体分子の構造とそれらの間の相互作用を理解する必要がある。この講義では、生命活動の基本となる生体分子の構造と機能を理解するとともに、それらの相互作用がどのように生命活動に重要な役割を果たしているかについて学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	生体の主要成分 (タンパク質, 核酸, 糖, 脂質) の特性および機能を理解し, 説明ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーションの内容、および授業における積極的取り組み状況等を考慮して成績評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	テキストの該当部分を事前・事後に読むこと。プレゼンテーション資料の作成。4h		
キーワード/Keywords	タンパク質, 遺伝子, バイオテクノロジー		
教科書・教材・参考書/Materials	「はじめて学ぶ 生命科学の基礎」 畠山智充・小田達也 (編著) 化学同人		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	海野英昭 (第1回 ~ 第8回) / 臨床検査会社における臨床検査の実務経験 / 生命科学の講義において、その基礎から臨床検査等への応用技術の発展まで解説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	生命科学の基礎
第2回	生体を構成している物質 (アミノ酸とタンパク質)
第3回	生体を構成している物質 (糖質・脂質)
第4回	生体を構成している物質 (核酸)
第5回	タンパク質の構造と機能 (タンパク質の構造)
第6回	タンパク質の構造と機能 (タンパク質の機能)
第7回	細胞内のエネルギー代謝
第8回	遺伝情報の流れ (DNAの複製)
第9回	遺伝情報の流れ (転写と翻訳)
第10回	細胞の増殖 (細胞周期)
第11回	細胞の増殖 (発生・分化)
第12回	細胞の様々な機能 (細胞情報伝達)
第13回	細胞の様々な機能 (生体防御と免疫)
第14回	生物の進化と多様性
第15回	全授業の総括

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587047701	科目番号 / Course code	05870477
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14181_005		
授業科目名 / Course title	b18身近な世界の物理科学COC / Familiar Physical Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 小山 敦弘 / Koyama Atsuhiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 小山 敦弘 / Koyama Atsuhiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hidechto nagasaki-u.ac.jp, a-koyama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3F機械工学, 工学部1号館4F機械工学		
担当教員TEL/Tel	095-819-2516, 095-819-2496		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎県で問題となっている橋梁構造物の強度や寿命を評価するための基礎知識として、力と運動に関係のある身近な現象に焦点を当て、実験と討論により物理学の基本概念を言葉で説明して、理解と利用への取り組みができるようにする。		
授業到達目標/Course goals	物理学の基本概念から身近な自然現象が説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	試験もしくはレポート60%、宿題・演習40%により評価し、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回に配布したプリントをつうじて、次回の内容との関連を深めるために、しっかりと必ず復習をすること(事前2h、事後2h)		
キーワード/Keywords	力、釣合い、速度、加速度、運動量、破壊、強度、構造物、長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	授業計画に沿って資料を配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	履修上の注意: 原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は、個別指導を行う。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	授業1時間に対して、自宅等での学修(予習・復習)2時間を必ず行うこと。 授業では、簡単な実習を行うので、動きやすい服装をすること。 実習に際して、事前に持参するものが指示されるので、必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	全体の概要説明
2	強度の概念の理解
3	物理としての揚力の理解
4	強度の概念の理解 2
5	物理としての揚力の理解 2
6	強度を保つ構造物の製作
7	揚力の発生と安定性
8	強度を保つ構造物の製作 2
9	揚力の発生と安定性 2
10	強度を保つ構造物の製作 3
11	演習:揚力と安定性
12	強い構造と構造物
13	演習:揚力と安定性
14	強い構造と構造物 2
15	全体まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587063501	科目番号 / Course code	05870635
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15671_005		
授業科目名 / Course title	b18構造物の世界 / The World of Structures		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉武 裕 / Yoshitake Yutaka, 永井 弘人 / Nagai Hiroto, 佐々木 謙二 / Sasaki Kenji, 中原 浩之 / Nakahara Hiroyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉武 裕 / Yoshitake Yutaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉武 裕 / Yoshitake Yutaka, 永井 弘人 / Nagai Hiroto, 佐々木 謙二 / Sasaki Kenji, 中原 浩之 / Nakahara Hiroyuki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yoshitak nagasaki-u.ac.jp ksasaki nagasaki-u.ac.jp nakaharahiroyuki nagasaki-u.ac.jp nagai.hiroto nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部 1号館6階 601(吉武)、601(中原)、503(佐々木)、605(永井)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2589(吉武)、095-819-2895(中原)、095-819-2592(佐々木)、095-819-2589(永井)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	基本的には講義終了後講義室、またはmailで受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	身の回りには様々な構造物や製品がある。建物、橋、機械、航空機、船など、すべて構造物と捉え ることができる。それらがどのようにして成り立っているかを学ぶ。また、日頃何気なく使用して いるものの原理や自然現象の科学を理解する。		
授業到達目標/Course goals	構造物として成立するための原理が説明できるようになる。 この講義によって、構造物や身の回りの物、自然現象などに共通の原理について考察ができること を到達目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 講義を受けて、関連の事柄を調査する。 F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	提示されたテーマに対するレポートによって100%評価する。定期試験は実施しない。未提出のレ ポートがある場合は、不合格とする。 レポートでは調査内容、多面的な考察、意見、感想を基に、構造物として成立するための原理と身 の回りの物、自然現象などに共通の原理についての理解度を評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: シラバスを参考にして、各回の講義に関連した内容について調べて下さい。(2h) 復習: 講義内容をもとに与えられた課題について調査し、知識をより確実なものにして下さい。 (2h)		
キーワード/Keywords	構造物、建物、橋、機械、航空機、デザイン、強度、振動、カオス		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。必要に応じて、資料を配布するとともに、参考文献等を講義中に紹介する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全回出席を原則とする。なお、高等学校までの物理学の受講の有無は問わない。 受講学生数は、最大50名程度とする。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	担当教員はいずれも工学部構造工学コースの教員であり、構造工学コースのホームページを参照すると授業の理解が進むと思われる。
学生へのメッセージ/Message for students	テーマの順序が入れ替わることがある。 授業への積極的な参加を求める。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	講義の目的と概要 構造物の概要、共振、免震・耐震・制振
第2回	自励振動
第3回	同期現象
第4回	カオス、振動利用
第5回	材料の強さとは？（応力とひずみの概念）
第6回	いろいろな構造形式（引張りの構造）
第7回	いろいろな構造形式（圧縮と曲げの構造）
第8回	構造物の設計の考え方 - 安全な構造物を目指して -
第9回	建築物の歴史（東洋編）
第10回	建築物の歴史（西洋編）
第11回	建築物の構造の特徴（東洋編）
第12回	建築物の構造の特徴（西洋編）
第13回	航空機の空力デザイン
第14回	航空機の構造デザイン
第15回	航空機の形態

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587036903	科目番号 / Course code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Course title	b19教育相談COC / Educational Counseling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小川 さやか, 富永 ちはる, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John, 矢内 希梨子 / Kiriko Yanai		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小川 さやか		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小川 さやか, 富永 ちはる, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John, 矢内 希梨子 / Kiriko Yanai		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogawa-sa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2210		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業到達目標/Course goals	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 毎回の授業開始時と授業終了時におけるレポート作成 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1) 授業出席・授業態度 30% 2) レポート・提出物 70%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 予めLacsに掲載されている講義資料に目を通した上で講義にのぞむこと。(2h) 復習: 講義資料やノートをもとに復習し、授業内容について理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング、長崎県の相談窓口		
教科書・教材・参考書/Materials	<教科書> ・授業内で配布するプリントを利用する。 <参考書> ・よくわかる教育相談 ?やわらかアカデミズム・わかるシリーズ?: 春日井 敏之 (編集), 伊藤 美奈子 (編集)、ミネルヴァ書房、2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談: 佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著)、福村出版、2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識: 大芦 治 (著)、ナカニシヤ出版、2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法: 「月刊学校教育相談」編集部 (編集)、ほんの森出版、2004 ・教育相談?教師教育テキストシリーズ?: 広木 克行 (編集)、学文社、2008 ・教育相談の理論と実際?よりよい教育実践をめざして: 河村 茂雄、図書文化社、2012 ・教育相談入門 ?こころの科学叢書?: 高野久美子、日本評論社、2012		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948	
備考（URL）/Remarks（URL）	地域課題と関連して、長崎県・市の教育相談窓口についても概観する。	
学生へのメッセージ/Message for students	授業理解度の自己評価を導入している関係上、毎回レポートを提出して頂きます。ご意見・ご質問などはメールでお願いいたします。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	教育相談の歴史と意義	A B C D
第2回	学校における教育相談体制と相談の進め方	A B C D
第3回	児童・生徒の発達に応じた教育相談	A B C D
第4回	児童・生徒が抱える心の問題の種類	A B C D
第5回	心の問題を明らかにする方法（1）	A B C D
第6回	心の問題を明らかにする方法（2）	A B C D
第7回	来談者中心カウンセリングについて（1）	A B C D
第8回	来談者中心カウンセリングについて（2）	A B C D
第9回	行動療法・行動カウンセリングについて（1）	A B C D
第10回	行動療法・行動カウンセリングについて（2）	A B C D
第11回	グループエンカウンターについて	A B C D

第12回	心理教育について	A B C D
第13回	保護者への教育相談	A B C D
第14回	各種関係機関との連携	A B C D
第15回	総括	A B C D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202105870369Z2	科目番号 / Course code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Course title	b19教育相談COC[上限外] / Educational Counseling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小川 さやか, 富永 ちはる, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John, 福原 視美, 矢内 希梨子 / Kiriko Yanai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小川 さやか		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小川 さやか, 富永 ちはる, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John, 矢内 希梨子 / Kiriko Yanai		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogawa-sa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2210		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業到達目標/Course goals	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 毎回の授業開始時と授業終了時におけるレポート作成 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1) 授業出席・授業態度 30% 2) レポート・提出物 70%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 予めLacsに掲載されている講義資料に目を通した上で講義にのぞむこと。(2h) 復習: 講義資料やノートをもとに復習し、授業内容について理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング、長崎県の相談窓口		
教科書・教材・参考書/Materials	<教科書> ・授業内で配布するプリントを利用する。 <参考書> ・よくわかる教育相談 ?やわらかアカデミズム・わかるシリーズ?: 春日井 敏之 (編集), 伊藤 美 奈子 (編集)、ミネルヴァ書房、2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談: 佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著)、福村出版、2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識: 大芦 治 (著)、ナカニシヤ出版、2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法: 「月刊学校教育相談」編集部 (編集)、ほんの森出版、2004 ・教育相談?教師教育テキストシリーズ?: 広木 克行 (編集)、学文社、2008 ・教育相談の理論と実際?よりよい教育実践をめざして: 河村 茂雄、図書文化社、2012 ・教育相談入門 ?こころの科学叢書?: 高野久美子、日本評論社、2012		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948	
備考（URL）/Remarks（URL）	地域課題と関連して、長崎県・市の教育相談窓口についても概観する。	
学生へのメッセージ/Message for students	授業理解度の自己評価を導入している関係上、毎回レポートを提出して頂きます。ご意見・ご質問などはメールでお願いいたします。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	教育相談の歴史と意義	A B C D
第2回	学校における教育相談体制と相談の進め方	A B C D
第3回	児童・生徒の発達に応じた教育相談	A B C D
第4回	児童・生徒が抱える心の問題の種類	A B C D
第5回	心の問題を明らかにする方法（1）	A B C D
第6回	心の問題を明らかにする方法（2）	A B C D
第7回	来談者中心カウンセリングについて（1）	A B C D
第8回	来談者中心カウンセリングについて（2）	A B C D
第9回	行動療法・行動カウンセリングについて（1）	A B C D
第10回	行動療法・行動カウンセリングについて（2）	A B C D
第11回	グループエンカウンターについて	A B C D

第12回	心理教育について	A B C D
第13回	保護者への教育相談	A B C D
第14回	各種関係機関との連携	A B C D
第15回	総括	A B C D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587038102	科目番号 / Course code	05870381
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12351_005		
授業科目名 / Course title	b19芸術 / Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加納 暁子 / Kanou Akiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	加納 暁子 / Kanou Akiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	加納 暁子 / Kanou Akiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]音楽棟2F1番教室		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-akiko_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部音楽棟3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2346		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで事前に問い合わせること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	音楽を取り上げ、教育における芸術の役割について理解することを目標とする。教育において音楽がどのように教えられているのか、音楽を通して人間は何を感じ、何を学ぶのかについて考察する。		
授業到達目標/Course goals	文化としての音楽、音楽と人間の関係、音楽教育について理解するとともに、音楽表現ができる。 1. 各楽曲について、その特徴や作曲者、作曲背景について理解できる。() 2. グループで協力しながら演奏表現ができる。() 3. 事前予習課題において楽曲について積極的に調査し、自分の思いを述べることができる。 (?@?B)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内における態度・貢献度30% 予習課題20% 最終試験50% 合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 予習レポートを作成、提出したうえで講義にのぞむこと。(2h) 復習: レジューメを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	人間と音楽、音楽教育、表現		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書「西洋音楽の歴史」東京書籍ほか(授業内で指示する)		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	音楽に興味、関心があること。 音楽活動の経験、音楽学習の経験があり、楽譜が読めることが望ましい。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業に対して真面目に取り組むこと。 授業態度の悪い者は単位を認めない。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	加納 暁子/学校現場における教員経験/学校現場における教員経験のある者が、その経験を活かして、今日的な学校現場での課題への対応を指導する。/中学校で音楽科の授業を担当
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ヴィヴァルディの協奏曲「四季」
第2回	J.S.バッハ「小フーガ」
第3回	モーツァルトについて
第4回	モーツァルトについて
第5回	ベートーヴェンの交響曲「運命」
第6回	シューベルト「魔王」
第7回	ショパンについて
第8回	国民楽派の作曲家
第9回	舞台芸術「オペラ」
第10回	舞台芸術「オペラ」
第11回	舞台芸術「ミュージカル」
第12回	印象派の作曲家ドビュッシー
第13回	ディスカッション、器楽合奏
第14回	ディスカッション、器楽合奏
第15回	ディスカッション、器楽合奏
第16回	最終試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587047901	科目番号 / Course code	05870479
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12331_005		
授業科目名 / Course title	b19日本語と社会C0C / Japanese and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	前田 桂子 / Keiko Maeda, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	前田 桂子 / Keiko Maeda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	前田 桂子 / Keiko Maeda, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	前田 kmaeda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 大平 ohirat nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	前田 教育学部棟6階 624研究室 大平 教育学部棟6階 613研究室		
担当教員TEL/Tel	前田 2301 大平 2305		
担当教員オフィスアワー/Office hours	前田、大平とも 火5		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	前半では、現代において進みつつある文法変化や意味変化、方言と共通語など身近な例を取り上げ、日本語の諸問題について考察する。また後半では、言語と空間・地域にかかわるさまざまな問題を考察する。		
授業到達目標/Course goals	身近な日本語の成り立ちについて理解を深め、その理由を自ら探求し、自分の言葉で説明する能力を身に付ける。また、人間の環境認知や地名について、多文化的な視点も加えつつ理解を深め自ら探求するとともに、自身の言葉で説明する能力を身に付ける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中に課すレポート、小テスト (30%) 期末試験 (70%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業の終了時にはその時間の振り返りをするとともに、次回の予習を求めます。		
キーワード/Keywords	現代語、文法、流行語、方言、環境認知、多文化教育		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	身近な日本語の由来や特徴を知り、日常的に使用している自らの日本語を内省します。積極的な参加を求めます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	大平 晃久/中学校(社会)・高等学校(地歴・公民)非常勤講師/中高の授業に生かせる内容を講義するとともに、大学入試に対して地理教育分野からどう応えているかということを念頭に講義を行う。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 文字について
第2回	語彙について
第3回	訳語と外来語
第4回	標準語と俗語、若者語
第5回	敬語
第6回	方言
第7回	変化する文法
第8回	総括、確認テスト
第9回	言語と世界 (オリエンテーション)
第10回	言語と空間参照枠
第11回	地名のアルケオロジー
第12回	地名のソシオロジー
第13回	歌枕・万葉地理?場所のイメージ(1)?
第14回	コンテンツ・ツーリズム?場所のイメージ(2)?
第15回	多言語・多文化化と言語景観
第16回	期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587036904	科目番号 / Course code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Course title	b20教育相談 / Educational Counseling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小川 さやか, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John, 福原 視美, 矢内 希梨子 / Kiriko Yanai		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小川 さやか		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小川 さやか, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John, 福原 視美, 矢内 希梨子 / Kiriko Yanai		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogawa-sa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2210		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業到達目標/Course goals	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 毎回の授業開始時と授業終了時におけるレポート作成 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1) 授業出席・授業態度 30% 2) レポート・提出物 70%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 予めLacsに掲載されている講義資料に目を通した上で講義にのぞむこと。(2h) 復習: 講義資料やノートをもとに復習し、授業内容について理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング、長崎県の相談窓口		
教科書・教材・参考書/Materials	<教科書> ・授業内で配布するプリントを利用する。 <参考書> ・よくわかる教育相談 ?やわらかアカデミズム・わかるシリーズ?: 春日井 敏之 (編集), 伊藤 美奈子 (編集)、ミネルヴァ書房、2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談: 佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著)、福村出版、2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識: 大芦 治 (著)、ナカニシヤ出版、2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法: 「月刊学校教育相談」編集部 (編集)、ほんの森出版、2004 ・教育相談?教師教育テキストシリーズ?: 広木 克行 (編集)、学文社、2008 ・教育相談の理論と実際?よりよい教育実践をめざして: 河村 茂雄、図書文化社、2012 ・教育相談入門 ?こころの科学叢書?: 高野久美子、日本評論社、2012		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)	地域課題と関連して、長崎県・市の教育相談窓口についても概観する。	
学生へのメッセージ/Message for students	授業理解度の自己評価を導入している関係上、毎回レポートを提出して頂きます。ご意見・ご質問などはメールでお願いいたします。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	教育相談の歴史と意義	A B C D
第2回	学校における教育相談体制と相談の進め方	A B C D
第3回	児童・生徒の発達に応じた教育相談	A B C D
第4回	児童・生徒が抱える心の問題の種類	A B C D
第5回	心の問題を明らかにする方法(1)	A B C D
第6回	心の問題を明らかにする方法(2)	A B C D
第7回	来談者中心カウンセリングについて(1)	A B C D
第8回	来談者中心カウンセリングについて(2)	A B C D
第9回	行動療法・行動カウンセリングについて(1)	A B C D
第10回	行動療法・行動カウンセリングについて(2)	A B C D
第11回	グループエンカウンターについて	A B C D

第12回	心理教育について	A B C D
第13回	保護者への教育相談	A B C D
第14回	各種関係機関との連携	A B C D
第15回	総括	A B C D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587037702	科目番号 / Course code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12341_005		
授業科目名 / Course title	b20身のまわりの科学 / Science in Daily Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada, 武藤 浩二 / Cosy MUTO		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 登 / Fujimoto Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada, 武藤 浩二 / Cosy MUTO		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	n-fuji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください) e-kamada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください) cosy.m nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	藤本: 教育学部技術美術教棟111室 鎌田: 教育学部技術美術教棟115室 武藤: 教育学部技術美術教棟206室		
担当教員TEL/Tel	藤本: 095-819-2360 鎌田: 095-819-2362 武藤: 095-819-2361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	藤本: 8:00-8:45及び昼休み 鎌田: 8:00-8:45及び昼休み 武藤: 8:00-8:45及び昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちの生活に潜む問題点を科学的な視点から捉え、自分なりの解決策を考えます。		
授業到達目標/Course goals	自ら生活に潜む問題点を発見し、それを解決するための考え方とスキルを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義時に提示課題の評価 (50%) 最終レポート (30%) 講義中のディスカッション等の貢献度 (20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	を通したうえで講義にのぞむこと。関連するニュース記事を収集し、分析しておくこと。内容によ っては事業者等に問い合わせが必要になるものもありますので、講義やLACSの指示に注意してくだ さい。(2h) 復習 テキストとレジユメを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	衣食住に関わる日常生活、環境、健康		
教科書・教材・参考書/Materials	資料は適宜配布するか、LACSに掲載します。 エコロジカル・フットプリント・レポート日本2014: 世界自然保護基金ジャパン エネルギー経済統計要覧: 省エネルギーセンター、エネルギー白書: 経済産業省、環境・循環型社 会・生物多様性白書: 環境省など		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	生活や社会を改善したい、未来のエネルギー社会を考えたい学生
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	実験があるために受講人数（40人程度）の制限があります
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	藤本 登/工学部助手等で、実験装置の設計、製作、測定。北九州市立科学館等でロボット教室の講師。企業等の指導・共同研究。/シラバスの機構及び制御に関する内容について、学校現場の状況、子どもの理解度、教材化及び実用化に関する具体的な例示と演示/ 鎌田 英一郎/教育現場における教員経験/教員経験を活かし、学校現場での授業内容と大学での講義内容の関連性、授業づくり、教材作りへの活かし方等を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（概要、ねらい、ルール）、アイスブレイキング 講義テーマ：身の回りに潜む科学と疑似科学1（血液型性格判断） 担当：武藤浩二
第2回	講義テーマ：身の回りに潜む科学と疑似科学2（マイナスイオン） ・個人課題付与 担当：武藤浩二
第3回	グループ討論：身の回りに潜む科学と疑似科学1 担当：武藤浩二
第4回	グループ討論：身の回りに潜む科学と疑似科学2 担当：武藤浩二
第5回	グループ討論成果発表1 担当：武藤浩二
第6回	グループ討論成果発表2 担当：武藤浩二
第7回	テーマ：環境問題のトレードオフを考える?@（水、食：バーチャルウォーター） 担当：鎌田英一郎
第8回	テーマ：環境問題のトレードオフを考える?A（水、食：バーチャルウォーター） 担当：鎌田英一郎
第9回	テーマ：環境問題のトレードオフを考える?B（生物生産の科学技術） 担当：鎌田英一郎
第10回	テーマ：環境問題のトレードオフを考える?C生物生産の科学技術） 担当：鎌田英一郎
第11回	テーマ：未来のエネルギー社会を考える（電源の特徴を踏まえて2030年の電源構成を創造する） 担当：藤本登
第12回	テーマ：原子力から未来社会を考える（放射線の影響と利用・放射線関連の実験） 担当：藤本登
第13回	テーマ：電気のゴミを考える?（高レベル放射性廃棄物処理とは） 担当：藤本登（原子力発電環境整備機構：NUMOとのコラボWS）
第14回	テーマ：電気のゴミを考える?（高レベル放射性廃棄物処分地選定） 担当：藤本登（原子力発電環境整備機構：NUMOとのコラボWS）
第15回	全体討議：持続可能な社会に必要な人材とは 担当：藤本登

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587038502	科目番号 / Course code	05870385
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12361_005		
授業科目名 / Course title	b20環境と社会COC / Environment and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部, 歯学部, 情報データ学部, 工学部, 環境科学部の学生で「教育と社会」のテーマ(b20)を選択したもの		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hoshino nagasaki-u.ac.jp(星野), kosuket nagasaki-u.ac.jp(高橋)(メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部4階 415研究室(星野) 教育学部2階 233研究室(高橋)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2332(星野) 095-819-2404(高橋)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日以外の昼休み(星野) 木曜日の1限(高橋)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	環境と社会がどのように関わっているかを環境基本法などで大まかに捉え、具体例として環境要因 がどのように環境や人間等に影響を与えているのかを学習する。また、ドイツおよびネパール等諸 外国の環境と社会との関わりを多角的に調べ、日本の環境と社会との関わりのあるべき姿を探る。 長崎県の環境に関する課題も取り上げ、対策・施策について理解を深める。また、心理学の観点か ら環境がヒトの行動に与える法則性を理解し、その法則性の観点から「環境問題」を分析し、改善 する方法について検討を行う。		
授業到達目標/Course goals	1. 現代社会の中で環境要因がどのように自然環境や生活環境および人間や動植物に影響を与えて いるかを多角的に調べることができる。 2. 自然環境や生活環境および人間や動植物に影響を与えている環境要因が何か。また、どのような 影響を与えているかを説明することができる。 3. 影響を与えている環境要因に対して社会がどのように対処していけばよいのか。環境と社会と の関わりのあるべき姿について根拠を示して自らの意見を述べるすることができる。 4. 長崎県の抱える環境に関する課題について例を挙げて説明することができる。 5. 環境と行動の相互作用の観点からヒトの行動を分析する観点を理解し、個々の行動単位で環境 問題について理解し、改善を行うための方法を説明することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1回から10回までの評価: 授業中の小テスト、課題レポート、発表、定期考査を行って評価する。評 価割合は、定期考査50%、授業中の小テスト20%、課題レポート20%、発表10%として評価 する。11回から15回までの評価: 授業中の課題レポートにより評価する。合格基準は、これらの総合 点で60%以上とする。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	環境問題に関する新聞記事を日頃から気にかけて読んでおくこと。新聞は、図書館で閲覧できる。また、図書館のデータベースで記事検索もできるので、活用すること。 【予習】テーマについて学習事項とその内容を調べておくこと。担当班はパワーポイントのスライド作成を行っておくこと。(2h) 【復習】テーマについての学習事項に関する小テスト問題の作成を通じて復習しておくこと。(2h)	
キーワード/Keywords	環境基本法, 環境基準, ドイツの環境事情, ネパールの環境事情, 長崎県の環境課題, 応用行動分析学	
教科書・教材・参考書/Materials	参考書1: 谷村賢治・齋藤 寛編著「環境知を育む」税務経理協会 参考書2: 及川 紀久雄・北野 大共著「人間・環境・安全 暮らしの安全科学」共立出版 参考書3: 島宗理「使える行動分析学 じぶん実験のすすめ」ちくま新書	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	定員を80名までとします。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	他の班のプレゼンテーションにおいても、積極的に質問、意見を述べること。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーションとイントロダクション。授業内で演習プリント（日本の公害・長崎の公害）を課す。受講者自らが興味を持つ、環境問題を挙げる課題（事項と内容）プリントを課す。担当：星野	A
第2回	環境法規（長崎県の環境基本計画を含む）とドイツの環境事情について、星野がプレゼンを行う。授業内で授業内容に関わる演習プリントを課す。ネパール国についての課題プリントを課す。担当：星野	A
第3回	ドイツ及びネパールの環境事情について、星野がプレゼンを行う。授業内で授業内容に関わる演習プリントを課す。担当：星野	A
第4回	本授業で取り上げる6つのテーマを選定する。テーマごとに班を編成する。班ごとのプレゼンによる発表日を決める。 星野がプレゼンの例を行う。担当：星野	B
第5回	テーマ1,たとえば「地球温暖化」について1班全員が一人ずつプレゼンを行う。1班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ1について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ1に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。 担当：星野	B
第6回	テーマ2,たとえば「生態系保護」について2班全員が一人ずつプレゼンを行う。2班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ2について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ2に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。 担当：星野	B
第7回	テーマ3,たとえば「大気汚染」について3班全員が一人ずつプレゼンを行う。3班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ3について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ3に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。 担当：星野	B
第8回	テーマ4,たとえば「水資源・水質汚濁」について4班全員が一人ずつプレゼンを行う。4班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ4について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ4に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。 担当：星野	B

第9回	テーマ5,たとえば「エネルギー問題」について5班全員が一人ずつプレゼンを行う。5班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ5について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ5に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。担当:星野	B
第10回	テーマ6,たとえば「感染症と社会」について6班全員が一人ずつプレゼンを行う。6班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ6について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ6に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。担当:星野	B
第11回	ヒトの行動と環境の相互作用の観点および環境がヒトの行動に影響を与える法則性について解説する。担当:高橋	A
第12回	ヒトの行動と環境の相互作用の観点から,さまざまな応用的な問題を分析する観点について解説する。各自の日常的な課題を考え,それを具体的な行動で捉えるワークを行い,学生間で評価を行う。次回の講義日までの行動記録を課題とする。担当:高橋	A B
第13回	課題としていた行動記録について,発表する機会を持ち,相互にフィードバックを行う。行動記録の方法についての改善案等について協議を行う。担当:高橋	A B
第14回	行動を変容させるための環境要因の操作に関する解説を行う。解説を踏まえ,各自の行動を変容させるための改善案について考えるワークを行い,学生間で評価を行う。次回の授業日までに行動記録と改善案の実施を課題とする。	A B
第15回	課題としていた改善案の実施とその結果(行動記録)について発表する機会を持つ。その後,これまでの授業内容を踏まえ,環境問題について個人の行動変容を促すための改善案を考えるワークを行う。それぞれが考えた改善案について提出を求める。担当:高橋	A B D
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587039301	科目番号 / Course code	05870393
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12521_005		
授業科目名 / Course title	b21人間と社会 / Human and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	永田 聖二 / Nagata Seiji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	永田 聖二 / Nagata Seiji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	永田 聖二 / Nagata Seiji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	seiji_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部 本館 6階 612研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2310		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜 限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	古典派経済学からケインズ経済学まで、さまざまな経済学説の変遷をたどることによって、資本主義経済の機構を理論的に解明する。		
授業到達目標/Course goals	古典派経済学、マルクス経済学、近代経済学など、さまざまな経済学説の資本主義経済観を把握したうえで、資本主義経済の機構を理論的に説明できる。(10基盤的知識、B社会科学の内容を取り扱う)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験100% 100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 配布資料の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。(2h) 復習 ノート整理をつうじて内容の理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	スミス、リカードウ、マルクス、スラッファ、ケインズ、レオンティエフ		
教科書・教材・参考書/Materials	稲田献一『経済数学の手ほどき』日本経済新聞社(日経文庫) チャン、ウェインライト『現代経済学の数学基礎(上・下)』CAP出版		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ベクトルや行列など、線形代数の初歩的な知識があれば、理解の助けになる。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	経済学の課題と対象
第2回	流通過程と重商主義思想
第3回	アダム・スミスと国富
第4回	アダム・スミスと生産過程
第5回	リカードウと労働価値説
第6回	リカードウと賃金論
第7回	リカードウと地代論
第8回	経済数学の基礎1: 微分法
第9回	経済数学の基礎2: 最適化問題
第10回	経済数学の基礎3: 偏微分と全微分
第11回	ミクロ経済学: 消費者行動の理論
第12回	マクロ経済学: 所得水準の決定と乗数効果
第13回	経済数学の基礎4: ベクトルと行列
第14回	経済数学の基礎5: 連立方程式と逆行列
第15回	産業連関分析
第16回	期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587039701	科目番号 / Course code	05870397
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12531_005		
授業科目名 / Course title	b21暮らしと科学COC / Life Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 千秋 / Nakamura Tiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 千秋 / Nakamura Tiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 千秋 / Nakamura Tiaki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	中村千秋: sonny i.edu.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信して ください)		
担当教員研究室/Office	中村千秋: 教育学部本館E308室		
担当教員TEL/Tel	中村千秋: 095-819-2325		
担当教員オフィスアワー/Office hours	中村千秋: メール(sonny i.edu.nagasaki-u.ac.jp)による質問を受け付けます。来室を希望する場 合には、メールにて希望する日と時間を連絡して下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現在、我々の生活の中のいたるところにコンピュータや情報ネットワークが入ってきています。IoT や車の自動運転などに代表されるように、この傾向はますます進んでいくことでしょう。そこで、 この講義では、前半部分ではIoTと人工知能について取り上げ、これらの基礎的な事項を学び、我々 の暮らしのにどう生かせるのかを考えていきます。また、後半部分では、長崎を題材として、長崎 の魅力を伝えるためWebサイトの制作を行います。情報を発信する側だけでなく、情報を探す側の視 点に立ったサイトの構築 (SEO対策) を行ってみます。これとともに、我々の暮らしに欠かすこと のできなくなっている検索エンジンについても学習します。		
授業到達目標/Course goals	1. IoTがどのようなものかを説明できる。 2. 人工知能がどのようなものかを説明できる。 3. IoTや人工知能の活用を考え、それをプレゼンテーションできる。 4. 長崎に関する特色を整理し説明できる。 5. CMSを用いたWebサイトの構築の基本的な技能を修得し、他者と協働して成果物を作成できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	前半: 調べ学習レポート(10点)+グループワークレポート(10点)+プレゼンテーション内容・相互評 価レポート(20点)+授業への取組(10点)=50点 後半: 調べ学習レポート(15点)+グループワークレポート(10点)+プレゼンテーション内容・相互評 価レポート(15点)+授業への取組(10点)=50点 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>【予習】次回の内容を提示するので、それについて配布資料や参考図書などで調べておく。また、プレゼンテーションの準備や、制作物の作成を進めておく。(4h)</p> <p>【復習】レポートの作成およびその回で扱った内容をまとめ、理解できない点などを調べて理解する。それでも理解できない場合は、次回の講義で教員に聞けるように準備しておく。制作物に関しては、学んだことを反映させる(4h)</p>
キーワード/Keywords	コンピュータ、インターネット、IoT、人工知能、情報システム、生活、長崎県、Webページ制作、SEO
教科書・教材・参考書/Materials	<p>参考書:</p> <p>坂村 健 著, 「IoTとは何か 技術革新から社会革新へ」, 角川学芸出版, 2016, ISBN-10: 4040820584</p> <p>小林雅一 著, 「AIの衝撃 人工知能は人類の敵か」, 講談社, 2015, ISBN-10: 4062883074</p>
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>
備考(URL)/Remarks (URL)	必携PCを持ってくること。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
10月4日	前半: オリエンテーション 後半: IoTに関する座学
10月11日	前半: 人工知能に関する座学 後半: 興味のある分野に関する調べ学習の準備と実施 IoTと人工知能に関する興味のある分野を決め、同じ分野でグループを作る。さらに、グループ内でその分野を細分化し、自分が担当する分野を決める。その後、調べ学習を始める。 調べたことを次回のための資料として作成し、これをレポートとして次回までにLACS上で提出する。
10月18日	グループ内で、各々が調べてきたことを説明してもらい、質問や疑問点を出し合い、議論し、理解を深める。共有できた知識をまとめる。これをレポートとして次回までにLACS上で提出する。 次に、グループを再構成し、新たなグループで自分たちが得た知識を組み合わせる暮らしの中で活かせる新たなサービスを考え出す。これをプレゼンテーションするための資料を次回までに作成する。
10月25日	グループ毎に自分たちが考えたサービスをプレゼンテーションする。それぞれのグループの発表内容についてのディスカッションを行い、相互評価する。 自分たちのプレゼンテーション内容とそれに対する意見、他のグループに対する評価を各々がまとめ、レポートとして提出する。提出は、LACS上で行う。
11月1日	前半: Webサイトのテーマの検討(制作の目的、コンセプト、ターゲット等の検討)を行い、まとめたものをレポートとして提出する。 後半: CMSの1つであるWordPressについて学び、簡単なページを作ってみる。
11月8日	前半: CEO対策とは何か、検索エンジンとはどのようなものかについて学び、まとめたものをレポートとして提出する。 後半: Webサイトの制作を行う。
11月15日	Webサイトの制作を行う。
11月22日	前半: 成果発表会・相互評価および学習の省察を行う。その結果をレポートとして提出する。 後半: 予備日

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587040101	科目番号 / Course code	05870401
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12541_005		
授業科目名 / Course title	b21数と自然 / Number and Nature		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	島袋 修 / Osamu Shimabukuro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	島袋 修 / Osamu Shimabukuro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	島袋 修 / Osamu Shimabukuro		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部(医学科・保健学科)・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shimabukuro nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部棟3階310号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日14:30-16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業の前半では、諸問題を解きながら整数の性質を学ぶ。整数に関する問題は、実際に解こうとすると難しい問題が多いことに気づく。その背後にある理論を理解し、整数の世界の奥深さを感じてほしい。後半では、有理数、実数の世界まで考察する対象を広げ、それらの基本的性質を学ぶ。様々な不思議な性質に触れることで、数へのさらなる興味をもたれることを期待する。		
授業到達目標/Course goals	自然数と整数について性質を理解し、証明できる。 ユークリッド互除法のしくみを理解し、具体的に問題を解けるようになる。 合同式の計算ができるようになる。 分数、小数、無理数について性質を理解し、証明できる。 連分数展開ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験60点 + 平常点40点 = 合計100点。 60点以上が合格。 平常点は授業中の発表回数を主とし、随時行う小テスト、レポート、授業への貢献などをもとに評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ 事前にLACSで配布する資料を読むこと(2h) ・ 次の授業までに、前回の内容の中でわからなかった部分はそのままにせず、理解するまで考えること(2h)		
キーワード/Keywords	整数、素数、分数、小数、無理数		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はLACSで配布する。 毎回の講義ノートをしっかりつくること。 参考書として高校数学の教科書があるとよい。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	授業外学習に当てるべき時間: 週平均2時間以上		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	各自の講義ノートをよく復習すること。 授業で扱った内容に対応した練習問題を各自で探し、解いてみること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	記号について・集合
第2回	自然数と整数
第3回	素数と素因数分解
第4回	素因数分解
第5回	合同式
第6回	孫子の剰余定理
第7回	分数
第8回	小数
第9回	無理数
第10回	実数
第11回	連分数展開
第12回	指数
第13回	対数
第14回	まとめ1
第15回	まとめ2
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587038901	科目番号 / Course code	05870389
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12511_005		
授業科目名 / Course title	b22ことばの世界COC / World of Words		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 中村 典生 / Norio Nakamura, 倉田 伸 / Shin Kurata		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 中村 典生 / Norio Nakamura, 倉田 伸 / Shin Kurata		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	松元浩一 (ファシリテーター) kmat_nagasaki-u.ac.jp 中村典生 nakn_nagasaki-u.ac.jp 倉田 伸 shin1222kurata_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	松元浩一 教育学部本館6階 617号室 中村典生 教育学部本館5階 515号室 倉田 伸 教育学部本館5階 509号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00-12:50、14:20-14:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>英語や日本語を初めとする「ことば」を題材にし、インターネットやロボット等と人が共存する情報化社会を作り出すプログラミング言語も題材にしながら、現代に生きる人間の諸活動の問題をことばと情報の観点から考察する。</p> <p>社会を取り巻く環境の大きな変化により「ことば」の教育、とりわけ外国語の教育が大きく変わろうとしている。手紙や電話とは異なり、スマホやICT機器等の発達により、「ことば」の伝達方法やコミュニケーションの様態も劇的に変化している。</p> <p>こうしたなかで、日本語や英語によるコミュニケーションの在り方、表現し働きかける力、他者と係る力をどのように身につけ、学べばよいかを日本における今日の教育とも関連づけて考察する。</p> <p>また、長崎は16世紀から外国語を取り入れる窓口となって日常的に外来の言葉と融和してきた。「長崎人」が外来語と接するなかでどのように自らを表現し他者に働きかけ、他者と係る力を身につけたのかを可能な限り探りたい。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 自らが受けてきた「ことば」の教育を振り返り、省察し、発表することができる。(対応するDP: 自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。)</p> <p>(2) 日本における「ことば」の教育や外国語教育の方向性を理解したうえで、日本語や英語によるコミュニケーションの在り方、表現し働きかける力、他者と係る力をどのように身につけるとよいかを批判的に、自律的に表現できる。(対応するDP: 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)</p> <p>(3) 古くから長崎の先人が接してきた外来語との関わりをもとに、日本語や外国語によるコミュニケーションの在り方に新たな視点を見つけ出すことができる。(対応するDP: 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)</p> <p>(4) 情報化社会に対応した表現方法で、プログラミング言語等を用いて、これまでに学んだ長崎の文化を発信することができる。(対応するDP: 自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。)</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy	汎用的能力 / Generic Competence	倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society

<p>学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking</p>	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>
<p>成績評価の方法・基準等/Method of evaluation</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題小テスト (25%) ・ショートエッセイ (25%) ・授業への積極的な関わり (授業時の発表用課題の予習を含む) (25%) ・課題レポート (25%)
<p>各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson</p>	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>
<p>事前、事後学習の内容/Preparation & Review</p>	<p>毎回の予習、復習の内容が授業ごとに提示されるので、指示に従って準備すること (LACSによる課題提示等も行われる予定です。詳細は授業時にお知らせします。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として、授業のなかで指示された課題の下調べとそのまとめ (2h) ・事後学習として、授業で学んだことをもとにミニレポートやショートエッセイ等の作成 (2h)
<p>キーワード/Keywords</p>	<p>日・英語、外国語活動、ICT機器活用、マークアップ言語、プログラミング言語、長崎県の歴史</p>
<p>教科書・教材・参考書/Materials</p>	<p>授業で用いる資料は、教員が授業時に提示したり配布したりするが、ほかに必要なものは適宜準備するようその都度指示する。</p>
<p>受講要件 (履修条件) /Prerequisites</p>	
<p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
<p>備考 (URL) /Remarks (URL)</p>	
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>グループ討論では、全員が自らの下調べをもとに積極的に議論をリードしていくことを期待しています。</p>
<p>実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience</p>	<p>N</p>
<p>実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course</p>	
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回 (日時) / Time (date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>1回目-5回目</p>	<p>松元担当。前半では、座学で日本語と英語の特性について基本的な知識を学び小テストを行う。後半では、長崎の歴史と英語との関りについて、ペアやグループによるディスカッションや意見交換を通じて考察する。最後に、コミュニケーションの在り方等に関ショートエッセイを課す。</p>
<p>6回目-10回目</p>	<p>倉田担当。これまでに学んだ長崎の文化を、インターネットを用いて発信できるようになるために、マークアップ言語やプログラミング言語の「ことば」の基本を学び、それらを用いてWebコンテンツを作る。最後に作ったWebコンテンツを相互評価し、様々な表現方法を知ることに加え、客観的に自己の表現について省察する。</p>
<p>11回目-15回目</p>	<p>中村担当。第1回から第10回までの内容を念頭において、自らが受けてきた日本語や英語の教育も振り返りながら、歴史的に「長崎人」が外来語と接するなかでどのように自らを表現し他者に働きかけ、日常的に外来の言葉と融和してきたかを調べ、それをもとにグループごとに意見交換を行う。</p>

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587040501	科目番号 / Course code	05870405
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12551_005		
授業科目名 / Course title	b22音楽 / Music		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]音楽棟2F1番教室		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miyamo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部 音楽棟2F 204		
担当教員TEL/Tel	095-819-2345		
担当教員オフィスアワー/Office hours	研究室前掲示参照		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	モジュール で修得した芸術の理解・表現方法に加え、音楽分野に関心のある学生に対し、声楽曲の鑑賞と実技により、深い知識や研究態度を身につけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	モジュール で身につけた、芸術の理解・表現を深めること。声楽独唱ができること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各回提出の授業レポート(全15回)の評価(50%)、歌唱(独唱)の実技試験(50%) (授業への取り組みにより、授業レポートのみの評価となることもある)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	インターネット(YouTube等)を活用して、授業テーマに関わる音楽を視聴すること。(2h) インターネットを活用して、講義内容にかかわる情報検索や音楽の視聴を行うこと。(2h)		
キーワード/Keywords	声楽、歌曲、オペラ		
教科書・教材・参考書/Materials	授業計画に沿い、資料を配布する。音楽の視聴はCD、DVD、生演奏(歌唱とピアノ伴奏)を活用する。 参考: 歌唱芸術(白水社)、ドイツ歌曲の歴史(音楽之友社)、3日でわかるクラシック音楽(ダイヤモンド社)、もう一度学びたいオペラ(西東社)、絶対!うまくなる合唱100のコツ(ヤマハミュージックメディア)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	教室の座席定員(音楽棟1番教室)が36名のため、最大受講者数を36名とする。定員を超えた場合は、Nu-Webでの電子抽選を使用し、教養教育掲示板に結果を公表する。(指導教員への直談判無効)		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではクラシック音楽を取り上げます。歌唱芸術への興味と関心が持てること、自分にとっての未知なる音楽を受け入れる柔らかな心を持って受講することを希望します。声楽実践では、一人で人前で独唱する心構えが必要かと思われます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	導入
第2回	春の歌
第3回	歌曲の歴史 1 導入 日本の歌曲（西洋音楽）の歴史
第4回	歌曲の歴史 2 日本の歌曲（西洋音楽）の歴史
第5回	詩と音楽の出会い 1 ドイツ歌曲の歴史
第6回	ホール体験1 / 歌唱法入門（発声の理論と実践）
第7回	歌、歌曲、オペラ、声楽…声楽ジャンルについて1
第8回	歌、歌曲、オペラ、声楽…声楽ジャンルについて2 オペラ体験
第9回	実践 / 「野ばら」の歌唱
第10回	ホール体験2 / 歌唱法入門（発声の理論と実践）
第11回	詩と音楽の出会い 2 歌曲の手法1
第12回	詩と音楽の出会い 3 歌曲の手法2
第13回	詩と音楽の出会い 4 歌曲の手法3
第14回	詩と音楽の出会い 5 歌曲の手法4
第15回	授業のまとめ / 音楽から見た「世界の言葉」と「学べる喜び」
第16回	歌唱実技試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587040901	科目番号 / Course code	05870409
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12561_005		
授業科目名 / Course title	b22美術 / Fine Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	針貝 綾 / Harikai Aya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	針貝 綾 / Harikai Aya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	針貝 綾 / Harikai Aya		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aharikai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する場合は、 を@に換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部美術技術棟 針貝研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜 5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は、美術史の入門・基礎となる授業です。古代ギリシャからルネサンスまでの世界遺産や、彫刻、絵画などの名品を鑑賞して美術作品を見る眼を養い、それらの歴史的な意義や美術的価値について学びます。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品を観察し、文章あるいは口頭で客観的に記述することができる。 ・作品の記述に基づき、作品を分析することができる。 ・様式や表現技法、代表的な美術家、作品などについて説明できる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内の作品記述及び感想 (50点) + 定期試験 (50点) = 合計100点のうち60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習(2h) 授業後は、教科書を参照しながら、授業で取り上げた作品を中心に復習してください。(2h)		
キーワード/Keywords	美術史、西洋美術		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：高階秀爾監修『西洋美術史』美術出版社 参考書：授業内で紹介します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	基礎知識は必要ありませんが、芸術や文化に関心があること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	美術館や博物館などに出かけて実作品を見たり、美術に関わる書籍を読むなど、美術に親しむ機会をぜひ作ってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	古代ギリシャ美術：パルテノン神殿とその装飾
第2回	古代ギリシャ彫刻：幾何学様式～ヘレニズム様式
第3回	ローマ美術：記念碑と肖像彫刻
第4回	中世美術：ロマネスク様式、ゴシック様式 初期ルネサンス絵画：マザッチオ《楽園追放》
第5回	初期ルネサンス絵画：マザッチオ《三位一体》
第6回	初期ルネサンス絵画：フラ・アンジェリコ《キリストへの嘲笑》
第7回	初期ルネサンス絵画：ポッティチェルリ《春》
第8回	初期ルネサンス絵画：ポッティチェルリ《ヴィーナスの誕生》
第9回	盛期ルネサンス彫刻：ミケランジェロ《ピエタ》と《ダヴィデ》
第10回	盛期ルネサンス彫刻：ミケランジェロのメディチ礼拝堂彫刻
第11回	盛期ルネサンス絵画：ミケランジェロのシスティーナ礼拝堂天井画
第12回	北方ルネサンス絵画：デューラーの自画像
第13回	北方ルネサンス絵画：デューラーの銅版画《メランコリアI》
第14回	北方ルネサンス絵画：ホルバインの肖像画
第15回	北方ルネサンス絵画：ホルバイン《通称大使たち》
第16回	試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587016101	科目番号 / Course code	05870161
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12971_005		
授業科目名 / Course title	b23環境と生物応答COC / Natural Environment and Bioresponse		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 二郎 / Okada Jiro, 高巢 裕之 / Takasu Hiroyuki, 山口 真弘 / Masahiro Yamaguchi, 山下 樹三裕 / Kimihiro Yamashita		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 二郎 / Okada Jiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 二郎 / Okada Jiro, 高巢 裕之 / Takasu Hiroyuki, 山口 真弘 / Masahiro Yamaguchi, 山下 樹三裕 / Kimihiro Yamashita		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	岡田二郎(jokada nagasaki-u.ac.jp)、山下樹三裕(kimihiro nagasaki-u.ac.jp)、高巢裕之 (takasu nagasaki-u.ac.jp)、山口 真弘(masah-ya nagasaki-u.ac.jp) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部 2F (227)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2762		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金 12:10-12:40 (その他の時間帯でも在室時はいつでも可)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生物が自然環境の変化に対して内部環境を維持する仕組みについて学ぶ。生体が外部環境から受け る刺激に対する生体内環境の応答について、感覚系による環境センサーとしての機能や天然物質・ 化学物質による有害作用や毒性発現の作用機序、さらに、長崎県沿岸域を例に生態系の安定性につい て学び、自然環境と生物との共生について理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・生物応答の基本的しくみを理解し、説明できる。 ・自然環境と生物応答との関連について理解し、説明できる。 ・自主的に学ぶ態度を身につける。 ・グループ学習において、積極的かつメンバーとも協同して課題に取り組む態度及びスキルを獲得 する。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ペアワーク、グループワーク、ディスカッション、発問への回答、授業内の小レポート、小テス ト、クリッカーなど F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習・復習も含めて授業への積極的な参加(50%)、レポート・小テスト(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義前に配布される資料の確認、不明な用語や概念の下調べ等で、毎回2時間の事前学習が必要。講 義内容および講義中の課題の振り返り等で、毎回2時間の事後学習が必要。		
キーワード/Keywords	外界刺激応答、環境ホルモン、生態系応答、長崎県沿岸域、大気汚染		
教科書・教材・参考書/Materials	予習・復習時に各自で調べる。必要があれば配布する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	予習を前提として授業を進める。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	連絡はLACS等を通じて行う。
学生へのメッセージ/Message for students	適宜指示する。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1,2回 (9/28)	毒性物質と生体反応, (山下) 身近な動物毒 (山下)
第3,4回 (10/5)	重金属と公害病 1 (山下) 重金属と公害病 2 (山下)
第5,6回 (10/12)	環境ホルモンと公害病 (山下) 環境センサーとしての感覚系 (岡田)
第7,8回 (10/19)	光の受容と行動 (岡田) 音の受容と行動 (岡田)
第9,10回 (10/26)	匂いの受容と行動 (岡田) 触感の受容と行動 (岡田)
第11,12回 (11/2)	海洋環境問題の概観 (高巢) 海洋への窒素負荷の増大と生態系応答 (高巢)
第13,14回 (11/9)	諫早湾・有明海の異変 (1) (高巢) 諫早湾・有明海の異変 (2) (高巢)
第15回(11/16)	大気汚染の歴史と植物影響 (山口)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587016501	科目番号 / Course code	05870165
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12981_005		
授業科目名 / Course title	b23廃棄物と土壌・地下水汚染 / Waste Management and Groundwater		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi, 西山 雅也 / Nishiyama Masaya, 中川 啓 / Nakagawa Kei, 利部 慎 / Kagabu Makoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi, 西山 雅也 / Nishiyama Masaya, 中川 啓 / Nakagawa Kei, 利部 慎 / Kagabu Makoto		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	asakura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	廃棄物資源工学研究室(環境科学部3階、環350)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2760		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時、事前に連絡をとること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	水資源としての地下水利用、土壌・地下水汚染の現状、汚染の挙動解析法や対策技術などについて学ぶ。また、廃棄物の処理とリサイクルに関する基本的な法制度・計画と、各種処理技術を学び、問題点と理想像、そのギャップを埋める手法・計画などを考える。		
授業到達目標/Course goals	<p>廃棄物問題、土壌・地下水汚染についての基本的事項を理解できるようになる。()</p> <p>水資源としての地下水利用について説明することができるようになる。()</p> <p>汚染の挙動解析法や対策技術について理解できるようになる。()</p> <p>廃棄物の処理とリサイクルに関する基本的な法制度・計画と、各種処理技術を理解できるようになる。()</p> <p>廃棄物処理の問題点と理想像、そのギャップを埋める手法・計画などを考えることができるようになる。()</p> <p>廃棄物処理の問題について、自主的に課題解決に取り組み、また、他と協働して解決につながる活動を模索できるようになる。()</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	「廃棄物問題」「地下水汚染」「土壌汚染」の3つのカテゴリーに分けて講義するので、それらのレポート(予習復習課題およびレポート課題=85点)および講義への参加状況(講義中の課題および授業への取り組み=15点)=合計100点を採点し、それらの平均とする。60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前に提示される資料や関連書籍に目を通しておくこと。(2h) 授業後は指示されたレポートにとりくみ、また、提示された資料や関連書籍に目を通すこと。(2h)		
キーワード/Keywords	水資源、廃棄物、土壌、地下水汚染、土壌汚染、対策技術		
教科書・教材・参考書/Materials	必要な資料は、LACSや印刷物で配布します。 特に定めませんが、廃棄物、地下水学、土壌学に関するテキストに目を通すことをお勧めします。 例えば、地下水に関しては、藤縄克之著「環境地下水学」共立出版など。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	特になし
学生へのメッセージ/Message for students	講義内容と関連する書籍やテキストに目を通すこと
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	朝倉 宏/建設コンサルタントにおける一般廃棄物処理基本計画作成/建設コンサルタントにおける実務経験を持つ教員が、各自治体で策定する一般廃棄物処理基本計画の策定の意義・方針・手法を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	「廃棄物と土壌・地下水汚染」とは(中川 啓 教員)
2	世界と日本の水資源と地下水の利用、地下水汚染(中川 啓 教員)
3	地下水水質の評価について(1)-利き水による官能試験実習(中川 啓 教員)
4	地下水水質の評価について(2)-簡易な水質測定とダイアグラムの描画実習(中川 啓 教員)
5	地下水とは-「量」の特徴(利部 慎 教員)
6	地下水とは-「水質」の特徴(利部 慎 教員)
7	廃棄物に関する基本的な背景に関する講義(朝倉 宏 教員)
8	廃棄物の発生抑制・リサイクルに関する講義,グループ分け,次回宿題提示(朝倉 宏 教員)
9	廃棄物発生量の計算方法および削減目標と削減手法,直線回帰法についてグループ内相互教習(朝倉 宏 教員)
10	教員による廃棄物発生抑制計画作成の練習課題提示,学生による試算とグループ内討議(朝倉 宏 教員)
11	土壌汚染の特徴(西山 雅也 教員)
12	土壌生成過程と土壌の性質 (1)(西山 雅也 教員)
13	土壌生成過程と土壌の性質 (2)(西山 雅也 教員)
14	土壌の性質と土壌汚染(西山 雅也 教員)
15	まとめと講評(担当教員全員)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587052901	科目番号 / Course code	05870529
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15411_005		
授業科目名 / Course title	b23有害化学物質の管理と処理 / Management and Handling of Harmful Chemicals		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	久保 隆 / Kubo Takashi, 真木 俊英 / Maki Toshihide		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	久保 隆 / Kubo Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	久保 隆 / Kubo Takashi, 真木 俊英 / Maki Toshihide		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kubo-t nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部 環335		
担当教員TEL/Tel	095-819-2756		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前連絡があれば随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	有害化学物質のマネジメントについて理解するとともに、長崎大学における廃液処理の実際を学び、環境保全に関連してとるべき行動について理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	有害化学物質による汚染事例等について自ら学び()、議論や発表を通じて理解を深める()。また、有害化学物質の管理制度について学ぶとともに()、本学における廃液処理管理等に関して学生相互に意見を出し合い、課題を発見・解析できるようになる()。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義への積極的取り組み30%, 試験20%, レポート50%で評価し, 60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	グループ内で分担した公害に関する調査を進める。また、講義で扱うテーマを提示するので、それについてネットなどを使って調べる。(2h) 講義資料を復習し、理解を深める。(2h)		
キーワード/Keywords	実験廃液処理、公害、課題解決、リスク、化学物質管理制度		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。教材はPDFファイル等で提供する。 参考書: 「えっ! そうなの?! 私たちを包み込む化学物質」コロナ社、「基礎化学実験安全オリエンテーション」東京化学同人		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	予習と復習を前提とする。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	定期的にニュースをチェックすることや、幅広い内容について読書することも、この講義の理解を深めるために有用です。前向きな取り組みを期待します！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス： 科目の概要、狙い、位置づけ、到達目標、授業の方法、各単元の到達目標、評価方法を理解する。 課題探求と課題解決の方法について理解する。
第2回	実験時の安全： 実験に用いる薬品や器具等の基本的な取扱方法、具体的な安全対策について理解する。
第3回	安全・安心とリスク(その1)： 安全・安心の考え方、およびエラーとその対策概念の基本について理解し、身近な安全行動を実践できる。
第4回	安全・安心とリスク(その2)： 化学物質の取り扱いに関するリスクアセスメントの基本について理解し、身近な安全行動を実践できる。
第5回	毒性試験と毒性値： 毒性試験や毒性値の種類を学び、それらの意味を理解する。 GHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)やラベル表示の概要を理解する。
第6回	基準値等の設定： 化学物質の毒性に基づいた基準値や指針値設定の考え方を理解する。
第7回	特定化学物質の取り扱い： 特化則(特定化学物質障害予防規則)の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
第8回	有機溶剤の取り扱い： 有機則(有機溶剤中毒予防規則)の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
第9回	廃液処理システム： 本学の有機系及び無機系実験廃液処理施設の概要を学ぶ。また、本学の実験廃液管理システムについて理解する。
第10回	重金属廃液の処理効果の確認と施設見学： 簡単な実験を通して、廃液の分別の重要性を理解する。また、実施設の見学を通して、廃液処理を体験的に理解する。
第11回	廃液に関する課題解決(その1)： 本学の廃液回収量データを解析して課題を抽出するとともに、解決策を考える。
第12回	廃液に関する課題解決(その2)： 本学の廃液回収量データを解析して課題を抽出するとともに、解決策を考える。
第13回	公害に関する課題解決(その1)： 公害に関する調査結果に基づいて、現在の我々にとっての課題を抽出し、解決策を考える。
第14回	公害に関する課題解決(その2)： 公害に関する調査結果に基づいて、現在の我々にとっての課題を抽出し、解決策を考える。
第15回	テスト・レポート： テストによる知識の定着の確認を行う。また、公害について世界に発信すべき教訓を考え、まとめる。
第16回	総括： 講義の評価を行い、改善点等について議論する。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587016901	科目番号 / Course code	05870169
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12991_005		
授業科目名 / Course title	b24藻類の多様性 / Diversity of Algae		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	飯間 雅文 / Ima Masafumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	飯間 雅文 / Ima Masafumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	飯間 雅文 / Ima Masafumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	iima nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟2階 環238室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2765		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日9:00-12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	藻類は、地球上の生物進化の歴史において、どのような役割を果たしたか？ 地球生態系において、光合成を行い、太陽エネルギーを利用して、二酸化炭素と水から有機物を合成し、酸素を放出した最初の生産者が藻類である。 藻類の存在なしにはヒトを含む全ての動物は誕生できなかった。 陸上植物に比べマイナーな存在である藻類について、30数億年にわたるその進化と多様性の知識を得る。 また、藻類の利用面での食用以外の多様な利用方法について、その知識を得る。		
授業到達目標/Course goals	生命の起源から現在に至る藻類の進化の過程の概要が理解できる。 地球生態系における最初の生産者であり、陸上植物の祖先である藻類の重要性が理解できる。 人類が藻類と共生して行かねばならないことを十分に知ることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	4回のグループごとの課題学習プレゼンテーション40%、期末レポート40%、授業への積極的な取り組み20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	与えられた藻類に関する4回の課題について、図書館やインターネットで調べてグループでまとめて、発表 (パワーポイントによるプレゼンテーション) をする。(4h)		
キーワード/Keywords	藻類の定義、シアノバクテリア、微細藻類、淡水藻、海藻、紅藻、褐藻、緑藻		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特に指定せず、毎回授業資料を配布する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考(URL)/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	陸上植物に比べ、目立たない藻類に興味・関心をもってほしく、日常生活で何気なく食べている藻類を気にとめてほしい。	
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
1, 2回	オリエンテーション 藻類の多様性(総論) 1 藻類とはどのような分類群か 2 現在の分子系統学に基づく地球上の生物の系統	F
3, 4回	第3回 藻類の多様性(各論) 生命の起源?最初の光合成生物(植物の祖先)シアノバクテリア(藍藻)の誕生 第4回 藻類という言葉聞いてイメージできる一番なじみ深い藻類について、2,3人ずつのグループごとのプレゼンテーション	A B C D
5, 6回	第5回 藻類の進化 連続細胞内共生(藍藻 紅藻 クリプト藻 渦鞭毛藻) 紅藻類:原核藻類シアノバクテリアの細胞内共生(一次共生)により最初に誕生した真核藻類 第6回 褐藻類 海中で最も大型化した真核海産藻類	F
7, 8回	第7回 緑藻類:陸上植物の祖先にあたる真核藻類分類群 第8回 サンゴの白化現象(褐虫藻(渦鞭毛藻)の放出による死滅現象)についての、各グループごとのプレゼンテーション	A B D
9, 10回	第9回 藻類の利用 : 食用 第10回 藻類の利用 : 食用以外	F
11, 12回	第11回 絶滅危惧種藻類について 第12回 食用藻類各種についての各グループごとのプレゼンテーション	A B D
13, 14回	第13回 藻類の工業用利用1 第14回 藻類の工業用利用2	F
第15回	最終回 藻類の食用以外の利用について、各グループごとのプレゼンテーション	A B D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587017301	科目番号 / Course code	05870173
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13001_005		
授業科目名 / Course title	b24海洋環境と化学物質COC / Bioactive Compounds from Marine Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石橋 郁人 / Ishibashi Fumito, 高谷 智裕 / Takatani Tomohiro, 荒川 修 / Osamu Arakawa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	石橋 郁人 / Ishibashi Fumito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	石橋 郁人 / Ishibashi Fumito, 高谷 智裕 / Takatani Tomohiro, 荒川 修 / Osamu Arakawa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fumito nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産学部新館1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2833		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後が望ましい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	海洋の生物には、薬理活性物質や魚介類の毒(マリントキシン)など、僅かな量で生物の生理や行動に対して特異的な作用を及ぼす物質(生理活性物質)を持っているものがある。本講義では、微量成分の量や組成を分析する方法や分離した有機化合物の化学構造を解析する方法の原理など、分析化学の基礎を習得すると共に、海洋の生物が生産する有機化合物の構造、種類、生理作用等について学ぶ。さらに、長崎県とその近傍における魚介毒に関する問題点や地域の特産品についての話題を提供する。		
授業到達目標/Course goals	有機化合物の分離・分析方法や構造解析法の基礎原理について説明できるようになること。 海洋の生理活性物質の種類、構造、生理作用等について説明できるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小テスト・レポート等(60%), 授業への参加度(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 海洋の生理活性物質に関するトピックスを、新書等の書籍, ビデオ, 新聞記事などを用 い調べておく。(2h) 事後学習: 講義内容の復習を行っておくこと(2h)		
キーワード/Keywords	分析化学, 物質の単離と精製, 機器分析, 海洋天然物, マリントキシン, 生理活性物質		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書 「物質の単離と精製」、大岳望他、東京大学出版会 「海洋生物のケミカルシグナル」、伏谷伸宏他、講談社サイエンティフィック 「基礎分析化学」 「有機化合物のスペクトル解析入門」、L.M.ハーウッド他、化学同人		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特に受講要件は設定しないが、高等学校の「化学基礎」、「化学」、「生物基礎」、「生物」程度 の化学及び生物に関する基礎知識を習得していることが好ましい。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	フグの毒などの海の生物が作る生理活性物質に興味がある方の受講を勧めます	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
1	海洋の生理活性物質に関するトピックス, レポート作成	A
2	海洋の生理活性物質: 一次代謝産物, 分子模型演習	C
3	海洋の生理活性物質: 二次代謝産物	F
4	海洋の生理活性物質に関するグループワーク: 資料作成	B
5	海洋の生理活性物質に関するグループワーク: プレゼンテーションと質疑応答	B
6	海洋の自然毒に関するトピックス (DVD鑑賞、講義)、レポート作成	A
7	化学物質の分離・分析: HPLC、ELISAなど (DVD鑑賞、講義)	F
8	化学物質の分離・分析: TLCによる茶葉色素の分析 (演習)、レポート作成	A B C
9	化学物質の構造解析: MS、NMR (DVD鑑賞、講義)	F
10	化学物質の構造解析: 簡単なNMRスペクトル解析 (演習)	A B C
11	有毒・有害微細藻類に関する話題 (講義)	F
12	有毒・有害微細藻類に関する話題 (意見交換およびレポート作成)	A B
13	海洋毒に関する演習?@	A B C
14	海洋毒に関する演習?A	A B C
15	海洋環境と化学物質に関するレポートの作成	A B

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587019301	科目番号 / Course code	05870193
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12951_005		
授業科目名 / Course title	b24海洋生物の遺伝子多様性 / Genetic Diversity of Marine Organisms		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	和田 実 / Wada Minoru, 山口 健一 / Yamaguchi Kenichi, 井上 徹志 / Tetsushi Inoue, 小山 喬 / KOYAMA Takashi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	和田 実 / Wada Minoru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	和田 実 / Wada Minoru, 山口 健一 / Yamaguchi Kenichi, 井上 徹志 / Tetsushi Inoue, 小山 喬 / KOYAMA Takashi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miwada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2825		
担当教員オフィスアワー/Office hours	来訪する際は事前にメールで連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	分子生物学的な観点から海洋生物の多様性を考えるリテラシーを醸成する。そのためにアクティブラーニングを活用し、自ら進んで課題に取り組む姿勢を尊重する		
授業到達目標/Course goals	分子生物学的な観点から海洋生物の多様性について説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	以下の項目を総合的に評価する。1. 各自の発表担当課題のプレゼンテーション実践(口頭発表)、2. 全ての課題に対する自主学習の要約と他者のプレゼンに対するコメント提出(日誌)、3. 授業の総括レポート提出。 配点は以下を予定。 1. 口頭発表: 1回分 100点満点 2. 日誌提出: 12回分 x 10点満点 = 120点 3. 総括レポート提出: 1回 100点満点 これらの合計(320点満点)を3.2で割り、1人あたりの得点(100点満点)により評価する予定。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 遺伝子および機能性高分子(糖、脂質、タンパク質)に関して、参考図書や関連資料を読んでおくこと(2h) 事後学習: 学習した内容について授業後に必ずLACSの課題レポートとして提出すること(2h)		
キーワード/Keywords	海洋生物、遺伝子、生物多様性、微生物、共生、機能性物質、遺伝子解析手法		
教科書・教材・参考書/Materials	指定の教科書はないが、以下の参考書の通読を推奨する。 ・「はじめて学ぶ生命科学の基礎」 畠山 智充、小田達也 編著、化学同人、ISBN 978-4-7598-1454-5、定価; 2,300円 + 税		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	本授業では「海洋生物の遺伝子多様性」について「自主的に学ぶための指針」を提供することを心がけています。 具体的には、海洋生物の遺伝子多様性に関わる課題について、「自ら調べた学習内容の発表」と「仲間の発表に対する評価」という2つを実践します。 従来の座学中心ではないため、与えられた課題について事前に予習しておくことがとても大切になります。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	和田 実/共同利用研究所の研究船および附属練習船で教員として野外調査の経験を持つ/実務経験を活かして、海洋観測調査の経験や技法を授業で写真や動画を交えて紹介し、海洋生物の多様性を考えるリテラシーを醸成する。/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	全体説明	A B
第2回	海洋微生物の遺伝子多様性 1	A B
第3回	海洋微生物の遺伝子多様性 2	A B
第4回	海洋微生物の遺伝子多様性 3	A B
第5回	共生の多様性 1	A B
第6回	共生の多様性 2	A B
第7回	共生の多様性 3	A B
第8回	機能性物質の多様性 1	A B
第9回	機能性物質の多様性 2	A B
第10回	機能性物質の多様性 3	A B
第11回	生物多様性の解析 1	A B
第12回	生物多様性の解析 2	A B
第13回	生物多様性の解析 3	A B
第14回	総括 (前半)	A B
第15回	総括 (後半)	A B